漢語大和故事

漢語大和故事引用本文書

論衡　千載集　事文類聚集

莊子　本朝文粹　蒙求朱公續註

漢書　史記　戰國策

源氏物語　塵添壒囊抄　清少納言枕艸紙

竹取物語　金葉集　後撰集

樵談　貞觀政要　荀子

家隆卿家集　夫木集　野客叢書

家語
詩經
東坡詩集
歌林良材
宇治拾遺
要覽
說苑
尤傳

八雲御抄
淮南子
古今集
伊勢物語
古文後集
孝經註
正法念經
朝野僉載

萬葉集
文選
白氏文集
日本紀
靈樞論勇篇
大方便經
僧祇律
郁離子

俱舍論
雜談集
徒然草
大學衍義
尚書
續古今集
新續撰集
琅邪代醉編

世要論
孟子
二程全書
博聞録
劉子新論
新續古今集
新後拾遺集
涅槃經

鶴林玉露
黑子
四十二章經
管子
新古今集
風雅集
壬生二品
老子經解

韓詩外傳
世本
職員令
山谷詩
白王蟾集
枚乘書
事物紀原
孟子疏
神代口決
三教指歸
晉書
魏文帝典論
心地觀經
下學集
風俗通
拾芥抄
遊仙窟
藻鹽草
運命論
列女傳
亢倉子
魏志
智度論
大唐俗語要略
素問
百官唐名抄
禮記
朗詠集
獨菴稿
日記故事
源平盛衰記
韻會
晏氏春秋
職原抄
世說
蒙求
朱子語類
西行撰集抄
宋書五行志
孝衡
常話方語
河海抄
韓非子
列子
詞花集
五行大義
易經
家語解

唐書　抱朴子　名山記
本艸綱目　蠡海集　太平廣記
神異經　誓神異苑　宛委餘編
華陽國志　韓子化書　幽冥録
續漢書　搜神記　異苑
隋書　録異記　漁樵閒話
慱物志　陶朱新録　羅山文集
容齋隨筆　北齊書　陰陽局鴉經

原人論解　性理字義　中庸圖解
本朝神社考　元亨釋書　東鑑
杜詩　徒然野槌　墨客揮犀
爾雅翼　新葉集　六帖
摩訶止觀　呂氏春秋　明心寶鑑
瑣碎録　首楞嚴經　飜譯名義集
楊子法言　桓譚新論　江次第
神相全編　莊嚴論　遺教經

五雜俎　法苑珠林　學範
山海經　大鏡　佛祖三經
列仙傳　大惠語錄　東萊讀昏記
風土記　沉既濟枕中記
周易正義　開元遺叓　六韜
和名類聚抄　六道講式　泥洹經
楞伽經疏　日本紀纂疏　華嚴經大疏
大乘法數　善見律　劉向新序

廣雅　顏氏家訓　輟畊錄
金壁故叓　觀經序分義　菩薩本行經
摩耶經　蓮華面經
以上一百九十六部

漢語大和故事卷之一目録

一 風枝ヲ鳴サヌ御代
二 戸ザヽヌ御代
三 井ノモトノ蛙大海ヲ不知
四 管ノ穴カラ天ヲノゾク
五 大海ハ不擇塵
六 碁ニイフ詞
七 才枉者附世話字
八 倦杲人映附世話字
九 子捨ル藪アリ
十 子故ノ闇ニ迷フ
十一 声ナフテ人ヲ呼
十二 人ハ善惡ノ友ニヨル

十三 麻ニ列ル蓬
十五 悠々憑虚々々
十七 熟ト云字義
十九 舌ヲ巻
九一 毛ヲ吹テ瘡ヲ求
九三 盲目蛇ニ懼ズ
九四 愚人夏ノ虫飛デ火ニ入ル
九五 河中ニ立ト モ人中ニ立レズ
十四 朱ニ交バ赤ナル
十六 八雲抄源氏ノ語
十八 舌長
九 螳螂ガ斧ノ
九二 馬ノ耳ニ風
九六 ウタテト云詞
九七 ウルサレ アヂキナ レ アサ ニレ
九八 サガナレトイフ語
九九 生兵法大疵ノ基
三十 弓折矢竭
三十一 ミヅレ女ト曰事
三十二 大膽者 肝大者
三十三 唇ウスキ者ハヨク言
三十四 禍ハ口ヨリ起
三十五 狼ニ衣
三十六 鼠トル猫ハ爪カクス 附タリ獣名

三十七 心ノ鬼ガ身ヲ責ル
三十八 猿猴ガ月ヲ取ル
三十九 禍ヲ招
四十 牛ノ前ニ調ル琴ノ
四十一 九牛ガ一毛
四十二 角ヲ直トテ牛ヲ殺
四十三 微塵鬼ノ毛ノサキ
四十四 塵ガ積テ山ト成
四十五 大海ヲ手ニテセク
四十六 姓女ノ惡阻牛ノ辭人ノ驁
四十七 雜談集ノ語
四十八 強酒ノ字
四十九 老ニ悖ノ字
五十 老テハ子ニ從

五十一 八十ノ三ツ歲兒
五十二 犬ノ年ノ積タル
五十三 昔ノ劒今ノ菜刀
五十四 人ノロゾヲクロレ
五十五 萬葉文選ノ文字
五十六 石ヲ抱テ淵ニ入
五十七 仰テ唾
五十八 惡事千里ヲ走
五十九 壁ニ耳アリ
六十 寒時ニ汚物ナレ
六十一 上ヲ學下
六十二 多分ニ屬ヨ
六十三 一ヲ以テ萬ヲ知
六十四 女童ノ言不用
六十五 猿ニ烏帽子
六十六 愚者ヲ偶ニ喩

六十七 アサル カテル
六十八 身ハナラハシ
六十九 ウツレバカハル
七十 昨ハ今ノ昔
七十一 世ハ本シノビ
七十二 會ハ離ノ始
七十三 花ハ根ニカヘル
七十四 六日ノ菖蒲
七十五 シドケナシ 我物顔
七十六 瘦トホル 瘦サラボフ
七十七 雉子ホロヽ。ウツ

漢語大和故叓卷之一目録 畢

漢語大和故叓卷之一 河陽飣盛麓遊燕子集之

一 風枝ヲ鳴サヌ御代 論衡日。太平之世五日一風十日一雨風不鳴枝。雨不破塊。○コノ心ヲ千載集賀ノ詞ニ。フク風モ木々ノ枝ヲバ。ナラサ子ド。山ハ久シキ。邑ゾ聞ユル

二 戸ザヽヌ御代 コレモ。太平ノ御代ニハ。國ニ貧窮ノ民ナシ。困窮ノ者ナケレハ。盗賊ナシ。強盗ナケレバ門ヲモ鎖サズ民ノ安堵シタル叓也○事文類聚集日。子産治鄭。城門不閉。國無盗賊。道無餓人イヘリ。諺コノ語ヨリ本キタル乎

三 井ノモトノ蛙大海ヲ不知 コレハ。己ガ狹ヲ以テ人ノ廣ヲ推

量ニアタルベカラズト云タトヘナリ○莊子曰井蛙不可以語於海。拘於虛也。又本朝文粹四曰。井蛙淺心。忽迷三千尺之激浪。同。蛙有曲井不知滄海之寬。右井ノ蛙ヲ用トコロ。聊カハリアリトイヘドモ。極意ハ物ミナ大小ノ分アル支ヲ。示タルナリ。謌ハカナシヤ。筒井ノ蛙ワレバカリホカヲモシラズ。アサキコヽロハ

四 管ノ穴カラ天ヲノゾク

コレ俗ノ諺ナリ。管ヲ以テ天ヲ伺トイフベシ。心ハ井ノ蛙ト同支ナリ。管見トテ早下ノ語ニ用ルナリ○蒙求朱公續註曰以管伺天少知。以蠡伺海少知。漢書曰以管窺天以蠡測海。以筳撞鐘。史記曰少見之人如從管中闚天。俗ノ喩是等ヨリ出タリ

五 大海ハ塵ヲ不擇名人ハ不毀人

戰國策曰。大山不讓土壤。故能成其大。河海不擇細流。故能就其深。山ハ壤ヲ捨ザルユヘニ終ニ太山トナル海ハ細流ヲモ汚トセズシテ受ルガ故ニ大海ノ名ヲ得タリ君子名人ノ爲道也博愛スルニ仁ヲ以ス人ヲ毀ザル所以ナリ○許魯齋曰。君子省己。胡遑毀人乎哉俗ノ諺信哉

六 碁ノ詞ニ手ヲ免ト云

源氏竹河ノ卷ニ。哀シ生死ヲ。君ニマカスル我身トナラバ。是碁ニ寄シ歌ナリ○又棊ニカタミ先ト云コトアリ。互先トカクベシ。互ハタガヒトモ讀。又カタミトモ。カハル〳〵トモ讀ベ

レ。清原元輔ガ謌ニ。契キナカタミニ袖ヲレボリツヽ。末ノ松山浪コサジトハ。是互ニ袖ヲレボルト云コトナリ

七 智恵ヲ立辨口ヲナス者ヲ。才柱者トイフ

理ヲ枉テ。才覺ヲ顯義ナリ。清少納言ガ。枕草紙ニ此詞アリ。又口利ヲ。ハツサイト云。世話字ニ八才。發才トカクベシ又昨夜ヲ。ヨベト云。宿ノ字ナリ。コレヲヨンベト云トナフルナリ。源氏等ノ讀クセニヨンベト傍ナラズ。常ニハタ部トカク。又宿ノ字。タノ字ヲ唯一夜ノコトニモ用ルナリ

八 退屈シタルヲ。ウンジ呆ルト云

倦呆ナリ

ナリ疲タルコヽロナリ。竹取物語ニ。ウムジテ。カヘリヌトモアリ。又世話ニ。人ソバヘト云。人映ナリ。枕艸帋ニ。人ハバヘスルモノトアリ

九 子捨ル藪アレドモ。身捨ルヤブナシ

子ヲミテ讀ル歌ニ。身ニマサルモノナカリケリ嬰兒ハ。ヤランカタナク。カナシケレドモ。世話能カナヘリ

十 子ユヘノ闇ニ迷フ

金葉集ニ後撰集ノ雜ノ一ニ云。太政大臣ノ左大將ニテ。スマヒノカヘリアルジシ侍ケル日。中將ニカリアガレケルニ。ヤムコトナキ人。二三人バカリトバメテ。マラウドアルジ。サケ

アマタタビノ後。ヱヒニノリテコドモノウヘナド申ケルツ井デニ。兼輔朝臣。人ノ親ノ心ハ闇ニアラ子ドモ。子ヲオモフミチニ。マドヒヌルカナ

十一 聲ナクテ人ヲ呼

コノ世話ハ。已ガ德アレバ辨舌ヲ以テ人ヲ招呼子ドモ人群テ歸服スル喻ナリ。○史記李廣ガ傳ニ曰。桃李不言下成蹊。コレ有德人ハ言說ヲカラズシテ人ヲノヅカラ歸スル喻ナリ諺コヽニ出タリ

十二 人ハ善惡ノ友ニヨル

樵談曰。與邪佞人交如雪入墨池。雖融爲氷。其色愈汚。與端方人處。如炭入熏炉。雖化爲灰。其香不滅。貞觀政要曰。人相與處自然染習ストイヘリ。コレ等皆。人ハ馴親人ノ善惡ニ覺ズ知ズ。自然ニ染習モノナリ。唯友ヲ可撰コトナリ

十三 麻ニ列蓬

荀子勸學篇曰。蓬生麻中不扶而直。又史記ニモ此語アリ○家隆卿ノ家ノ集ニ。シカリトテ直心モ世ニタタズ。マジル蓬ノアサマシノ世ヤ。夫木集ニ。ナヲシトテ。麻ノ蓬ハナニナラズミダレテモアレ。野追ノカルカヤ。俊成ノ歌ナリ。又法華經ノ善知識者大因緣トイフ文ヲ慈鎭和尚ノ詞ニ。人ノキテ。ミチビクノベニ出ヌレバアサノ中ナルヨモギナリケリ。右善惡ハ友ニヨル心ナリ

十四 朱ニ糅ハ赤ナル

右麻ノ蓬善惡ハ友ニヨルト同樣ノ譬也○野客叢書曰。近朱赤近墨黑。又家語曰。丹之所藏者赤。漆之所藏者黑。是以君子必愼其所

興處焉。コレラニ本ケル諺ナリ

十五 物ゴトニ迫ラズシテ。緩々トシタルヲ

リト云。又ノトトモ云。悠々トモ悠然トモカクベキナリ。悠々ハ行貌。又渺貌ナリ陶淵明ガ詩ニ採菊東籬下悠然見南山コノ詩ヲ聖一國師ノ点ニ採菊東籬下悠然見南山。訓ジタマフトナリ。又實ノナキ夏ヲヒヨコ〳〵ト云。憑虚々々ト可書。○本朝文粹第三曰宣不憑虚終通蹠實註曰淮南子曰鳥排虚而飛。獸跋實而走。蹠足也。實地也。マコトニ虚ニ憑バ。ヒヨコ〳〵ナルベシ

十六 迫ラズシテ。大様ナル袂ヲ

ヲホノサト云。ヲホノカト云

ベシ。八雲御抄ニ曰。ヲホノカハ。ユタカニシヅカナルトイフ心ナリ。又短氣ナル者ヲ氣ノイラチタル者トイフ。清少納言ニ。心イラレタラントアリ。コノ心ナリ。又セハシキ者ヲ萁トイフ。枕艸帋ニ。カマドニ豆クベタルトアリ。コレモセハシキ夏ヲ。タトヘテイフニヤ。又タドヽシキトハ。ワレカ。アラヌカト思フ心ナリ。ケシキバカリトハ。様子バカリトイフ心ナリ。マサナシトハ。邪ノ字ナリ。ヨカラヌコトナリ。マガヽシキトハ。實ガマシキトイフ心。カウヽシキトハ。神々敷ト書ヘシ。淺々シカラヌコトナリ。心ユクトハ。氣味ヨキトイフタグヒナリ。ムツカルトハ。發憤ト書ベシ。腹ヲ立ルコトナリ。世俗泣コトヲノミ。ムツカルトイフ。ナニクレトヽハ。何

ヤ角ヤトイフ心。ヤヲラトハ。ヒソカニナドイフ詞ナリ。身ジロキトハ。身動ト書。身ヲ動ヌ心ナリ。心ヲチツクト云コトヲ。源氏桐壺ニ。女御モ御心ヲチ居タマフトアリ。ハシタナシ。無半。無端。コノコトバヽ。時ナラズ。ツキナキト云コヽロニテアルベシ。トカク物ノ相應セヌ心ニテ。弱モノニ。強アタリタル義ナリ。コレラハ。源氏。柁草帋ナドノ詞ナリ。世話ニ常ニ用レバ。コヽニ記ス

十七 萬ノ叓ヲ。シスマシタルヲ。ムマイトイフ。

熟ノ字ナリ。語ニ子羔學味熟習。又人ヲ熟已ガ熟シタルユヘニ。人ノ上ヲ直下コヽ口欤。萬葉曰。痛醜。賢良ストテ酒不飲。人ヲ熟ハ不見カモ似ル。又顕輔ガ謌ニ。ヨワニシテ。モドキシモノヲ。イツシカト。ソデノシヅクヲ。トハルベキカナ

十八 言多者ヲ。舌長ト云

詩大雅曰。婦有長舌。維厲之階。朱傳曰。長舌能多言者也云云。世俗ニハ。下トシテ。上ノ善惡ヲ沙汰スルヲ。舌長トノミヲモヘリ

十九 舌ヲ卷

コノ諺ハ。物ニ感ズルコト有テ。而語ニ述ガタキヲ。舌ヲ卷トハイフ。○史記楊雄傳云。耆儒碩老。抱其書而求遊禮宦博士卷其舌而不談。コレヨリ出來乎

二十 螳螂ガ斧ヲ以テ。隆車ニ向

コレハ已ガ分際ヲ不知喩也。淮南子曰。齊莊公出獵。有螳螂舉足將搏其輪。下畧。又莊子曰。猶螳螂之怒臂。以當車軼。則必不勝任矣。文選四十四曰。欲以蟷蜋之斧。禦隆車之隧。註曰。前有兩足。舉之如執斧

之象。又史記ニ蠅ノ之營ト
アリ。世諺コ
ト、ニ本ケリ

九一 毛ヲ吹テ瘡ヲ求

漢書ニ曰。吹毛求ボレ疵。又曰。洗
自躰ノ疵アラント
テ餘吟味ス
ニ。オツルコト
アルベシ。其時始ノ毛ヲ吹
テ。疵ヲ求モノナリ。毛ヲ吹タラバ。
木ニ曲レル。枝モ。アルモノヲ。毛ヲ吹テ求モノナリ。高漢内親王ノ謂ニ。直
ズヲ。イフガ。ソレハ我身ノ惡ヲ知ラバ。
メ給人ヲホ
クトアリ
我身ノ過ヲ
求出ヨトノ
謂ナリ。毛ヲ吹タラバ。
アルモノヲ。毛ヲ吹テ求モノナリ。
源氏ニ。キズヲモト

九二 馬ノ耳ニ風ト

愚人利ヲ欲ニノミ沉酔レテ。聖賢ノ教ヲ識ラ更ニ聞
ス。心ニ納得セザルハ。サナガラ馬ノ
耳ニ風ノサソウタルガゴトシトナリ。
自是絶世。無人誰ヲ與爲容ト謂ヘル
ガ如シ。

九三 瞽ノ地ニ懽ズ

キ。和哥ノ道カナ
子バ安キトイフコ
ナ。耳ノ竟レラ
トナリ

耳ヲ風ノサソウタルガゴトシトナリ。
東坡詩ニ曰。青山自是絶世。無人誰ヲ與爲容ト謂ヘル
向市朝ノ公子。何ノ殊ラン馬ノ耳ノ東風。諺ニ山水ノ樂
ヲ不レ知ノミナラズ。耳ノ竟ニコノ理アルベシ

九四 愚人夏ノ虫飛テ火ニ入

ノ語ニ本ケリ。蛾トハ。ヒトリムレト
ヌベラナリ。心地覺經。心ハ
天。コノ語ニ本ケリ。蛾トハ。ヒトリムレト
讀ノ字彙ニ拂燈ノ人ノ謂ニ之飛蛾ト。コレ夏ノ虫ナリ。
古今集ニ曰。夏虫ヲナニカイヒケン。心カラ。
ソレモ思ニ。モヘヌベラナリ。心地覺經。心ハ

愚人貪ノ親。如ク蛾ノ赴ク

如飛蛾愛
燈色上

九五 河中ニハ立ドモ人中ニ立レズ 文集大行路曰。巫峽水能覆舟。若比人心。是安流。コノ心ニ通ベキカ。船ヲ覆ホドノ。河ノ流モ。人心ニ比ハ。靜ニシテ安流ナリトナリ。世諺ノ人中ニ難立トハ理ナル哉

九六 ウタテ コノ詞。歌林良材集曰。ウタテ。又ウタヽ。同支ナリ。アマリニトイフ心ナリ。轉ノ字ナリ。古今集ニ。コヽロコソ。ウタテニクケレ。ソメザラバ。ウツロフコトモ。ヲシカラマシヤ。後拾遺集ニ。ヲモフコト。ナケレドヌルヽ。ワガソデハウタヽアルノベノ。ハギノ露哉。薄情トモ。又ハ見方。コレハ源平盛衰記ニアリ。又世俗ニ轉手敷トモ書ナリ。右同詞ニテ。心ノ少々異支モアルヘシ

九七 ウルサシ 真名字ニ右流左死トカク。誠ニウルサキ文字ナリ。伊セ物語ニ。トフモウルサシト云コトバアリ○アジキナシトハ。食ノ味モナキホドニ。物思コロナリトイヘリ。日本紀ニハ。無道ト書。史記ニハ毋爲トアリ。又無爲トモ。薄愛トモカクナリ○アサマシ。日本紀ニ甘身トアリ。常ニハ淺猿。淺間敷ト書ナリ

九八 サガナシトイフ詞 日本紀ニ。不詳ト書テ。サガナシト讀。是ハ幸ナク。不仕合ナル義ナリ。又惡ノ字ヲ。サガナシト讀セタリ。世上ノサガナキ。人ノサガナキ杯イフハ。惡ノ字ナリ。宇治拾遺物語ニ曰。小野篁。嵯峨帝ノ御時。無善惡ト讀

リ。又片假名ノ子ノ字。十二カキテ。筥ニヨ
マシメタマヘバ。子コノコノ。コ子コ。シヽ
ノコノ。コジヽト。ヨ
ミタマフトナリ

九九

生兵法大疵ノ基

生ハ生熟ノ生ニテ。未練
生々敷テ。熟セザル者ノ。已極タリトシテ。
還テ身ノ害ヲナスモノアリ。コレ生兵法
ノ喩ナリ。項籍曰。劍一人敵不足學。學萬人
敵耳。マコトニ劍ヲ執ズシテ。強敵ヲ亡ス
ハ。名將ノ智謀ナリ。劍ノ術。勝テサヘアラ
ンニ。況ヤ未練ノ兵法ハ。大疵ノ基ナラン
妄必然タリ。枕州子ニ。ヨミタル歌
ノ生ヲボヘト云コトバアルナリ

三十

術計盡テ。奈何トモスルコトナキヲ

弓折矢竭

ト云。李華ガ。弔古戰場文曰。鼓衰兮旂盡。矢
竭兮弦絶。世俗ノ諺。コノ心ニ。カナヘリ

卅一

下女ヲ俗ニ御釜ト云

又下種トイフ。コレ
ハ女ニハ限ベカラ
ス。又ミヅシ女トモイフ。水ニテ調フル業
ヲスル故ニ。ミヅシトイフニハ非ズ。文字
ニ厨女トカクベシ。厨トハ字彙ニ曰。厨烹
飪之所トアリ。然ハ厨女ハ。食物ヲ調ル女
ト云コ
トナリ

卅二

大膽者○肝ノ太者

コレハ靈樞論勇篇曰。
黄帝曰。願聞勇怯之所
由然。少俞曰。勇士者目深以固。長衡直揚。三
焦理横。其心端直。其肝大以堅。膽滿以傍下畧
大膽者。肝大者ト云ハ。コノ篇本
ケルナリ。俗ニ箆太箭。上壇者

卅三 辱薄者ハヨク言。コノ理アリヤ。靈樞逆順肥瘦篇曰。岐伯曰。瘦人者皮薄色少。肉廉々然。辱薄輕言。コノ篇ヲ見レバ。故アルコトナリ

卅四 禍ハ口ヨリ起。信哉斯言 古語曰。病從口入。禍從口出。故易曰頤卦君子慎言語。而節飲食。○孝經註曰。使口如鼻。終身勿支。コレ口ヲ守レバ。一生禍ナクシテ。無支ニ終ベシトナリ。○佛教ニハ。大方便經曰。佛告阿難人生世間。禍從口生。當護於口。甚於猛火イヘリ

敬齋箴曰守口如瓶

卅五 狼ニ衣 此諺ハ。世間ニ頭ヲ圓シテ。衣ヲ墨ニシ。容儀ハ出家ヲ標ストイヘドモ。心暴惡ニ虛假不實ノ。僧法師ヲ云世話ナリ。○史記曰齊王母家駟鈞。惡戾虎而冠者也。コレラノ喩アリ。和漢同譚ナル者也

卅六 鼠トル貓ハ爪ヲ藏 貓ノ爪ヲ利シテ深カクスコトハ。鼠ヲ捕ノ備ナリ。人トメ聖賢ノ道ヲ學モ。コレヲ言露テ。名ヲ釣藝ヲ衒ガタメニ非ズ。唯其德ヲ內ニタクハヘテ。得センガタメナリ。今世儒佛ノ學者。多ハ名利ノタメニ。ツカハレ。含蓄ノ氣象貓ニダモ不如者乎。○說苑曰。君子愛口。虎豹愛爪。世話ト語ノ勢相假バ斯ニ引

卅七 心ノ鬼ガ身ヲ責 信哉コノ諺。○佛說正法念經曰。閻羅獄卒。非實有情。以衆生妄業力故見之。佛ハ演說ナリ。地獄モ天宮モ。鬼畜モ。修羅モ皆是一心ノ所

癡ナリ

【卅八】猿猴ガ月ヲトルコレハ庸夫愚人ノ癡ナル心ニマカセテ身ノ分ニ及バヌコトヲナシテ、カヘリテ己ガ禍トナル譬ナリ。○僧祇律ニ曰、佛告諸比丘過去世時波羅奈城有五百獼猴、見樹下有井中見月影。共執樹枝、手尾相接入井取月、枝折一齊死。コレハ前世ニ波羅奈城ニ。五百ノ猿アリテ、水ノ中ノ月ヲトラントテ、一ツノ猿木ノ枝ヲ取ツレヨリ手ト尾トヲ、取ツギテ下ケレバ、枝ヲレテ、皆悉死ケリトナリ。世ノ上ノ人ノ愚癡ナルニ、タトヘリ。コノ心ヲ。土御門院ノ御歌ニ、月影ニ命ヲカフル猿ヨリモ、シヅミハテヌル我身ナリケリ。夫木抄ニ出タリ

【卅九】禍ヲ招 左傳ニ曰、禍福無門。唯人所招也。○韓野鈔載曰、禍不入慎之門。閉門避禍。シカレバ禍福ノ入門トテ、別ニハナシ。人善ヲスレバ福キタリ。悪ヲナセバ禍至ル。コレ皆自招キ入ルモノナリ

【四十】愚人ニ對シテ道ヲ説義理ヲ述ニ、敢テ合點ノユカヌヲ、牛ノ前ニ調ル琴トハ喩ナリ
コレハ野客叢書曰、對牛彈琴トイヘリ。諺是ヨリ本ケリ

【四十一】物ノ多キ中ニ少分ヲ取タルヲ、九牛ガ一毛トイフハ、前漢ノ司馬遷ガ傳ニ曰、假令僕伏法受誅、若九牛亡一毛、與螻蟻何ノ異ナラン

ト。イヘリ

㊂角ヲ直ストテ。牛ヲ殺コレハ少ノ瑾ヲ去ルト害ヲ求ル譬ナリ。○郁離子ニ曰ク。東門之瀼人。頭没于瀼ニ而瀼代為之元。狗猳耳。倶ニ相謂テ曰ク。鬼耳。倶ニ不可為用。踵而為之。猳人曰ク。麝不可為用。踵而為之。信宿而死。國人皆斃之。今鰐死麝退而掩口而遁ス。

㊃物ノ至テ微ヲ。微塵ト謂。倶舎論十二ニ曰ク。極微。微。塵。金。水。兎。羊。牛。下界コレ細ナルコトナリ。微塵ハ目ノ微ト云義ナリ。兎毛ノ末ニ水ヲ積タルコトナリ。微塵ハ兎ノサキト云義ナリ。五ノ目ノ兎毛ノサキトハ。五ノ目ノ兎ノサキニ水ヲ積タルコトナリ。倶舎論ニ七ノ微塵ヲ一ノ兎毛ト為ス。七ノ兎毛ヲ一ノ羊毛ト為ス。七ノ羊毛ヲ一ノ牛毛ト為ス。七ノ牛毛ヲ一ノ水ト為ス。七ノ水ヲ一ノ兎ト為ス。七ノ兎ヲ一ノ羊ト為ス。七ノ羊ヲ一ノ牛ト為ス。七ノ牛ヲ一ノ人ト為ス。七ノ人ヲ一ノ車ト為ス。七ノ車ヲ一ノ倶盧舎ト為ス。倶盧舎ハ。一ノ牛ノ聲ノ及ブ所ヲ限ルナリ。

㊄塵ガ積テ山ト成ト。顕至孝。○右ノ今集假名序ニ曰ク。タカキ山モフモトノ。チリヒヂノ積テ成ヲ。タナヨリナリ。アヘグモ。タナビクマデノ。ヨハヒヨリ。ホルゴトク。同序ニ曰ク。滄海ノ變ヲ。歎ク聲。寂々閑々。沙長ク為テ巖之頽ル洋々。瀧ノ耳。○鶴林玉露十二ニ曰ク。一日一錢。千日千錢。コレ積ノ謂也。

㊅大海ヲ手ニテアセク。コノ諺ハ。世間ノ人。己ガ分ノ際ヲ知ラズシテ。其智恵ノ及バザル所ヲ謀テ。還テ辱ヲ取ル所ヲ。其ノ不能ト云ヲ。徒々ニコレアリ

唯分際ヲ可知。○前漢書何武傳曰。以一簣障江河。用沒其身。又東坡詩集註曰。諺有側手障黃河之語。俗ニイフコト擬アル哉

四六 女ノツハリトハ。惡阻ト書ナリ。世俗擇食トモ書リ。歌ノ詞書ニ。タダナラヌ人ノ。モテカクシテアリケルニ。子ヲウミテゲルガモトヨリ。ウミタル梅ヲ。ヲコセタリケレバ。ヨメル。讀人不知。葉ガクレニ。ツハルトミヘシ。ホドモナク。コハウミ梅ニナリニケルカナ。トアリ○牛ノ犂ニカヽリテ進ヌヲ。スマヒ牛トイフ。歌書ノコトバニ。スマヒトイフ。コトアリ。辭退ノ義ナリト注セリ。退テ行ヌコトナリ。又人ノ瑕ヲイフニ。タリヲ附ル。タリヲ云。ナドヽイフ。タリトハ。馬ノ病ニ鷙ト云。

モノアリト。鑑囊抄ノ心ナリ。又史記ニ惠公馬鷙不行。○索隱馬重而陷之於泥。イヅレモ鷙トハ瑕ナリ。コレニ准テ。人ノ瑾ヲイフヲ。タリ附トハイフナリ。○屬驗。付相撲。コレモ馬ノ癖ナリ。餘見コレモ馬ニ云詞也。馬ヲ浮岩行。此字ハ。盛衰記ニ出タリ

四七 身ヲウゴカサヌヲ。身動モセヌト云。又言含ヲ言クヽメルト云。コレ等枕艸子ノ詞ナリ。人ヲセガム。人ニタヾレカヽル。无住ノ雜談集ノ詞ニアリ冷ヲツメタキトイフ。アツコトイフベキヲ。アシコトイフ。又身ヲ耽トイフ。コレモ清少納言ノ詞ナリ

四八 酒ヲシヰルト曰字ハ。強ノ字壽ノ字ナル

ベシ。孟子離婁上云。是猶惡醉而強酒。○史記項羽本紀曰。沛公奉卮酒爲壽。評林凡言爲壽謂進爵于尊者而献無疆之壽。コレラノ心ニテ。壽ノ字ヲ用ルナリ。酒ノカントハ壒嚢抄ニ𨳍ノ字ナリ。寒温ノ間ヲ。ヨキホドニスルトイフ義ナリトイヘリ。世俗ニ酒ヲ氣遅水ト云。酒ノ異名ヲ。狂藥トイヘバ。サモアルベキ世話ナリ。范魯公談云。戒爾勿嗜酒。狂藥非佳味トイヘリ

四九 老ニホレルトハ。老耄トモ。老悖トモ書ベシ。耄ハ惛忘ナリ。コヽロクラク物ワスレスル袮ナリ。悖ハ乱ナリ。ミダレタル心ナリ。又老ノミニ非ズ。不明コトヲ。ホレルトイフ。怳ノ字ナリ。○文選目。魄怳々以失度。李善注。怳々失意也。又男女ノ色欲ニツキテ。ホレルトイフハ。溺ノ字ナリ。水ニヲボルヽトイフ心ヲ。用タルナリ。ホレルトハ。ヲボレルトイフ畧ナリ

五十 老テハ子ニ從。父ハ專子ニ從ト云義ナシ。然ドモ年老テハ。子幹父之蠱。コノ時ニ當テハ。子ニ從トイフモ。是ナラク而已。母ノ子ニ從コトハ。諸書ニ載リ○儀禮曰。婦人有三從之義。無專上之道。故未嫁從父。既嫁從夫。夫死從長子。故父者子之天也。夫者妻之天也。○禮記穀梁傳ノ語同。コレ老テハ子ニ隨フトイフ。該ノ出所ナリ。女ノ三從ノ說ハ專佛典ニ出リ不備。

五十一 八十ノ三歳兒。前漢文帝紀曰。七八十ノ翁。嬉戲如小兒。コレ異域同譚ナ

ルモノナリ。老テフタヽビ兒トナルトイフモ。同意ナリ

五十二 徒ニ年ノヨリテ。無智無能ナルヲ。犬ノ年ノ寄タル様ニトイフ。此諺ハ語録ノ中ニ。驢年犬日ノ語アリ。ヨクカナヘリ。○寂寞州日。西大寺ノ静然上人。折磬。嘗シロク。實ニ德長タル。體相ニテ。内裏ヘマイラレタリケルヲ。西園寺内大臣殿。アナ貴ノ氣色ヤトテ。信仰ノ氣色アリケレバ。資朝卿コレヲ見テ。年ノ積タルニ候ト申レケリ。後日ニ獵ノ浅猿老驍テ。毛几タルヲ牽セテ。コノ氣色殊勝見テ候トテ。内府ヘ進ラレタリケルトゾ。コノ心老タルガ貴ハ。犬ノ年寄タルモ貴カルベレトイフ心ナリ。无智无德ナランハ。犬ニ異ナラサルモノナリ

五十三 昔ノ劔今ノ菜刀 コレハ古キ物ハ。今ノ形ニ違ガタキト云喩ナリ。古語ニ秦之時[illegible]。コレハ秦ノ咸陽宮ヲ作ル時ノ錐ナリ。當代ノ形ニタヽズトナリ。世話ニヨク叶ヘリ

五十四 人ノ口ゾヲソロシ 夫木集ニ。世上ハ虎狼モ。何ナラズ。人ノ口コソ。ナヲマサリケレ。同アリフレバ。唇ナラヌ我國モトラノ口ヲバ。エヤハノガルヽ。後ノ歌ハ。スベテ世間ノ惡ヲ詠タマフナルベシ。婚ノウタハ。後京極。後ノ歌ハ。後九条内大臣ノヨミ玉フ

五十五 口惜。又朽惜トモ書ベシ

朽呆コトノ惜ト云義ナリ。イブセキト云義ナリ。イブセキト云詞ハ。萬葉ニ。馬聲蜂音石花蛛蛛荒蚊。コノ文字ニテ見レバ。氣味ワロク。イヤナル心ナリ。○シレ者トハ。万葉ニ。世間之愚人ト書リ。左傳ノ注ニハ。白痴トヨム。○周章○慘慄○徑廷○懊咿○半漢○慨溷○諍件○瞿儉○墀○蒲梢馬○專○彳亍○只且○喤呷○敦圉○景迹○嬋媛○聳兢○鞭然○沆瀣○桑門○邊鄙○代謝○凌兢○粲○舉動○大小是等文選ノ讀也○月照臨○不審○行○多是程黑○欝悒○去方○餘年○左右○千萬○皆悉○方便○爲便○往還○無魂○三更○忌々敷○我齒○怜怐○朝廷○壯士○現世○諸越○雲座○萬鄰松○烏梅○先○

○太敏○豫○艸右右万葉ノ文字

六十 諺ニ石ヲ抱テ淵ニ入

コノ喩ハ。愚昧ニシテ。己ト己カ害ヲナス事ナリ。○二程全書曰。釋氏其實是愛身放不得。故說許多。譬抱石沉河。以其重愈沉。終不道放下石頭。惟嫌重也

右釋氏ヲ斥タル語ナリ

七十 仰テ唾

是ハ人ヲ害セントテ。還テ己ガ身ヲ。ワコナフト云諺ナリ。○四十二章經曰。惡人欲害賢者。仰天而唾。唾不汚天。還汚己面。世話是ヨリ本ケリ

八十 惡事千里ヲ走

事文類聚ニ云。好事不出門。惡事傳千里イヘリ。誠哉

九十 壁ニ耳アリ

博聞錄曰。壁有耳。墻有縫。又事文類聚後集。姚元崇口箴云。室

本無牆垣亦有耳。又詩小雅曰。君子無易由言。耳屬于垣。又管子曰。古者有二言。墻有耳。伏寇有測。右垣トイヒ壁トイフ同意ナリ

卒 寒取ニ瀆モノナシ。饑時ニ無味モノナシト

コノ鄙諺。史記秦本紀ヨリ。因来レル者カ寒者利短褐。而饑者耳糟糠。マコトニ異境同諺ナル

モノナリ

卒一 上ヲ學下

孟子曰。上有好者。下必有甚焉者矣。後漢書云。呉王好劍客。百姓多瘢瘡。楚王好細腰。宮中多餓死。淮南子曰。靈王好細腰。而民有殺食自飢。越王好勇。而民皆處危爭死。河上公云。上行下必隨トイヘリ。趙王好劍。後主好曲ノ語アリ。又孟子曰。君義莫不義コレ等ノ語。ミナ君ノ好タマフ事ヲ。民又好ナリ。上ヲマナブ下トイフ諺故アルカナ

卒二 多分ニ附トハ

尚書曰。三人占則從二人之言イヘリ。一事ヲ三人シテ言ニ時ハ二人ノ言ニツキテ行トナリ

卒三 一ヲ以テ萬ヲ知ル

荀子非相篇云。欲觀千歲則審今日。欲知億萬則審一二。欲知上世則審周道。欲知周道則審其人所貴。君子故曰。以近知遠。以一知萬。以微知明。此之謂也。又劉子新論曰。視象之牙。知其大于豕也。見狸之尾。知其小於豹也。故觀一可以知百。觀此可以明彼。コレモ物ノ全体ヲ不見ドモ。其端ヲ見テ奥ヲ知リ。

外ヲ見テ内ヲ察スル義也

六十四 女兒ノ言不用 史記陳平世家曰。鄙語曰。兒婦人口不可用。和漢全談也

六十五 猿ニ烏帽子 コノ喩ハ。容ハ人ニシテ衣冠モ正シケレドモ。心ハ畜ノゴトクニ無道ナルヲ云ナリ。人面獸心ト云類ナリ。コレモ史項羽紀曰。説者曰。人言楚人沐猴而冠耳。コノ語ハ猴ハ冠ヲ著テモ。躁暴シテ取捨タトヘナリ。和俗ノタトエ少異語勢相似バ斯ニ引

六十六 愚ナル者偶ニタトエテ人ニ舞ルヽナド云世話アリ 史記封禪書ノ註ニ。秦皇漢武。爲諸燕齊迂怪之士。舞弄之若偶然トイヘリ。偶ハ人形ナリ。木偶土偶ナドヽカクナリ

六十七 アサルカテル 求食トモ。同鳥トモ書ベシ。鳥ナドノ餌ヲ尋求林ナリ。俗ニ物ヲ尋ヲ。アセリサガストイフコノ詞ナリ。○萬葉集ニ。ハルノ野ニ。アサル雉子ノ妻ゴヒニ。ヲノガアリカヲ。ヒトニシレツヽ。拾遺集ニモ入リ。○又夫木集ニ定家。ハルハタヾ。ミナレヌ。クサモ。ナカリケリ。早蕨アサル。山ノタヨリニ。○又カテヽ加テト云詞アリ。カテルトハ。モノヲマジヘタルコトナリ。雜ノ字○文選曰。鬻良雜苦トアリ。○萬葉ノ歌ニハ。醬酢ニ。ニラツキ雜タイ子ガフ。ワレニナミセソ。鯛ノアツモノ○史記ニハ糅ノ字ヲカテルト讀セリ

六十八 身ハナラハシ 寂蓮法師。逢不遇戀トイフ
シキ床ノ。アタリマデ。身ハナ
ラハシノ。アキカゼゾフク

六十九 ウツレバカハル 新古今ニ袖ノツユモ。ア
ウツレバカハル。ナガメセ
シマニ。被忘戀ノ心ナリ

七十 昨ハ今ノ昔 新勅撰集ニ。アスモアラハ。ケ
フヲモカクヤ。オモヒ出ン。キ
ノフノクレゾ。ムカシナリケル。○新後拾
遺集ニ。ワカレニシ。月日ヤナニノ。ヘダテ
ニテ。キノフハ人ノ。
ムカシナルラン

七十一 世ハモトシノビ 新古今ニ。清輔。ナガラヘ
バ。マタコノゴロヤ。シノ
バレン。ウシトミシ世ゾ今ハコヒシキ。○
爲家ノ歌ニ。何ヲモ。フルキ世ノミゾ。シタ
ハシキ。思合ル。ケフゾカナシキ。又行末ハ。
我ヲモシノブ。人ヤアラン。ムカシヲシノ
ブ心ナ
ラヒニ

七十二 會ハ別ノ始 壬生ニ品集ニ家隆。イツノマ
ニ。年月ノコト。オモフラン。ア
フハヒトヨノケサノワカレヲ○白氏文
集曰。合者離之始。樂兮憂所伏トイヘリ。會
者定離ノ譚ハ佛家
ニ專ナリ不及記

七十三 花ハ根ニ歸 千載集崇德院。花ハ根ニ鳥ハ
古巣ニ。カヘルナリ。春ノトマ
リヲ。シル人ゾナキ。古語
ニ曰。花散在根。鳥歸古巣

七十四 用ニ達ヌト云事ヲ。諺ニ六日ノ菖蒲ト云
衣笠内大臣ノ歌ニ。イカニセン。今ハ六日
ノ菖蒲草。ヒク人モナキ我身ナリケリ

七十五 シドケナシ　我物顔
シドケナシトハ。小
町ガ謌ニ。シドケナ
キ。子クタレガミヲ。ミセジトヤ。ハタカク
レタル。ケサノ朝貝○無四度計○我モノ
顔。夫木ニ宴ノ夜ハ。光スヾシク。スム月ヲ。
ワガモノガホニ。ウチハトゾミル。慈圓。山
メグル時雨ノヤドカ。柞原。ワガ
モノガホニ。イロノミユラン

七十六 ヤセトホル　ヤセサラボフ
新續古今誹
諧ノ歌ニ。大
原ヘ行トハナシニ。戀スレバ。ヤセトホリ
ヌル。モノニヅアリケル。○瘦通ト。ハ瀬通
ト。カヨハシタルモノナリ○夫木集ニ俊
頼。山カゲニ。ヤセサラボヘル。犬櫻オヒハ
ナタレテヒク
人モナシ。瘦髏

七十七 雉子ホロヽウツト云事ヲ
歌ニ。雉子ナク。
アシタガ原ヲ。
スギユケバ。早蕨アサリ。ホロヽウツナリ。
○古今集ニ。春ノ野ノ。シゲキクサバノ。ツ
マゴヒニ。トビタツ雉
子ノ。ホロヽトゾナク

漢語大和故事卷之一終

漢語大和故事巻之二目録

一 岩ノハザマ 片鄙
二 アダナミニ思ハヌ
三 イハヌハイフニ勝ル
四 問ニツラサノ勝ル
五 麥秋
六 青ザシ
七 錢ヲオアシト云
八 山田ノ僧都
九 鹿ヲ追者ハ不見山
十 胡椒丸呑
十一 大物ハハツリドリ
十二 念力岩ヲ通
十三 傾國 傾城
十四 游女 流女

十五 傀儡 白拍子
十七 貧ノ盗
十九 狼藉
二十一 無勿躰
二十三 折角
二十五 覗撲
二十七 殿 寂杲
二十九 如在
十六 男女
十八 戀ノ調
二十 冥加
二十二 言語道斷
二十四 折檻
二十六 指南
二十八 面目
三十 無方者
三十一 俊者
三十三 一騎當千
三十五 軍見テ矢ヲ作
三十七 忠ガ不忠
三十九 陰陽師身ノ上不知
四十一 手ノ裏カヘス
四十三 兄弟兩手ノ如
四十五 古郷忘ガタシ
三十二 一字千金
三十四 千解万解毛食一杯
三十六 小利大損
三十八 奢者不久
四十 人ハ一代名ハ末代
四十二 顏ニ佰ヌ心
四十四 美女ハ惡女ノ敵
四十六 曲子バ世ニ立レズ

四十七 大盗人
四十八 盗ニ鑰
四十九 盗ヲ白波ト云
五十 水手ヲ鹿兒ト云
五十一 人ヲ貶テ畜生ト云
五十二 溪氣
五十三 空氣
五十四 無禮 野風俗
五十五 阿房
五十六 穀ニ不就
五十七 洒落者
五十八 烏呼者
五十九 喋々者
六十 積善ノ家ニハ有餘慶

漢語大和故事巻之二目録 畢

漢語大和故叓巻之二

一 岩ノハザマ　片田舍

岩ノハザマ。西行ノ歌ニ。ハルカナル。岩ノハザマニ。ヒトリイテ。人目オモハデ。モノオモハバヤ○片田舍。仲正ノ歌ニ。蒐クモレバ。シヅノアサギヌ。トキワクル。カタイナカコソ。心ヤスケレ。寂寞懈ノ真字ニ。片鄙ト書

二 人ヲアダナミニ思ハヌト云ハ

アダトハ。外ト云字外ニ思ハヌト云コトナリ。ナミトハ。一条禪閤ノ歌林良材ノ御説ニ。ナミニオモフトハ人ナミニ思トナリト。萬葉ニ。ワカユツル。松浦ノ河ノカハナミノナミニ思ハ

バ。ワガコヒメヤハ○古今ニ。三好埜。大川ノベノ。フヂナミノ。ナミニオモハヾワガコヒメヤハ

三 イハヌハ。イフニマサル 風雅集ノ雜ニ。前ノ左兵衛ノ督惟方。使ノ別當ニナリテ。侍リケル比。ナゲクコトアリケルヲ。トフラハズ侍リケレバ。申ツカハシケル。讀人不知。ナゲキヲモ。トハヌツラサハ。ツラケレト。ウレシキコトハ。ウレシトゾキク。○返。惟方イフヨリモイハデオモフハ。マサルトテ。トハヌモトフニ。オトリヤハセシ。又或哥ニ。心ニハ。シタユク水ノ。ワキカヘリ。イハデ思フゾ。イフニ。マサレル。○山谷ガ云。萬言萬當。不如一默。コノ語モ叶フ歟

四 問ニツラサノマサル 續古今集戀四題不知。西院皇后宮。ワスレテモ。アルベキモノヲ。中〳〵ニ。トフニツラサヲ。オモヒ出ケル。同集ノ雜ニ。山家秋風。入道前右大臣。フクカゼモ。トフニツラサノマサルカナ。ナグサメカヌル。アキノヤマザト

五 四月ヲ麥秋ト云 此季ハ秋ニハ非ズ夏ナリ。イカナルコトニ秋トイフヤ。○野客叢書曰。宋子京。有皇帝幸南園。觀刈麥詩曰。農扈方還夏。官田首告秋。註曰。臣謹按物熟謂之秋。取秋斂之義。故謂四月爲麥秋。イヘリ○禮月令ニモ。麥秋至トアリ。○朗詠集ニ。五月蟬聲送麥秋。コノコロヲトリテ夫木集ノ歌ニヲクルテフ。

セミノ。ハツ声。キクヨリモ。
今ハト麥ノ秋ヲシリヌル

六 青麥ヲ煎テ。臼ニテ。碾タレバ。ヨリタル糸ノゴトシ。コレヲ青ザシト云 上方ニモ。キコシメスモノナリト見タリ。○枕草子ニ。アヲザシトイフモノヲ。人ノモテキタルヲトアリ。抄ニ。青麥ニテ調シタル菓子ナリト

七 錢ヲオアシト云 料足トモ云。同コヽロナリ。○蒙求ニ晉書ヲ引テ曰。魯褒著錢神論。其略無翼而飛。無足而走トアリ。誠哉俗ニ錢ヲ。オアシトイフコト。琅邪代醉ヲ闚ニ錢神論ヲ作者。魯褒ノミナラズ。綦毋民成公綏アリ。又白玉蟾集曰。雲遊歌。初別家山辭骨肉。腰下有錢三百足

八 山田ノ鹿オドシヲ。僧都ト云ハ 往昔玄賓僧都トテ。貴キ聖マシ〳〵キ。備中ノ國湯川トイフ所ノ。山寺ニ。オハシマシテ。德ヲ隱イヤシキ法師ノゴトクシテ。土民ニ身ヲヨセタマヒテ。夜ハ山田ヲ守。廉ヲオドロカシ。晝ハ稲ヲ刈。マタ運ナドシ。日月ヲ過タマフニ。秋モスギヌル比ハ。民ノ用事モナカリケルマヽニ。歌ヲナン讀タマフ。山田守僧都ノ身コソ。カナシケレアキハテヌレバ問人モナシ。コレヨリシテ。鹿ヲトシヲ。僧都トハ名タルナリ。仲正ノ歌ニ。夕霧ニ。立ル僧都ヤ。ミヘザラン。山田ノソヒニ。小鹿鳴也。○玄賓ノ傳ハ。元亨釋書第九ニ載タ

リ。鹿ヲ懼コトハ不載。頃玄光ノ獨菴稿ニ又傳アリ。其略ニ云。玄賓晦迹於民家之奴。入田護稻。以驚烏雀爲勞也。日域至今。懼烏雀芻靈以僧都詔名者。起於賓也。芻靈ハ。艸ヲクヽリテ。人ノ形ヲ作。田ノホトリニ置テ。鹿鳥ヲ懼モノナリ。山田ノ案山子ト云。モコノコトナリ。

九

鹿ヲ追者ハ山ヲ不見

コノ諺ハ。愚人ハ利欲ニノミ目ヲカケテ。道理ノアルトコロヲ不知。夏。鹿ヲ逐テ。山ノ目ニ見ヘヌガゴトクトナリ。○淮南子云。逐鹿者不顧兎。又曰。逐獸者。目不見太山。嗜欲有外則明所蔽矣。コレラノ語ヨリ。本キ出タリ。又劉子新論云。貨美錦于市。盜於旅中而竊之。使執而問曰。汝何盜錦于旅中。對曰。但見有錦。不見有人。故取之耳。コレモ鹿追者不見山ノ意ナリ

十

胡椒丸呑トハ

聖賢ノ語書典ノ義理。深ク索メ精察セズシテ。容易コレヲ思ヒ。卒忽ニコレヲ說。意味ノ深長ヲ不知。コレゾ胡椒丸ナガラ呑ノタグヒナリ。ナンゾ氣味ノ辛コトヲ知ランヤ。案ズルニ。朱子語類曰。大凡讀書。須是熟讀。熟讀了自精熟。精熟後理自見得。如喫果子一般。劈頭方咬開。未見滋味。便喫了。須是細嚼。教爛則滋味自出。方始識得這箇是甜。是苦是辛。始爲知味トイヘリ。是果ヲ喫スル夏ヲ喩トシテ。義理ヲ咬碎テ味ヲ知ベシトナリ。誠ニ世話ノ胡椒マルノミト云コト。故アルカナ

十一

大物ハ。ハツリドリ　コノ諺ハ。萬ノ事功ヲ積テ成就スベシ。急速ニハ成ガタシトイハンタメニ。大ナル物ハ少ヅヽ。ハツリトレトハイフナリ。○枚乗ガ書ニ曰ク。泰山之霤穿レ石。殫極之綆斷レ幹。水非ニ石之鑽一。索非ニ木之鋸一。漸靡使ニ之然一也。是久ク積テ。自然ニナルノ喩ナリ。○日記故事ニ曰ク。李白ガ感ズ鐵杵。唐ノ李太白。學問ニ倦テ。家ニ歸ル。道ニ一ノ嫗アリテ。鐵ノ杵ヲ磨ク。李白故ヲ問フ。嫗ガ曰ク。鍼ニ作ナリト。李白其詞ニ感ジテ。再ビ勤メテ終ニ博學廣智ノ名ヲ得タリ。コレ等ハ學問ノ大物ヲ。漸々ニ。ハツリトルノ喩ナリ

十二

念力岩ヲ通ス　人トシテ。志氣尤モ勇ナクンバ有ルベカラズ。念力勇ナケレバ。倦テ無シ進ム。進マザレハ事不成。サレバ一念カ岩ヲ通ス事。韓詩外傳ニ曰ク。楚ノ熊渠子夜行。見ニ寢石一以為ニ伏虎一。射レ之。没レ金飲レ羽。視レ之石也。因復射レ石。矢摧無レ迹。○漢書。李廣守ニ北平一出獵。見ニ草中ノ石一。以為レ虎。射レ之。中没レ鏃。視レ之石也。明日復射レ之。石不レ能レ入矣。後周書曰。李遠嘗校ニ獵莎柵一。見ニ石叢薄中一。以為ニ伏虎一。射而中レ之。鏃入寸餘。就視乃石也。右ハ琅邪代醉ニ載タリ。劉子駿嘗以ニ廣事一問ニ揚雄一。雄曰。至誠故金石為レ之開トイヘリ。誠ニ至誠心ノ一念力。岩ヲ通ス事如レ此ノ例アリ

十三

倡家ノ淫女ヲ。傾城トモ。傾國トモ云ヒ習也

詩大雅曰。哲夫成レ城。哲婦傾レ城トイヘリ。○漢書曰。一顧傾ニ人城一。再顧傾ニ人國一。コレラヨ

リ傾城。傾國ノ名ヲ得タリ。長恨歌ニ漢皇重色思傾國トモアリ。今世好色ノ輩。淫女ノタメニ家ヲ傾身ヲ沒モノ。不可勝計。○鶴林玉露云。一顧傾城。再顧傾國色也。傾城傾國ノ名。ムナシカラザル者ナリ

十四 游女 流女

游女トハ。詩周南曰。漢有游女不可求思イヘリ。游女ノ二字コヽニ本ケリ。游女ヲ流女トイフハ。此者ハ河中ニ舟ヲ浮テ。往来ノ客ヲ待モノナレバ。河ノ流ノ女トイフ義ナリ○本朝文粹以詩見游女詩序曰。維舟門前。遲客河中イフ句アリ。西行ガ撰集抄ニ。旅人ノ往来ノ舟ヲ思フ。游女ノアリサマ。イトアハレニトアリ。定家郷寄游女戀歌ニ。心カヨフ。往来ノ舟ノナガメヽデ。サレテカバカリ。

モノハオモハジ。夫木集ニ兼家浪ノ上ニ。コカレテスグル。游女モ。タノムムニハ。タノマレヌカハ。右流女ノ義ナリ。今河ノ中ニアラヌ。游女マテ。昔ヲ習テ。スベテ流ノ女トハ云ナリ

十五 傀儡

和訓ニ。テクヾツト讀。人形ヲ作。舞戲シムルコト也。○事物紀原曰。世傳傀儡起於漢高祖。平城之圍。用陳平計。刻木爲美人。立之城上。以詐冒頭閼氏。後人因此爲傀儡。又列子。周穆王時。巧人有偃師。爲木人能歌舞中畧。此疑ラクハ。傀儡之始也。○通典。曰窟礧子。亦曰魁礧。作偶人以戲。善歌舞イヘリ。梁鍠傀儡詩云。刻木牽絲作老翁。雞皮鶴髮與真同。須臾毛罷寂無事。还似人生一夢中。右イフ所。皆當世ノ人形舞ノ類ナ

リ。定家傀儡ノ歌ニ。ヒトヨカス。野上ノ里ノ。クサマクラ。ムスビステタル。ヒトノチギリヲ。季經歌ニ。ウカレメノ。ウカレテアリク。タビヤカタ。スミツキガタキ。モノゾ有ケル。コレハ游女ノ袂ニ讀也○白拍子。徒然草ニ。久助ガ申ケルハ。通憲入道。舞ノ手ノ中ニ。敎ノ道。舞ノ師トイヒケル女ニ。敎テマハセケリ。白キ水干ニ。サフラヒ烏帽子ヲキセ。引入タリケレバ。禪師ガムスメ。靜ト云ケル。此藝ヲ。ツゲリ。是白拍子ノ根源ナリトイヘリ。又源平盛衰記十七ニ曰。世ニ白拍子トイフ者アリ。我朝ニハ鳥羽ノ院ノ御ト云ケル。ニ人ノ游女。舞ハ

十六 男色

ジメケリト悲ヘタリ

ナンショク 衆道トイフ者也。是ヲ愛スル事。本朝ニモ盛ナリ。史記ニ彌子瑕ト云モノ。衛ノ君ニ愛セラル。男色ノ始ユヘナリ。宋書五行志ニ晉ノ咸寧大康ノ時分ヨリ。男寵發リテ。女色ヨリモ甚シ。又傳藏ノ子膽ト藏子ト記セリ。風吹洞ニ遊ンタ藏子ノ病床ニ。思ヲ盡ト。此道イヨ〳〵陽ノ乱タルナリ。李節推ヲ愛シテ。由ハ。定國ニ愛テ。劍淺見ヘタリ。ヱイ朝。明朝ニ至テ。盛也。戰國策ニ曰。男色破レ老。女色破レ舌。兵ノ意モ。富貴ナレバ義理ヲモ守リ。邪モナキニ。貧ニ責ラルレバ。恒ノ心ヲ失ヒ。ヒトヨカス。野上ノ里ノ。クサマクラ。ムスビステタル。ヒトノチギリヲ。季經歌ニ。ウカレメノ。ウカレテアリク。タビヤカタ。スミツキガタキ。モノゾ有ケル。コレハ游女ノ袂ニ讀也○白拍子。徒然草ニ。久助ガ申ケルハ。通憲入道。舞ノ手ノ中ニ。敎ノ道。舞ノ師トイヒケル女ニ。敎テマハセケリ。白キ水干ニ。サフラヒ烏帽子ヲキセ。引入タリケレバ。禪師ガムスメ。靜ト云ケル。此藝ヲ。ツゲリ。是白拍子ノ根源ナリトイヘリ。又源平盛衰記十七ニ曰。世ニ白拍子トイフ者アリ。我朝ニハ鳥羽ノ院ノ御ト云ケル。ニ人ノ游女。舞ハ

十七 貪ノ盜

貪ノ窮。○孟子ノ疏ニ曰。禮義生於富足。盜賊起於貧ニ責ラルレバ義理ヲモ守リ。邪モナキニ。貧ニ責ラルレバ。恒ノ心ヲ失ヒ。

ラヌ事ヲモシ。盗ヲモスルナリ。コレハ常ノ人ナリ。聖賢ハ貧富ニ心ハ動モノゾ

十八 戀ノ歌トハ 歌ハ心ヲ種トシテ。自然ニモテ出タルモノナリ。人ノ色ニ於ル。思ヒ内ニアルトキ。コレヲ辞ニ發ノ。自カラ。三十一字トナリタルヲ。戀ノ歌トハ云ベシ○壷峯子説云。人於色不能無思。其及思之。寤寐反側不忘之。則發之言。爲和歌也。此是上古之朴質。而感物所動者。所以爲自然之文也。後世設淫奔之品題。作和歌。皆無用之閑言。長淫導奸者也

十九 狼藉ノ二字 ミダレガハシト讀セリ。○漢書名称藉甚。猶云狼藉甚盛也○韻會曰。狼多藉其草穢乱。故曰狼藉○藉ノ字フムト讀ナリ○集韻本作躤。躤踐也。後江相公ノ作ニ。落花狼藉風狂後。啼鳥龍鍾雨打時トアリ。落花狼藉トハ。風吹タル後ニ。花散々ニナリテ。地ニ打ミダレタルハ。蹈チラシタル様ニ狼藉ナルトナリ諺ニ狼藉者ト云由アルカナ

二十 冥加トハ 冥ハクラキナリ。人ノ目ニ不見。冥ニ佛ノ。加護ニアヅカルヲ云ナリ。○孝衡曰。加護有二種。一顕加。謂現身語。讃卯其所作。二冥加。謂潛垂覆摂。不現身語。又神代ノ口決ノ意ハ。天照太神ノ託宣ニ曰。冥ヲ加ニ。正ニ直ナルヲ以テ本トストイヘリ

二十一 無勿躰 勿ハ無ナリ。勿躰ノ二字ハ。即無正躰義也。日本ノ俗語ニ。無勿躰ト云

ハ。佛神ニ對シテモ。正理ヲ失ヒ。正躰モ无トイフ心ト覚タリ。シカレバ無ノ字ハ。イラヌ者カ。唯勿躰ナシト云テニハ計ナリ

二十 **言語道断トハ** 善惡トモニ。惣テ語モ断テイハンカタモナキヲイフナリ。○天台大師。妙法ヲ釋シテ曰ハク。言語道断。心行所滅矣。コレハ妙法ヲサシテ。心ニモ語ニモ及バレヌト称美ノ詞ナリ。諺ニ云所。由アルナリ

二十一 **折角** 朱雲與五鹿論易。連柱諸儒語曰。五鹿岳々朱雲折其角。コレヨリ本ト云

四十 **折檻** 人ヲ強諫夏ナリ。折ハヲル。檻ハヲバシマト讀。宮殿ニアルトコロノ欄檻ナリ。朱雲ガ檻ヲ折ヨリ起○事物紀原曰。折檻トハ。前漢書朱雲傳。成帝時。張禹爲帝師。雲上書。願賜上方斬馬劍。断佞臣一人頭。以厲其餘。上問誰。曰。張禹也。帝怒使御史將下殿。雲攀檻折。後理檻。上曰。勿易。緝之以旌直臣。今殿檻之闕其中。自朱雲始也。蒙求朱雲折檻。コレニオナジ。世ニ説諫トモ。又切諫トモ書。何モ諫コトナリ

五十 **規模ハ** 規矩模範也。規ハ圓ナル物ヲ作ル、ブンマハシナリ。模ハ形アル物ヲ作イカタナリ。何ニテモ手本トスル夏ヲ。規模トハイフナリ。俗無詮躰ヲ無規模ト云モ。右ノ義ニ聊カナフベキ歟。詮ハ擇言也。具説也。解喩也。評論事理也。等閑トハ。ナヲザリト讀セタリ。ナゲヤリサマニ。ソコ〳〵ニスルコトナリ。人ノ交懇切ナルヲ。等閑ト云ハ非義。無等閑イヘルガ本義ナリ。錢起ガ歸雁ノ詩ニ瀟湘何事等閑回ト云

句アリ。遊仙窟ニ。平生ヲナヲザリトヨム。チセン家詩ノ註ニ。等閑ハ尋常也

二十六
指南トハ 南ヲユビサストイフ讀ナリ。禮樂射御等ノ六藝。其外一切ノ道ヲ教導ヲ。指南ト云ハ。舊傳。周公指南車ヲ作リテ。他國ノ使者ノ。歸道ヲ教トナリ。亦曰。宋武平關中得之。其制車ノ上ニ木人ヲ置テ。擧手指南車東西ニ廻南北ニ轉ドモ。カノ人形ノ指ヲサス方少モ不違シテ方角ヲ辨トナリ。當世ノ磁石トイフモノヽ類ナリ。シカレバ萬ノ道ヲ教ル事指南車ノ。方角ヲ知スルガ如シト云義ナリ。指南車ノ事ハ。事物紀原。瑯邪代醉編ニ載タリ

二十七
殿　最果 是ハイチアトニ成タルトイフ諺ナリ。論語雍也篇ニ曰。子曰。孟之反不伐。奔而殿。註ニ軍後曰殿。○又最果トハ。枕艸紙ニ。サイハテノ車。曙抄ニ。イチアト。イフコヽロナリ。俗ニ。尻拂トカク

二十八
面目ノ文字ハ 史記七十七。信陵君傳曰。公子當何面目立天下乎。同項羽傳ニモ出語ナリ。言ハ面ヲ向ベキ様モナク。目ヲ見合ベキ様モナキト。イフコヽロナリ。清少納言ニオモタヽシト云詞アリ。面目ラシキ事ナリ。壒囊抄ノ説ニ云ク。人ノ懈怠ナルヲ

二十九
如在 如在ヲスルナド云。ワロキコトニ思ヘリ。如在ノ礼ト云ハ。神ヲ祭ニ懇ニ敬謹事。神ノ在ガ如クスルヲイフナリ。語ニ云。祭如在。祭神如在神イヘリ。人ノ如在ニテ悪ト云ハ。如形スルマヽ子ヲシテ。有カ無カノ分

ナレバ。如在ト書テ疎畧ナル心ヲ嫌カ。如在ノ詞ヲナジケレドモ。人ノ心懸隔勝劣アルニ依テ。用所モ齊カラズトイヘリ

三十 道理ニ昧。禮義ヲモ知ヌ愚人ヲ。無方者ト云

史記禮書曰。禮者人道之極也。然而不法禮者不足禮。謂之無方之民。註鄭玄曰。方猶道也。俗ノ語コヽニ本ケリ。又無法トカキテモ叶ヘリ

三十一 侫者 侫人 意地ノアシキ者ヲ云。心ニハオモハヲドモ。人ノ機ニ合ヤウニ。表裏ヲスル人ナリ。偏諂モ皆侫人ノ事ナリ。○謌ニ奈良坂ヤ兒手柏ノ二方モテ。トニモカクニモ。

三十二 一字千金 コレハ一字ノ益アル事。千金ヨリモ勝ト云コトナリ。○漢書韋賢傳曰。諺曰。遺子黄金滿籯。不如一經。是一字千金ノ心ナリ。又瑯邪代醉編二十六曰。晉朱伺曰。不貴勇而貴忍。此真一字千金ノ兵法也。愚人唯金ヲ重ズル事ヲ知テ。反テ文字ヲ輕ズ錯哉

三十三 一騎當千 涅槃經。喩如人王有大力士。其力當千。更無有能降伏之者。故称此人一人當千。俗語佛説ヨリ本キタルナラン。一人當千。一騎當千。同事ニシテ無別。

四十 千斛万斛モ食一杯 俗字ニ。千石万石。コノ諺ハ千石万石ハ。大名ノ知行ナリ。彼俸禄萬斛ノ大家モ。食スル所ハ一杯ニハ不過食物ノ美惡ハアレド

モ。其所飽貴賤ヒトツナリト。少欲知足セヨト云事也。德清老子經解曰。諺語有之。羅綺千箱不過一暖。食前方丈不過一飽。イヘリ。又韓詩外傳曰。北郭先生妻曰。結駟列騎。所安不過容膝。食前方丈。所甘不過一肉之味。イヘリ。異域同談ナルモノナリ

五十 **軍見テ矢ヲ作** 此俗語ハ。萬ノ事兼テ用意ナクテ。其節ニ到テ。俄ニ計急ニ力ヲ費ドモ。多ハ益ナシト云コトナリ。○說苑曰。越石父云。人勿言也。譬之猶渴而穿井。臨難而鑄兵。雖疾從而不及也。○素問曰。夫病已成後藥之。乱已成而後治之。譬猶渴而穿井。鬪而鑄兵。不亦晚乎。○晏氏春秋曰。臨難鑄兵。臨渴堀井。諸藉ニ斯語ヲ載タリ。兵トハ世本曰。蚩尤以金作兵。兵有五。一弓二殳三矛四戈五戟トアリ。作矢ト云モ。鑄兵ト同事ナリ。又郁離子曰。旱思具舟。熱思具裘。天下之名言也。コレハアツケレドモ寒ヲ不忘。旱ニモ水有支ヲ不忘。シテ。用意スル樣トソ

六十 **小利大損** 說苑敬慎篇云。小利大利殘也。ケダシ俗ノ諺コヽニ出歟

七十 **忠ガ不忠ニナルトハ** 主君ニ忠節ヲ盡。臣下還テ不忠ノ名ヲ取テ。罪セラルヽ例ヲホシ。○漢書曰。玉人獻寶。楚王致誅。李斯竭忠。胡亥極刑。コノ意ハ千和ト云者。美玉ヲ楚王ニ奉テ。還テ足ヲ切レ。李斯ト云者ハ。秦ノ胡亥ニ仕テ。忠ヲ竭。諫言シテ。カヘリテ死罪ニアフ。誠ニ忠ヲシテ。不忠トスルモノナリ

八十 **奢者不久** 老子經曰。自敖者不長。○林希逸注云。不長不可久也。誠哉一時ノ

權柄ニ乘シテ。驕ヲ極トキハ。自禍ヲ招テ。終ニハ。滅亡ル也

三十九 **陰陽師身ノ上ヲ不知** 是ハ人ノ上ヲ察シテ。我身ノ上ニ昧キ喩ナリ。サレバ陰陽師ハ。九流ノ一ツナリ。百官唐名抄曰。陰陽師無唐名也。又職原抄曰。陰陽師相當從七位上。唐名大卜師トアリ。コノ唐名ハ非ナリトイヘリ。職員令曰。陰陽師六人掌占筮相地イヘリ。今世俗ノ陰陽師ト云ハ官職ノ義ニアラズ。唯廣ク術ヲスルモノヲ指テ云ナリ。マコトニ陰陽師。人ノ上ノ吉凶禍福ヲ占ドモ。己ガ身ノ是非利害ハ知ザルナリ。サレバ大唐桑由ノ巫ハ晋侯ノ夢ヲトテ。還テ被戮。謝右高宗ノ字ヲ相シテ。卒ニ所竄イヘリ。上代靈妙ノ術スラ。己ガ禍ヲ知ス。況ヤ當世庸巫ノ徒ヲヤ。ヲンミヤウジトトナヘテ。アヤマラズ。源氏等ノ讀クセナリ

四十 **人ハ一代名ハ末代** 白氏文集六十八曰。遺文三十軸。軸々金玉声。龍門原上土。埋骨不埋名。又本朝文粹十曰。夫形者百年之旅館也。名者萬代之嘉賓也。諺コレヨリ起レリ

四十一 **安變改スルヲ。手ノ裏ヲカヘスト喩ナリ** 後漢書曰。興善政易於覆手。コレ諺ノ擬ナラン。今漢書ノ語ノ意ハ。元来我心ニ。性善トテ備タル善心アリ。是ヲ用レバ善ナリ。不用悪ナリ。然バ君ノ政ヲ興シタマフモ。我ニアル善心ヲ。眞直ニ用タマヘバ善政ナリ。コレスナハチ。外ヨリ求来モノニ。ア

ラザレハ。安コトヲイハ
ントテ。手ヲ覆トハ書リ

四十二 顔ニ似ヌコヽロ 人惣テ顔ト心ト異ナリ。人面獸心トテ。人ノ面ニテ。獸ノ心アリ。獸形人心トテ。獸ノ姿ニテ。心ノ人ナルアリ。サレバ上古ノ伏犧女蝸神農夏后氏ハ蛇身牛首ニテ大聖人ナリ。姧夫邪佞ノ今ノ人ハ貌人ニシテ。中心畜生ナリ。佛教ニ女人ヲ指シテ。外面ハ菩薩ニ似テ。内心ハ夜叉ノ如シト云ナリ。是等カホニ侶ヌ心。ナルベシ

四十三 兄弟ハ兩ノ手ノ如 世俗ノ常ニ言コトナリ。○後漢書ノ語曰。兄弟ハ左右手也イヘリ。諺斯ニ本ケリ。兄弟ハ。父母ノ血脉相貫テ一氣ナルモノナレバ。一本ノ木ニ枝條ノ有ガ如故連枝トモ云ナリ

四十四 美女ハ惡女ノ敵 コノ語ハ。萬ノ道ニ。アルコトナリ○說苑尊賢篇趙簡主語曰。夫美女者醜婦之仇也。盛德之士。亂世所疏也。正直之行。邪枉所憎也トイヘリ。又史記美人入室。惡女之仇也

四十五 古卿難忘 或曰。禮記檀弓曰。君子樂樂其所生。禮不忘其本。古之人有言曰。狐死正丘首仁也。吁人而忍忘古鄉耶

四十六 曲ラ子バ世ニ不立 世說曰。王苑祿如屏風。屈曲從俗。能蔽風露。王光祿ガ傳ハ。南史ニ出タリ。我身ヲ曲テ。時ニシタガヒ。俗ニソムカヌ故。屏風ノ曲テ。

所ニカナフニ喩タリサレドモ。カゼヲフセグホドノ。功ハアルト云コトナリ。家隆郷歌ニ。シカリトテ。直コヽロモ。世ニタヽズ。マジル蓬ノ。アサマシノ世ヤ。右諺ニ相侶タレハコヽニ引

四十七 人ヲ叱貶トテ。大盗人ト言 竹取物語ニ。大伴大納言ノ詞ニ。カクヤ姫テウ。大盗人ノヤツガ。人ヲ殺サントスルナリケリトアリ

四十八 盗ニ鑰トハ 盗人ニ力ヲ附ノ謂ナリ。史記李期傳曰。藉寇兵而齎盗糧者也。シカレバ盗ニ糧トイハヾ。古語ニ能叶ベシ。盗人ヲ。ガンドウト云。強盗ナリ。強盗トイヘバ。重盗ナリ。庭訓往来山賊。海賊。強盗ニ盗トアリ。顕テヌスムヲ強盗ト云。押付取ト云類ナリ。密ニ盗ヲ竊盗ト云。夜戻切ト云モノナリ。コレヲ強竊ニ盗ト云也

四十九 盗人ヲ白波ト云 和歌ニモ不偸盗戒ノ心ヲヨメリ。○ウキクサノ。一葉ナリトモ。イソガクレ。オモヒナカケソ。ヲキツシラナミ。伊勢物語ノ。オキツシラナミ立田山ノ歌モ。盗人ノコトニ。ヨセタルナリ。竜田山ニハ。盗人ヲ讀ナラハセリ。拾遺集ニ。盗人ノ。タツ田ノ山ニ。イリニケリ。オナジカザシノ。名ニヤケガレン。サテ白波ト名ルハ。漢ノ孝霊帝。中平元年。張角ト云者。黄ナル頭巾ヲ着タル者ヲ。三十六萬人相隨。謀反ヲ發。時ニ皇甫崇ト云者アリテ。コレヲ亡ス。其餘黨ドモ。西河ノ白波谷ト云處ニ隠テ。追ハギヲシテ。往還ノ者ヲ。ナヤマス。コレヲバ白波賊トハイフ

ナリ。コレ白波ノ名ノ起
ナリ。右ハ後漢書ノ趣

【五十】船ニ水手檝取ト云者アリ。水手ヲ鹿兒者
ト云

ノ鹿兒ト云ハ。往昔應神天皇十三年。淡路
ノ嶋ニ幸マシ〳〵テ。獵シ玉フ時。天皇西
方ヲミソナハスニ。數十ノ大鹿。海ニウカ
ミテ。則播磨ノ國。鹿兒ノ水門ニ入ヌ。天皇
使ヲツカハシテ。見セタマフニ。皆人ナリ。
船ノツキタル。鹿ノ皮ヲ衣タル者ナリ。勅
使問テイハク。如何ナル人ゾ。答テ云。日向國
諸縣ノ君。牛ト號スモノナリ。年老テ奉ヲ
ヤムトイヘドモ。帝ヲ忘レタテマツラズ。故
ニ己ガ女。髮長媛ヲ奉ルナリト。天皇悦タ
マヒ。媛ヲ御船ニ召レケリ。其ヨリ其水門
ヲ。鹿兒ノ水門トハ云。水手ヲ鹿兒ト云モ
此時ヨリ起レリトゾ。右ハ日本紀ノ説ナリ
萬葉集ニ。ナゴノ海ヲ。朝漕クレバ。海中ニ
鹿子ゾナクナル。
アハレソノ鹿兒

【五十一】無禮不義ノ者ヲ貶テ畜生ト云 是ハ舊タ
ル辭ナリ。

○禮記曰。鸚鵡能言。不離飛鳥。猩々能言。不
離禽獸。今人無禮。雖能言。不離禽獸之心乎。
史記秦本紀曰。人頭畜鳴。正義云。胡亥人身。
有頭面目。能言語。不辨好惡。若六畜之鳴イ
ヘリ。涅槃經ニ身雖大
夫。行同畜生トアリ

【五十二】愚ニ迷者ヲタハケト云 淫氣ナリ。淫ノ字
ヲ遊仙窟ニ。タハ
レト讀。○徒然草ニ。タハレタルカタニハ
アラデトアルヲ。季吟ガ云。タハケタルナ

ドイフ様ノ詞ナリ。愛ニオボレテ。親ノ諫ヲモオソレズ。世ノ誹ヲモ恥ザル者ヲ云ナリ。コレハ色ニツキテイフ詞也。又姦ノ字。狂ノ字ヲモ。タハケトヨメリ。又タハレヲト云コトアリ。風流士。遊士○萬葉集ニ。タハレオト。ワレハキケルヲ。宿カサス。我ヲカヘセリ。ヲソノタハレヲ。ヲソノタハレトハ。河獺ト云獸。ハジメハタハルヽヤウニテ。後ニハ。クヒアフ物ナレバ。ヲソノタハレトイフコトヲ讀ナリ。猶歌林良材集ニ委シ

三十

ウツケトハ

空氣ナリ。空蟬。空貝。ミナヌケタルカラノ叓ナリ。歌ニ數多ヨメリ。空氣モ氣ノヌケテ。ウカリトシタル叓ナリ。○後撰集ノ歌ニ。ヲリハヘテ。音ニ鳴クラス。ウツセミノ。ムナシキ戀モ。ワレハスルカナ。コレハ音ニ鳴クラストアレバ。ヌケガラノ蟬トハミヘズ。或説ニウツセミハ。ウツクシキ蟬トイフ心モアリト。是清輔ガ説ナリ。率忽ニ心得マジキ事ナリ

四十

ナメゲトハ

無礼ナル義ナリ。則無禮ノ字ヲナメゲト讀ベシ。枕艸帋ニ。文コトバノナメキトアリ。コレモ文躰無礼ニ。カロ〴〵シキ心ナリ。日本紀ニ。無礼ヲイラナクトヨメリ。○壒嚢抄ニ那賣氣ノ叓ビンナキヨシヲ云ニ。ナメケニト云ハ。心如何平ノ字ヲナメゲニトヨメリ。平懷トモ。同事歟。一キハ思マシタルケモナキハ。平民准メ。無礼ノ心地ナリ。傍ノ字ヲ。ナメ〳〵トイフモ。心ハ是ニカヨフベキニヤ

トアリ。平懐ヲ。コナストモヨムベシ。今ノ俗ニ。ナメスキルト云モ。ナメンダラト云モ。無礼ノ過ル心ナリ。野風俗。イヤシキ身持ナラハシナリ

五十五 **阿房** コレモ右ニイフ。姦ノ類ニイヘルナリ○漢書曰。楚起章花之臺。而黎民散。秦興阿房之殿。而天下亂。或抄ニイハク。秦ノ始皇。阿房宮ノ大殿ヲ作テ。民ヲナヤマシ。終ニハ天下ヲモ失フ。是愚ナルモノナリ。本朝ノ俗。阿房ト云ハ。コヽニ本クトイヘリ。又阿頰ト書ルモノアリ

五十六 **无智無能ニテ。不用モノヲ。穀ニ不就ト云** 穀ハ五穀ニテ。身命ヲ續ノ食物ナリ。彼無才无能ニシテ。手ヲ遊バシテ世ニタツモノハ。終ニハ穀ヲ不得。饉ニ及ベキ義ナリ。穀断ト云モ。穀ヲ断ナリ。又曰。論語曰。三年學。不至於穀。不易得也。註曰。穀祿也。祿トハ俸祿ニテ。知行ト云モノナリ。穀ニ不就穀ニ不立云ハ。器量ナクテ。知行ヲモ取コト不能。用ラルヽ事モナクテ。スゴセル者也

五十七 **洒落者** 山谷ガ詩ニ云。春陵周茂叔。人品甚高。胸中洒落。如光風霽月。コレハ周茂叔ガ生得。高明トタカクアキラカニ。胸ノ中キヨク。スヽギタテタルコト。光風霽月ニ似タリト。マコトニ道德アル人ノ氣象ヲ。ヨク言顯セリ。是マコトノ。シヤレ者ナリ。當世不學短才ノ輩。心ノミ高ブリタルヲ。洒落臭ト云。又人ニ磨レタル者ヲ。洒礫者ト書トゾ

五十八 **烏呼者** 常ニモイフ事ナリ。太平記等ニ。往往イヘリ。烏呼者ヲ。オカシキ者トヨムナリ。又烏呼敷トモ云。又徑廷トカキテ。オコガマシト讀何モ。デカシダテニ。出スギタルト云意也

五十九 **喋々者** 辨口ニシテ。シカモ語多モノヲ云ナリ。史記張釋之傳。豈敷此嗇夫諜諜利口捷給哉。索隱曰。漢書作喋々。多言也

六十 **積善ノ家ニハ餘慶アリ** 是ハ易文言曰。積善之家。必有餘慶。積不善之家。必有餘殃トイヘリ。今日一善ヲナシ。明日一善ヲナシ。コレヲ久スレバ。積善ナリ。餘慶トハ。アマリノヨロコビナリ。已一身ノ慶ノミニ非ズ。子孫ニアマリテ。其ヨロコビアリ。又今日モ惡ヲナシ。明日モ惡ヲナセバ。積不善ナリ。餘殃ハアマリノワザハヒナリ。已ノミナラズ。孫々其ワザハヒヲ傳ナリコレ蔡虛齋蒙引ノココロナリ

漢語大和故事卷之二 終

漢語大和故事巻之三目録

一 勸學院雀轉蒙求
二 論語讀ノ論語不讀
三 養由ニ弓ヲ云
四 他人ノ弓ヲ不挽
五 君ハ舟臣ハ水
六 水ハ方圓ノ器ニ隨
七 河ダチ河テ杲ル
八 長居ハ懼アリ
九 故鄉ヘハ錦ヲカザル
十 卿ニ入テハ卿ニ隨ヘ
十一 人ヲ鏡ニセヨ
十二 人ノ故見テ我身ヲ思
十三 智恵ノ鏡モ晦
十四 狐ハ虎ノ威ヲ藉

十五 狐ノ妖ル事
十六 地燒ノ事
十七 轆軒首ノ事
十八 人物變化 凡三十餘事ヲ記ス
十九 白鼠
二十 烏頭白馬生角
二十一 馬ノ角
二十二 烏ノ聲ニ吉凶ヲ知
二十三 鳶鳴テ風吹
二十四 鬼神ニ横道ナシ
二十五 天狗ノ事
二十六 猫猱狿之事
二十七 蝸蜈蚣ヲ伏スル事
二十八 蝸ノ角ニ國アル事
二十九 蚊ノ睫ニ巣ヲ作ル虫ノ事
三十 醋貝ノ事
三十一 法燈 滿散
三十二 權柄 押柄
三十三 濫觴 并ニ巍々堂々○只顔○機轉○畠○江帥○放下公道○免角○氣踈○驚破○和
三十四 權輿
三十五 露拂
三十六 遊山
三十七 約束
三十八 用捨
三十九 用意
四十 矛楯
四十一 銷骨
四十二 荷負
四十三 魚目燕石

四十四 千金ノ帚
四十五 遼東ノ豕
四十六 朝四暮三ノ術
四十七 陰德陽報
四十八 槁木死灰
四十九 和光同塵
五十 時ニ不遇
五十一 無鳥里ノ蝙蝠
五十二 鳶ガ鷹生
五十三 生サキノ襁褓サダメ
五十四 遼來々々 元興寺
五十五 養産
五十六 晝生子侶父
五十七 老人ノ子ハ無影
五十八 海月モ骨ニアフ
五十九 命ハ寶ノ寶

三目録終

漢語大和故事卷之三

一 勸學院ノ雀ハ蒙求ヲ囀

コノ諺ハ。萬ノ支学習ドモ。見聞ニ熟スレバ。天然ニ大畧ノ支ハ知トイフ。世ノ喻ナリ。勸学院トハ。学問スル所ノ名ナリ。拾芥抄ヲ考ルニ。勸学院ハ。三條ノ北。壬生ノ西。藤氏学生ノ住也トアリ。今ハ雀ノ森ト云所ナリ。サテ雀蒙求ヲ囀トハ。雀ハ僕隷ノ名ナリ。サレバ勸学院ニ。ヲルトコロノ。下人僕マデ見習聞ナラフテ。蒙求ナドヲ讀トイフコトナリ。又ノ説ニ。雀ハ小鳥ノ總名ナリ。鸎ヲモ雀トイフベシ。昔学院ノ園ニ黄鳥アリテ。蒙求ノ呂望非熊ノ。四字ヲ囀トイヘリ。智者ノ邊ノ童ハ不習經ヲ讀ト云類ナリ

二 **論語讀ノ論語不讀** 是ハ論語ノ。文字言句バカリヲ讀ヲボヘテ。其意味ノ深長ヲ不知。聖賢ノ行跡ヲ學コトモナクテ。還テ儒ダテヲスルトイフ諺ナリ。論語ノ序ニ曰。程子曰。讀論語。有讀了全然無夏者イヘリ。コレ論語ヲ讀ニ四等アルナカニ。第一ノ讀テ全無知者ナリ。論語ニハ。カギラズ。六藝ノ文。百家ノ編。讀テ不行。知不爲ハ。今ノ諺ナルベシ。

三 **養由ニ弓ヲ云** コノ諺ハ。小智短才ノ輩。博識廣智ノ人ニ對シテ。道ヲ說理ヲ示ス。タトヱナリ。釋迦ニ經ト云ト同譚ナリ。淮南子ニ曰。養由基楚將善射。去楊葉百歩射之。百發百中トイヘリ。無雙ノ射手ナリ。養由ニ弓ヲ說。義之ニ筆ヲ授ト云語モアリ。義之ハ能書ノ者ナリ

四 **他人ノ弓ヲ不挽** 大唐俗語要畧曰。他弓不挽。他馬莫騎トアリ。弓馬ニハ不可限。總ジテ他人ノ物ヲ用ルコト。斟酌アルベキコトナリトゾ

五 **君ハ舟臣ハ水** 荀子曰。君者舟也。庶人者水也。水則載舟。水則覆舟。又家語解曰。孔子曰。舟非水不行。水入舟則沒。君非民不治。民犯上則頓。是故君子不可不嚴也。小人不可不整也。諺是等ニ本クナルベシ

六 **水ハ方圓ノ器ニ隨** 孟子疏曰。表正則影正。盤圓則水圓。盂方則水方。又白樂天詩云。無情水任方圓器。不繫舟隨去住風

七 河ダチ河テ泉 俗ニ善水ヲ游者ヲ。加和多知トイフ。果ルトハ死スル義ナリ。諺ノ本トコロハ。淮南子曰。夫善游者溺。善騎者墮。各以其所好。反自爲禍トイヘリ。善木ヲ意得タル者ハ。還テ溺。ヨク馬ヲ乘者ハ。反テ落ルトナリ。唯己ガ好スル所ヨリ。禍ハ起ト云

八 長居ハ懼アリ コノ諺ハ大名高家ノ御前ニ久ク居バ。假令忠節ノ人ナレトモヤヽモスレバ佞人ノ讒言ニ逢カヘリテ。罪ヲウクルナリ。總ジテ高貴ノ前ノ長居ヲ。遠慮セヨトイフ俗語ナリ。○史記四十一。越世家語曰。大名之下難以久居イヘリ

九 故郷ヘハ。錦ヲカザル コノ諺ハ。他國ニ行テ。立身シテ。富貴ニナリ。故郷ヘ歸テ。昔ノ人ニモ。己ガ栄花ノアリサマヲ見スルコソ。本意ナレトイフ俗語ナリ漢書曰。富貴不歸故郷。如衣錦夜行誰知之者。師古曰。無人見之。不栄顯矣。又史項羽紀コノ語アリ。錦ノ字ヲ。繡ノ字ニ作ル。諺史記漢書ノ意カ後撰集ノ詞ニ。紅葉バヲ。ワケツヽユケバ錦キテ。イヱニカヘルト人ヤミルラン

十 郷ニ入テハ郷ニ隨ヘ 傳曰。百里不同風。千里不同俗。故四方之民。言語衣服不一而已トイヘリ。其所々ノ郷ノ風俗同カラズ。言語モ衣服モ違アリ。ソレヲ學似子バ。怨ヲ求禍ヲ結モノナリ。故ニ所法式ニ隨トハイフナリ。シカシ不

義ヲナス郷ナラバ入ザルニハ不如

十一 人ヲ鏡トスルト云事 墨子云。君子不鏡於水而鏡于人。鏡於水則見容之面。鏡於人則知其吉凶。已上唐書曰。魏徵薨。太宗臨朝歎曰。以銅爲鑑。可正衣冠。以古爲鑑。可知興替。以人爲鑑。可明得失。朕常保此三鑑。内防已過。今魏徵逝。一鑑亡矣。負觀政要ニモ載タリ

十二 人ノ故ヲ見テ我身ヲ思ヘ 誠哉世ノ諺。人ノ善ヲ見テハ。已モコレ有コトヲ欲シ。人ノ悪ヲ見テハ。我モコレ有ンコトヲ恐。其外威儀言語及小藝ノ末マデ。人ノ故ヲ見テ。我身ヲ思ハ。ナドカ人ニ劣ランヤ。先聖曰。見賢思齊。焉見不賢而内自省也。イヘリ。諺コヽニ本ナルベシ

十三 智恵ノ鏡モ晦 智恵ハ佛書ニ決定審理。謂之智。造心分別謂之恵。イヘリ。鏡トハ。智恵ノモノヲ明ニ辨タトヘナリ。尋常ノ人ハ小智アリテ。義理ニ幾コトアリトイヘドモ。不幸ニシテ禍災ニカヽリ。貧窮ニ及バ。其心動顛シテ平生ノ智恵モクラミ。才覺モ拙ナル。コレ智恵ノ鑑モ晦トイフコトナリ。朝野僉載曰。人貧智短。馬疲毛長。コノ意諺ニ能合モノカ。孔門ノ顔回ハ。不以貧窶。累其心。而改其所樂イヘリ。孟子ニハ。富貴不婬。貧賤不移。又程明道ノ詩ニ。富貴不婬。貧賤樂。男子到此。是豪雄トイヘリ。コレミナ聖賢ノ域ナリ

十四 **狐ハ虎ノ威ヲ藉**コレハ下人主君ノ權威ヲカルトイフ喩ナリ。○文選曰。鼠憑社貴。狐藉虎威。戰國策曰。江乙曰。虎求百獸而食之。得孤。孤曰。子無敢食我也。天帝使我長百獸。今子食我。是逆天帝命也。子以我爲不信。吾爲子先行。子隨我後觀。百獸之見我而敢不走乎。虎以爲然。故遂與之行。獸見之皆走。虎不知獸畏己而走也。以爲畏狐也。是ヲ本トシテ。イヘル世話ナリ

十五 **狐ハ**名山記曰。先古之淫婦。其名曰紫。化爲狐。多自稱紫。○事文類聚曰。野狐一名紫夜。擊尾出火。將爲怪。必戴髑髏拜北斗。髑髏不墜。則化爲人矣。○木草綱目曰。狐至百歲。禮北斗。變化爲男女。媱婦以惑人。又能擊尾出火矣。○白氏文集曰。古冢狐妖且老化爲婦人。顏色好。見者十人八九迷云云。夫木集ノ詞ニ。花ヲミル。道ノホトリノ。古狐カリノイロニヤ。人マヨフラン。コレ白氏文集ノ意ニテ。讀ナルベシ。字彙曰。狐鼠尖尾大。善爲妖魅。性淫多疑。死則首丘矣。豺狼モ歲ヲ經ハ妖ニヤ。抱朴子ニ曰。狐狸豺狼。皆壽八百歲。滿五百歲則善變爲人形矣。蟒火ハ螢火也。是ヲ狐火トモ。讀セタルコトアリ

十六 **曠野ナドノ。夜ニ入テ燒コトアリ**俗ニ地燒ト云。人ノ血コボレテ。土ニ入テ歲ヲ經不滅。夜ハ火ヲ顯ストイフ。此火遠ミレバ有。近イタレバナシ。コレ燐火トイヘルモノ歟。蠡海集曰。曠野夜有燐火。近之則方無。乃有形無質者也。イヘリ。燐音鄰。鬼火兵死。及牛馬之血爲燐

十七 **蠪蠷首**

此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。如レ此者世ニ往々アリトハ聞ケレドモ未ダ見ル者ナシ。予一日書肆ニ到テ。遯斎閒覧ヲ閲スルニ。蠪蠷首ノ妻ト西南ノ地。廣千里ニ皆爲鹽田。行人所レ經。牛馬之ヲ食。其人及ビ夜叉狀如レ猴。頭有レ痕。毎日前。頸有レ痕。毎日一飛一頭。故有飛頭獠子之号。頭飛ビ去テ。海岸ニ尋蠣蛤之類ヲ食レ之。將レ曉飛還。

十八 **人物ノ變化**

本草綱目曰。失其靈則人化レ物。耶。柳子譚子所レ謂。至レ嫉者化爲レ婦。人。至レ暴者化爲レ猛虎。心之所レ變。不レ得レ不レ變。イヘリ。世說并神異經曰。武昌貞婦。望レ夫化而爲レ石。コレ望夫石ナリ。詞ニモ。タノメツツ。キガタキ人ヲ。待ホドニイレニ我身モナリハテヌベキ。○譬神異苑曰。古者有レ夫。晉妻。荒年菜食而死。化成青虹。俗呼爲美人虹。○宛委餘編曰。漢末女子徐登。化爲丈夫。晉安豐ノ女。化爲男。寧康初。女人。唐光啓二年女

希有ノ物ナリ

城國婦人。有頭飛者。夜飛食人糞矢。知而圍封其頭。或移其身則死矣。作書者自云。目擊其事。考占城正接安南之南。而老撾正。接安南ノ西北。始テ信陳詩不誣ニコトニ蠪蠷首ハ

子。宋ノ乾道三年女子。慶元三年女子。搜異志ニ
廣州ノ女子右女化シテ。男トナルナリ。又男
化シテ女トナル者ハ。華陽國志ニ曰ク武都ノ丈
夫。化シテ為ル女子ト。蜀王納ル之ヲ。至亡國。漢ノ建平中ニ男
化シテ為ル女ト。嫁シテ人ニ生ム二子ヲ。建安七年ニ男子。劉曜ノ時
男子。蘇撫陝ノ男子。右男化シテ為ル女ト者ナリ。又
魏ノ世家ニ襄王十三年ニ女子化シテ為ル丈夫ト。不著其
姓名ヲ。文王四十二年。武王之元年也。有女子
化シテ為ル丈夫ト。見竹書紀年ニ。是等ノ史記評林并ニ
琅邪代醉ニ舉タリ。○韓子化書ニ曰ク老楓化シテ
為ル羽人ト。○幽冥録ニ曰ク五色ノ浮石化シテ為ル女ト○左
傳ニ曰ク鯀ノ神化シテ為ル黄熊ト○續漢書ニ曰ク靈帝ノ時江
夏ノ黄氏ガ母。浴水ニ化ス龜ト○捜神記ニ曰ク魏ノ黄初中
清河ノ宋士宗ガ母浴室ニ化シテ為ル黿ト○異苑ニ曰ク宋ノ文
帝元嘉中ニ高平ノ黄秀山ニ入テ為ル熊ト○淮南
子ニ曰ク人七日病テ為ル虎ト其ノ兄殺ス之ヲ○隋書ニ曰ク文
帝七年。沙門為ル蛇ト長二丈許○抱朴子曰獼
猨猴玃滿三百歳ニ化ス人ニ○牛哀病七日ニシテ而化シテ
為ル虎ト○録異記ニ女為ル虎ト○漁樵閒話ニ曰ク李徴
者。因テ病ニ而化シテ為ル虎ト○代醉ニ曰ク漢ノ宣城郡ノ守封
邵。忽チ化シテ虎ト。食フ郡民ヲ。又蜀王孟昶ガ時。百姓譙本
為ル虎ト○博物志ニ曰ク江漢ニ有リ貙人。能化シテ為ル虎ト○
太平廣記ニ曰ク唐ノ史無畏。變シテ為ル牛ト○陶朱新録ニ
曰ク馬孝恭入テ南山ニ化シテ為ル虎ト○代醉編ニ松化シテ為ル
石ト。蟹蛇化シテ為ル石ト○本朝文粹第一ニ紀納言辨
化シテ為ル松ト賦アリ。千年ヲ經タル柳ハ松トナ
ルトナリ。右ノ數件。文ノ
繁ケレバ略シテ載タリ

（十九）**世ニ云白鼠ハ寶ナリト** 抱朴子ニ曰ク鼠ハ壽三
百歳。滿レバ百歳ニ則色
白。善ク憑テ人ニ而下ル。名テ曰フ仲ト。能ク知ル一年中ノ吉凶及
千里ノ外ノ事ヲイヘリ。實ニ重寶トスルモ由ア

ルコト
ナリ

二十 烏ノ頭白。馬ニ角生ル

希ナルコトヲイヒ習セリ。太史公曰。稱太子丹之命。天雨粟。馬生角也。太過。索隱曰。燕丹求歸。秦王曰。烏頭白馬生角。乃許耳。丹乃仰天歎。烏頭即白。馬亦生角。風俗通及論衡。皆有此說トイヘリ。論衡ノ說ハ。燕ノ國ノ太子丹。秦王ノタメニ。人質ニトラレテ。故鄉ヘ歸ンコトヲ求ルニ。秦王ノ曰。烏ノ頭白ナリ。馬ニモ角ノ生タラバ。救トイフ。太子丹。天ニ仰テ歎ケバ。烏ノ頭モ白。馬モ角生タルガアラハレタリ。秦王驚キテ丹ヲ國ニ歸ストイフ。又夏文類聚別集引遊歷記聞云。馬角烏頭。同論衡說。又風俗通ニハ。實ニ無此事云。同太史公說。并テ記。後撰集ノ歌ニ。山烏。カシラモ白ク。ナリニケリ。ワガカヘルベキ。時ヤキヌラン。コレ太子丹ガ故事ナリ。又連歌ノ書ニ。還幸トナクヤヨシノヽ。山烏。カシラモシロシ。ヲモシロノ世ヤ。南帝ノ吉埜ニ御座トキノ事ナリ。世俗ノ諺。古ノ遺事ナリ

二十一 馬ノ角トイフ物アリ。靈寶トス

尤珍物ナリ。前漢書五行志。京房易傳曰。臣易上政不順。厥妖馬生角。成帝綏和二年二月。馬生角。是時王莽害上之萌。自此始矣。畧文。此時ノ馬ノ角ハ。圍長各二寸ト見タリ。京房ガコヽロハ。不吉ノ物トス。又本朝ニテハ。非常ノ珍トシテ。不吉トハイハズ。寬永年中。武刕江戸ニ駿馬アリ。耳ノ下ニ角ヲ生ズ。長二寸餘アリ。阿部對馬守重次。此馬角一雙ヲ。日光山

東照大神君ノ。齋庫ニ進呈シ奉ル。其説ハ羅山文集ニ見タリ。羅山文集六十卷道春一世ノ詩文ナリ

二十二

諺ニ烏鳴テ人ノ死スルヲ告。人ノ産ルヲ知シムルト云。由アルヤ

容齋隨筆曰。北人以烏聲爲喜。鵲聲爲悲。南人聞鵲噪則喜。聞烏聲則唾而逐之トイヘリ。是ハ其所ニヨリテ。喜トシ悲トス。又北齊書曰。奚永洛與張子信對坐。有鵲正鳴於庭樹間。子信曰。鵲言不善。當有口舌事。今夜有喚。必不得往。子信去後。是夜琅琊王。五使召之。且訝敕喚。永洛詐称墮馬。遂免於難。又東方朔陰陽局鴉經ニ烏ノ聲ヲ數テ。其急緩ヲ辨ジテ。吉凶ヲ定ムル術アリ。是等ノ説ニ本キテ。烏鳴ノ吉トイヒ凶トイフナルベシ。字彙曰。烏見異則噪。故以爲烏呼歎所異也イヘリ。烏鵲ハ同類ナリ

二十三

鳶鳴バ風吹トイフ

曲禮曰。前有塵埃。則載鳴鳶。註曰。鳶鳴則將風イヘリ。鳶ハ高飛コトヲ好バ。風ヲ悲テ鳴ニヤ。又朝ニ鳴バ雨降。夕ニ鳴ハ雨晴ルトモイフ。虎嘯ハ風生ジ。竜吟ズレバ雲起ルトイフ類ナリ。皆氣類相感ズルモノナリ。凡物。氣ノ先ヲ知コト多熊深山ヲ出レバ。大雪降トイフ。蛇木ニ昇レバ水アリ。水鳥木宿バ雨降。蚊空ニ集レバ雨アリ。牛吼レバ天陰雨降風吹。是等予ガ郷ニ。ツ子見モノナリ

四十 鬼神ニ横道ナシ

寂寞ニ。鬼神ハヨコシマナシ。トガムベカラズトモニ。鬼神ヲ論ズルコト繁多ナリ。原人論解ニ曰。若内ニ教ニ三ニ品九類之中。有ニ福徳ニ者ハ為ス神。无福徳者ハ為ス鬼。勝劣雖異。皆鬼趣攝。又善鬼神。悪鬼神。ノ論アリ。大集月藏經。灌頂經。十二佛名經等ニ説リ。佛家法護持ノモノヲ。善鬼神トイフナリ。儒家者流ニ論ズル鬼神ノ説。性理字義。凡三十一條ヲ擧タリ。程子ノ曰。鬼神者ニ氣之良能ニ説皆精切トイヘリ。委ハ往テ見ヨ。中庸圖解ニ曰。鬼神指陰陽屈伸往來ニ説又抱朴子ニ曰。神聰明而正直故。其道貴ル眞而罰僞。又左傳ニ曰。神者聰明正直ノ壹者也。依レ人而行トアリ。今儒家ニ所謂横道ナル徼正。大山ノ伯ヲ鞍馬ノ僧正。比叡山ノ豊前坊。大峯ノ前鬼。白山峯ノ相模坊飯綱ノ三郎。比叡山ノ次郎。其外世ニイフ天狗ノ類ヲ擧ル圖ス。

五十 天狗ノ事

者坊。彦山ノ豊前坊。愛宕山太郎坊。飯綱ノ三郎。比叡山ノ次郎。其外世ニイフ天狗ノ類ヲ擧ル圖ス。

鷲ノ嘴アリテ。翅ハ金色ニシテ。手ニ羽団ヲ持。足ニ耳目アリ。人ノゴトクニレドモ。人ニアラズ。大ナルコト過レ量ナリ。是高慢ノ表事歟。頭巾篠懸ヲ帯スルコトハ。山伏ノゴトシ。本朝神社考ニ曰。眞濟僧正是ナリ。濟見深殿皇子也。所謂柿本紀之靈。爲大天狗。太郎坊是也。元亨釋書ニ眞濟傳アリ。魔ノ道ニ生タリ。又鳶ノ嘴ニ足ニ耳目アリ。人ノゴトクニレドモ。人ニアラズ。大ナルコト過レ量ナリ。是高慢ノ表事歟。頭巾篠懸ヲ帯スルコトハ。山伏ノゴトシ。本朝神社考ニ曰。眞濟僧正是ナリ。濟見深殿皇子也。所謂柿本紀之靈。爲大天狗。太郎坊是也。元亨釋書ニ眞濟傳アリ。魔ノ道ニ生タリ。又鳶ノ嘴ニ足ニ耳目アリ。人ノゴトクニレドモ。人ニアラズ。大ナルコト過レ量ナリ。是高慢ノ表事歟。頭巾篠懸ヲ帯スルコトハ。山伏ノゴトシ。本朝神社考ニ曰。眞濟僧正是ナリ。濟見深殿皇子也。所謂柿本紀之靈。爲大天狗。太郎坊是也。元亨釋書ニ眞濟傳アリ。魔ノ道ニ生タリ。

ナシ。奇怪ヲナス者トゾ。源平ノ乱。太平記ノ乱世ニ盛ニアラハレタリ。○東鑑曰。建治年中。南都天狗現恠。一夜中於人家千餘字書三字未来不。尤爲奇恠。又杜子美ガ天狗ノ賦ニ。上揚雲旗兮。下列猛獸。中畧。天狗嶙峋兮氣觸神秀。色似狻猊。小如猿猭。コノ意ナレバ。畜類ノ中ナルベシ。魔道ノ天狗ニテハナカルベシ。又史記天官書曰。天狗如大奔星有聲其下止地類狗所墜及炎火トアリ。天狗ノ名同クシテ理異ナル者アリ。一偏ニ見ルベカラズ

二十六 猫マタノ事

徒然ニ奥山爾。猫猿挺諾謂鬼有而喰人跡。人之謂來爾トアリ。和名ニ猫。稱古麻。猿挺。漢語抄ニ万太。猨ノ屬也。徒然野鬼ナリ。妖テ婦女ヲカカシテ。煩ハ。横ナル猫ニオカサレタルハ。雄ヲ殺テ是ヲ治シ。雌猫ニオカサレタルハ。雌ヲトラヘテ。是ヲ活ストイフコト續耳談。月令廣義ナドニ。見ヘタリト云云

二十七 世ニ言蚰蜒ハ。蝸ノ經アガリテ成ト。又別ニ生ズルモノトモ見タリ。此蟲蛇蝎ヲ伏スル者ナリトイフ

蝸牛蜈蚣ヲ伏スルコトハ。墨客揮犀ニ曰。蝸牛不特能伏蝎。亦能制蜈蚣。蜈蚣見蝸牛。則不復能去。蝸徐登其背。以涎繞之。其足盡落イヘリ

二十八 蝸牛ノ角ノ上ニ國アルト言事

莊子則陽篇曰。戴晉

人見魏瑩曰。有所謂蝸者。君知之乎。曰。然。有
國於蝸之左角者。曰觸氏。有國於蝸之右角
者。曰蠻氏。時相與爭地而戰。伏尸數萬。逐北
旬有五日而後反トアリ。是ニ本テ蝸牛ノ
國ヲ詠ナリ。爾雅翼曰。蝸以有兩角。故以牛
名ク。○歌ニモ讀リ。家ハ出ヌ。何カナニハノ
カタツブリ。津國アリト。身ヲタノムラン。
國アルトイフニ付テ。ツノクニトヨムナ
リ。頭註俳諧ノ歌國ヲサヽゲ家ヲモオヒテ。
行虫ノ。チカラマコトノ。牛ニマサレリ。白
居易ガ句ニ蝸牛角上爭何事ト云云

二十九　蚊ノ睫ニ巣ヲクフ虫ノ事

江浦ノ間ニ。蟭螟トイフ虫アリ。蚊ノ睫ニ聚テ栖ナリ。蚊コレヲ不覺。離子羽ガ。明ナル目ニテ見レドモ不見。䚡俞師曠ガ聰耳ニテ聽ドモ其聲ヲ不聞。唯黄帝容成子ト。齋スルコト三月。心死形廢神ヲ以テ視レバ。其形嵩山之阿ノゴトシ。氣ヲ以テ其聲ヲ聽バ。雷霆ノ聲ノゴトシトイヘリ。右列子ノコヽロナリ。歌ニモ目ニ見ヘヌ。鳥モ世ニフル。身ノホドハ。蚊ノマツゲニモ。巣ヲツクルナリ。巣ヲ作ルトイフニ就テ。鳥トハ詠ジタル欤

三十　醋貝ノ事

此貝。勢州二見ノ浦ヨリ出ルモノトイフ。盃ニ醋ヲ盛テ。此貝二ツヲ。所ヲ異ニシテ置ニ。旋々テ。一所ニ合テ不相離事ヲ好者。コレヲ箱ノ中ニ置ニ年ヲ經テモ不壞モノナリ。琅邪代醉編ノ四十二日。相思子。生海中。如螺之狀。而中實類石焉。大比菽粒。好事者。藏置篋笥。積歲不壞。亦不轉動。若置醋一盂。試投其中。遂移動盤旋

不已。海槎餘錄ニ出。コノ相思子ハ和俗ノ酢貝ナルベシ

三十 法燈トハヲ指テ。法燈ニ喩ヘテ。佛法ノ棟梁トイフ。世俗ヲシテ佛法ヲ燈ノ如ク執ラシムル者ヲ。法燈執トハイフ。滿散トハ。法事滿リ。○滿散トハ。法事終テ。當時ノ散場トイフ。法事終テ散日ヲイフナリ。散トハ。アゲヲ。ナリ。

三十 權柄ハ。爺ノ柄ナリ。專要ノ柄ナリ。俗ノ諺ニ。家老職ヲ。執權柄者トイフコロナリ。上タル人ヲ喩テイフナリ。俗ノ諺ニ上ヨリ下ヲ按ズルヲ。皆權柄者トイフナリ。又押柄者トイフコロナリ。コレモ。コノロアル世話ヲ。

初ノ義ナリ。諸水始テ流ル。不遇ニ而漸至ニ于橫流也。サレバ岷山ヨリ出テ。小水ニ流ナレドモ。楚國ヘ流イヘリ○後漢集ノ歌ニ。ツクバチノ。崩ヨリオツル。ミナノ川。戀ゾツモリテ。淵トナリケリ。コノ歌ノ心ハ。ミナノ川モ。我戀モ。初ハソトバカリニテ。終ニ深淵トナルトイヘリ。盥ノコトク○物ノ盛ナル。ヲ。魏々。蕩々。論語ニ出。高大廣遠之稱也。堂々モ盛貌。紅粉ヲツケザルヲ。素顏トイフ。太平記ノ文字。素顏同○機轉ゴトク。機ノ働コトナリ。車ノ輪ノ廻轉ノ抄ニ出。○白田水田。常話ノ方語ニ云。文

三十 濫觴トハ。江トイフ河ハ。其ノ始ノ溢而漸至ニ于橫流也。サレバ岷山ヨリ出テ。小水ニ流ナレドモ。楚國ヘ流イヘリ○後漢集ノ歌ニ。ツクバチノ。崩ヨリオツル。ミナノ川。戀ゾツモリテ。淵トナリケリ。コノ歌ノ心ハ。ミナノ川モ。我戀モ。初ハソトバカリニテ。終ニ深淵トナルトイヘリ。盥ノコトク○物ノ盛ナル。ヲ。魏々。蕩々。論語ニ出。高大廣遠之稱也。堂々モ盛貌。紅粉ヲツケザルヲ。素顏トイフ。太平記ノ文字。素顏同○機轉ゴトク。機ノ働コトナリ。車ノ輪ノ廻轉ノ抄ニ出。○白田水田。常話ノ方語ニ云。文

献通ニアル文字ナリ白田ハ。ハタケナリ。水田ハ稲ヲ種ル田ナリ。日本ニテ。昔ヨリ畠ノ一字ヲ書コトハ。日本ニテ作字ナリトイヘリ。愚曰。村上天皇六十ノ文字ヲ作タマフ。其中ニ畠ノ字隨一也○公道トハ。公ノ事ヲ守ヤウニ。猥ナラザルコトナリ。○放下トハ。捨コトナリ。放下スト錄ナドニ多キ語ナリ○口利ナル者ヲ。江帥ト云大江匡房。太宰帥ナルユヘニ。江帥トイフ。此人隨分ノ物シリニテ。口キヽナレハ。江帥ノ名ヲ今ニ殘セリ。徒然艸ノ諸抄ニ引リ○江帥トモイフベシ○免角ノ文字ハ。三教指歸ニ出タリ。藻鹽艸ニハ。渡角トカク。○氣踈。河海抄ニ出。人氣踈。物サビシク。オソロシキコヽロナリ○驚破。白樂天ガ長恨歌ニ。驚破霓裳羽衣曲トアリ○波風ノ。ナグトハ。和ノ字ナリ。ナゴト讀モオナジコトナリ。清少納言ニ和カリツル海トモ。不見カシトアリ

四十 **權輿ト云モ始之義也** 蓋造稱自權始。造車自輿始トイフコヽロニテ。始ノ義トハスルナリ。諺ニ始モナク。不圖出來コトヲ。無權輿イフコト實ニモナルカナ

五十 **露拂トハ** 能操惣而遊藝ノ最初ヲイフナリ。或說ニ露拂トハ。元ハ鞠ニ云コトナリ。天子蹴鞠之時。賀茂人先蹴鞠。拂御懸之樹露ナリ。コレ露拂之ヲコリナリトイヘリ

逍遙ノ文字
俗云習フテ振
モト気脇ニ気
荘子ニ逍遙遊
アリ

三十六 **遊山** 野ニ遊。河ニ遊。氣ヲ伸。情ヲ遣ヲ。惣ジテ遊山トイフ。元ハ文舉ガ山ニ遊ヨリ起リ○晉書ニ。郭文名文舉。河内軹人也。少愛山水。尚嘉遯。毎遊山林。弥旬忘反。父母終不娶。辞家遊名山。トイヘリ是實ノ遊山ナルベシ。蒙求郭文遊山トアリ

三十七 **約束トハ** 謂圍繞束縛也。亦言語戒令檢束。皆曰約束也。シカレバ約束ノ二字ハ。ユハヘクヽルトイフ義ナリ。語ヲ以互ニクヽリタルゴトクニ。カタムル意ナリト知ベシ

三十八 **用捨トハ** モチユルト。ステルトナリ。文選曰。抗之則在青雲之上。抑之則在深淵之下。用之則爲虎。不用則爲鼠。コレハ用ヲ捨ルトイフ。用捨ノフタツガ大事ナリト

ナリ○運命論曰。百里奚在虞而虞亡。在秦而秦霸。非不才於虞而才於秦也。百里奚ハ賢人ナリ。虞ノ君ニ仕テ國亡。秦ノ君ニ仕テ國サカヘタリ。虞ニハ愚ニシテ。秦ニ智惠アルニハ非ズ。君ノ用ト捨トナリ。下賤ノ身ノ上ニモ。一切ニ用捨ハアルベトコトナリ。古語人間用捨有貧福

當世ハイヨ〳〵コレナリ

三十九 **用意** 兼テシヲク事ヲ。一切用意トハイフナリ。郁離子曰。旱思具舟。熱思具裘。天下之名言也。コレ用意ナリ。旱ノトキヨリ。水アランコトヲ思テ。舟ヲコシラヘ。熱トキヨリ。寒トキアランコトヲ思テ。アタタカナル衣裳ヲトヽノフルコトナリ

四十 **矛楯トハ** 自曰コトノ。相違スルヲ矛楯トイフ。韓非子曰。人有鬻矛與楯者。

譽其楯之堅。物無能陷也。俄而有譽其矛曰。吾矛之利。物無不陷也。人應之曰。以子之矛。陷子之楯。何如。其人弗能應也。コノ語ヨリ起リ。又中ノアシキコトヲ。矛楯トイフ。コレハ矛ハ人ツキサヽントシ楯ハ人ヲフセガントスル意ナリ

一四十一 鑠金銷骨 文選曰。衆口鑠金。積毀銷骨コヽロハ。諸人口ヲソロヘテ。似セノ金ナリトイフヲ。鑠金トイフ。又ニクミソシルコト積テ。親類兄弟ノ間モ。中アシクトルヲ。銷骨トイフナリ

二四十二 荷負 左傳曰。古人有言曰。其父析薪。其子弗克負荷。コノコヽハ。親タキヾヲキリテオキタレドモ。其子オヒ。ニナヒテ。トリテ歸コトアタハズ。トナリ。コレハ子トシテ。父ノ跡ヲ續コト。アタハザルタトヘナリ。此語ヨリ。親ノアト師匠ノアトヲ傳フルヲ。負荷トハイフ也。諺ニ代々續來家ヲ荷負ノ人。荷負ノ家ナドヽイフナリ

三四十三 韓退之云。衷燕石而履玄圃。帶魚目而游漲海。祇取誹耳 燕石ハ。玉ニ似タル石ナリ。魚目ハ。玉ニ似タル魚ノ眼ナリ。玄圃漲海ハ玉ノ多トコロナリ。其所ヘ。石ヤ魚ノ目ヲ玉トシテ。持テ行タラバ。必恥ヲカクベキトナリ

四四十四 魏文帝典論云。里語曰。家有敝帚。享之千金。斯不自見之患也 コノ意ハ吾家ニヤブレタル古帚アリ。是ヲ寶ト思テ。

價千金トオモヘリ。吾身ノホドヲ。見シラザルノアヤマチナリ。萬ノ藝能所作。コノタグヒナリ

四十五 **遼東ノ豕** 後漢書朱浮傳曰。遼東有豕生子白頭。異而献之。行至河東。見群豕。皆白懷慙而還。モロコシ遼東トイフ所ニ豕ノ子ノ白頭アリケレバ。珍物ト思テ。天子ニ奉ルベシトテ。河東トイフ処マデ。行見レバ。諸ノ豕皆白カリキ。サテハ珍シカラズトテ。慙カキテカヘリヌ。是ヨリ。已ヨシトホコルコトヲ遼東ノ豕トイフ

四十六 **朝四暮三ノ術** 列子曰。宋有狙公者。愛狙養之成群。將限其食。先訴之曰。與若芧。朝三而暮四足乎。衆狙皆起而怒。俄而曰。與若芧。朝四暮三足乎。衆狙皆笑而喜トイヘリ。狙公ハ猿ツカヒナリ。狙ノ餌ヲキハメントテ。芧トイフモノヲ。朝三夕ニ四アタヘバ足ヌセンヤ。狙ドモ腹ヲ立イカル。シカラバ。朝四夕ニ三アタヘン。狙ドモ喜。数ハ都合七ニ過ザレドモ。愚サニダマサレタルナリ。是ヨリ。人ヲタラシ欺テ。オロカニナスコトヲ。朝四暮三ノ術トハイフナリ。論語ニ程子ノ註ニ。後世朝四暮三之術也トイフ語アリ

四十七 **陰德陽報トハ** 世説曰。有陰德必有陽報。○列女傳曰。有陰德者。陽報之。德勝不祥。仁除百禍。イヘリ。コレハ楚ノ孫叔敖トイフモノ。雅トキ。外ニ出遊テ。兩頭ノ蛇ヲ見テ。殺テ埋。家ニカヘリテ泣。母其故ヲ問。叔敖ガ云。兩頭ノ蛇ヲ見ルモノハ。

必死ストイフ。我今日見タリ。死ナンカトイフ。毋其蛇何方ニアルトイフ。叔敖ガイハク。我ハ是非ナシ。餘ノ人ニ見セマジキガタメニ。殺テ埋トイフ。毋ノイハク。汝必不可死。陰德アルモノハ。陽報アリト。果シテ不死。後ニ令尹ノ官ニノボリ。楚國ノ政ヲシレリ。陰德トハ。ヒソカニ德ヲ脩ルナリ。人ハ不知ドモ。人ノタメニ善ヲナセバ。天ノ道ニ合ニヨリテ。陽ナル報アリテ。災難ヲ遁。善慶ヲ得ルコトヲイフ

四十八 **槁木死灰** 莊子曰。形固可使如槁木。而心固可使如死灰乎。コノコヽロハ。形ハ槁木ヲ立タルゴトク。靜ニシテ不働。心ハ死灰ノゴトク。一念モ不起ウゴカザルナリ。火ノ氣モナキ冷灰也。形ノ動。心ノ働ハ。陽氣ノ生ジテ。發動スルユヘナリ。其ヲ靜ニシテ。枯木冷灰ノゴトクセヨトイフ。莊子ガ心法ナリ

四十九 **和光同塵** 老子經云。和其光同其塵。トアリ。我智惠ノ光ヲフカク隱テ。顯サザルヲ和光トイフ。世ニ隨ヒ塵俗ノ中ニ混ジテ。時ヲ知ヲ同塵トイフ

五十 **時ニ不遇** 孔子ノ大聖スラ。七十餘國ヲ經回テ終ニ不用。時ニ不遇ナリ。又萬ノ所作ノ。時ニアハヌトイフコトアリ。○郁離子曰。鄭之鄙人。學爲蓋。三年藝成而大旱。蓋無所用。乃棄而爲桔槔。又三年藝成而大雨。桔槔無所用。則又還テ。爲蓋焉。未幾而盜起。民盡改戎服。鮮有用蓋者。欲學爲兵則老矣

五十一 **無鳥里ノ蝙蝠** 蝙蝠ハ諸家ノ本艸ニ。皆禽鳥ノ部ニ載タリ。異名ヲ飛

鼠トモ。仙鼠トモイフ。鳥ニ侶テ鳥ニ非ズ。獸似テ獸ニモ非ズ。二物ヲ兼テ。全躰ナキ物ナリ。鳥ノナキ里ニハ。蝙蝠オモハク。已鳥ナリト。是小人ノ狹才。小キ能ニテモ。其里ニ無智ノ者バカリナレバ。已得ガホニ。鳴マハル喩ナリ。元倉子曰。夫尋常之洿。巨魚無所還其躰。而鯢鰌爲之制。歩仞之丘。巨獸無所隱其軀。而蘡狐爲之祥。イヘリ。莊子ニモ此事アリ。俗ノ諺ニ。心火通ベキ歟。夫木集ニ。和泉式部ガ謌。人モナク。鳥ノナカラン。嶋ニテハ。コノ蝙蝠モ。君ヲタヅ子ン

五十二

鷰ガ鷹生 コノ諺ハ。愚ナル人ノ子ニ賢者ノ有ヲイフナリ。詩小毖傳。古語云。鷦鷯生鵰トイヘリ。心俗語ニ同ジ。鷦鷯ハ。ミヅサンザイトイフ小鳥ナリ。鵰ハ大鷹ナリ。鷦鷯ヲ和訓ニ。ミヅサンザイト云ハ。下學集ニ此鳥栖溝三歳。故日本呼溝三歳者。是鷦鷯也イヘリ。莊子云。鷦鷯巣林不過一枝云云

五十三

生ヌサキノ。襁褓定メ コノ俗ノ喩ハ。萬ノ事アマリ早マリタルヲ。子産ヌサキニ。ムツキヲツクルニ喩タルナリ○莊子ガ云。見卵而求時夜。見彈而求鴞炙者乎トイヘリ。雞ノ卵ヲ見テ。時ヲウタハセンコトヲ求。弓ヲミルヨリ。燒鳥ニセンコトヲ思。コレ計事大早タトヘナリ。諺相近者歟。襁褓負兒衣織縷爲之。廣八寸長二尺以約小兒於背トアリ。兒ヲ背ニ負モノナリ。又下學集ニハ。爲孩兒之拭不潔者也トアリ。小兒ノ大小便ヲ拭モノトミヘタリ。是ハ今ノ人ノ思ト同コトナ

リ〇詞花和歌集ニ曰。正月一日。子ウミタル人ニ。襁褓ツカハストテ讀ル。伊勢大輔。メヅラシク。ケフタチツル。ツルノ子ハ。チヨノムツキヲ。カサヌベキカナ。是襁褓ト正月ト。遍シテ讀ル也

五十四 遂來々々トハ 兒ノ啼トキ。怖コトバナリ。和俗ニ。小兒ヲ怖賺トテ。遂來々々トイフ。本ハ魏志ニ曰。張遼字文遠。鴈門馬邑人。武力過人。數有戰功。累轉前將軍。舊注ニ曰。江東小兒啼怖之曰。遼來々々。無不止者トイヘリ。張遼ガ來ゾトイフテ怖ナリ。南都元興寺ニ鬼スムユヘニ。今モ小兒ヲ怖ニ元興寺トイヒ。又ハ元興寺ニ噬セント云。一事一物モ。由ナキコトハナカルベシ

五十五 養産トハ 聖徳太子。御誕生之時。大臣以下獻饌。曰養産。今モ産家ヘ。餅ナド饋ヲ。産養トイフ。上古ノ遺風ナリ

五十六 晝生子ハ父ニ佀ル。夜生子ハ母ニ似ルトイフ コレハ五行大義ニ曰。晝生子ハ似父。夜生子ハ佀母トアリ。人ハ父ノ精母ノ血ヲ以テ。形ヲ得ル者ナリ。父ハ陽ナリ。母ハ陰ナリ。晝ハ陽ナリ。夜ハ陰ナリ。カルガユヘニ。晝生レハ。陽勝テ父ニ似ル。夜生レハ。陰勝テ母ニ佀トナリ

五十七 老人ノ子ハ無影 コレハ風俗通ニ曰。老人ノ子ハ無影トイヘリ。衰タル精氣ヲ受テ生ユヘナリ。是陰陽盛衰ノ驗ナリ

五十八 海月モ骨ニアフ 夫木集仲正ノ謌。我戀ハ。海ノ月ヲゾ。待ワタル。クラゲノホ子ニ。アフ世アリヤト。クラゲヲ海月トカケハ。讀モフケタルウタナリ。

五十九 命ハ寶ノ寶トハ 宝ノ中ノ宝トイフ意也。大智度論曰。設滿世界宝。無有直身命謌ニ。命ニモ。マサリテオシク。アルモノハ。トイヘルモ。第一ノ宝ナル故也

漢語大和故事卷之三終

漢語大和故事卷之四目録

一 蟹ハ甲ニ似テ穴掘

二 鑰ノ穴カラ天ヲノゾク

三 金言耳ニ逆フ

四 御鬚ノ塵トル

五 御前追從

六 燃火ニ薪

七 薪ヲ抱テ火ヲ救

八 思内ニ有バ外ニ形

九 身ニアマルウレシサ

十 遠目バカリノ箒木

十一 歌モ舞モ法ノ聲

十二 日ニ。三度身ヲ省

十三 知テ不知
十五 見ザル聞ザル
十七 知音
十九 人喰馬ニモ合口
二十一 人ニ飴ヲ舐ス
二十三 人ニ一ツ癖
二十五 玉不琢無光
二十七 亭主北ノ方冠者
十四 不知ヲ不知トセヨ
十六 藪醫者
十八 心友面友ノ事
二十 笑ノ中ノ劍
二十二 後言イハレテ嘘
二十四 玉ニ瑕
二十六 譏嫌并安堵
二十八 誓古披露汰

二十九 一切并云云
三十 旁若無人并萬葉日本紀等ノ讀
三十一 馬鹿ノ事
三十三 穴賢
三十五 十分ハ覆ル、
三十七 千日ノ勤學ヨリ一日ノ名匠
三十九 若木ノ下デ笠ヌゲ
三十二 無恙
三十四 天知地知
三十六 人間万事塞翁ガ馬
三十八 槫檀ハ二葉ヨリ香

四十 逃テ遁セ酒ニ酔
四十一 上戸下戸
四十二 猪武者
四十三 大福長者
四十四 長者富ニ不厭
四十五 狂人走バ不狂人モ走ル
四十六 人至テ恵ケレバ無友
四十七 綸言如汗
四十八 命ハ義ニ縁テ軽シ
四十九 辞多者ハ品少
五十 身サヘ心ニ任セズ
五十一 重荷ニ小付
五十二 樹ノ景ニ河ノ流
五十三 履新トイヘドモ冠トセズ
五十四 日暮道遠
五十五 世短意多
五十六 雞口牛後
五十七 怨ハ恩テ報ズル
五十八 騏驎モ老レバ駑馬ニ衰ル
五十九 青ハ藍ヨリ出テ藍ヨリ青
六十 婦ガ姑ニ為ハ程ナシ
六十一 比翼連理ノ契
六十二 色
六十三 麻姑ノ手
六十四 玄翁

六十五 庖丁

漢語大和故事卷之四目錄 畢

漢語大和故事卷之四

一 蟹ハ甲ニ似セテ穴掘トハ 人ノ爲コト願コト。大小廉狹。皆已ガ分ホドナルトイフ諺ナリ。コレト同談ナルコト。事文類聚後集曰。有客相從。各言所志。或願爲楊州刺史。或願多貲財。或願騎鶴上昇。其一人曰。腰纏十萬貫。騎鶴上楊州。欲兼三者矣

二 鑰ノ穴カラ天ヲ。ノゾク 鑰ニハ穴ナシ。鍵ノ鑰ヲ入穴ナルベシ。コノ諺モ。ヲノレガ小智短才ヲ以テ。妄ニ大道ヲ窺。已究リトスル喩ナリ。說苑曰。以管窺天。以針刺地。所窺者甚大。所見者甚少トイヘリ。コレ同譚ナリ。蟹ノ穴カラ

ノゾクトハ。アヤマリナリ

三 **金言耳ニ逆**

金言トハ。人ノ諫ハ。已ヲ利スルコト。金ノゴトシトイフ意カ。佛者ニ佛ノ語ヲ金言トイフモ。尊義ナリ。又金ニ堅固利用ノ二用アリ。佛語不變ニシテ。ヨク凡夫ノ煩惱ヲ。クダクユヘナリト。サレバ說苑正諫篇曰。孔子曰。良藥苦於口。利於病。忠言逆於耳。利於行。又家語云。藥酒苦口。利於病。忠言逆耳。利於行。○史記漢書ニモ此語アリ。漢書ニハ利ノ字ヲ便ノ字ニ作ル。諺右ノ語ドモニ本ナリ。シカレバ。金言ト云ハ忠言ト云訛ナリ

四 **御鬚ノ塵ヲ取**

是ハ諛媚テ。追從スルト云俗語ナリ。○事文類聚云。魏莱公爲相。丁晉公參知政事。嘗會食都堂。羹染公鬚。謂起拂之。公正色曰。身爲執政。親爲宰相。拂鬚耶。謂慙。コノ語世話ニヨク叶モノ乎。今世勢利ノ場ニ奔テ御髭ノ塵ヲ拂者。甚以テ多シ。

五 **御前追從スル者ハ。必ズ後ニテ誹モノナリト**

諺由アルカナ。○莊子曰。好面譽人者。亦好背而毀之トイヘリ

六 **燃火ニ薪トイフ。**

世話ノ意ハ。不善事ヲ巧者ニ。傍ヨリ腰ヲ押テ。弥其惡ヲ募シムル躰ヲイフ諺ナリ。書帝範ニ曰。惡火之燃。添薪。望止其燄。コノ意ハ。君タル人。我身ノ行ハ惡恣ニシテ。民百姓ノ非口ヲ防トスルコトハ。燃火ニ薪ヲ添テ。

火ヲ消ントスルガ如トナリ。コレハ世話ノ譬トハ。義異ナレドモ。語勢相似レバ并テ爰ニ記ス

七 薪ヲ抱テ火ヲ救フトハ 已ガ惡ヲ以テ。惡人ニ交レハ。其惡マスヽ長ズトナリ。戰國策。魏孫臣曰。抱薪而救火也。薪不盡則火不止。諺由アリ

八 思内ニアレバ。色外ニ形ハルトハ 人トシテ。内心ニ思ナキコトアタハズ僅嘻怒憂思等ノ七情内ニ動ケハ。其端外ニ。アラハレテ。人ノ爲ニ察セラルヽモノナリ。淳于髡曰。有於内必形於外。コノ語相似タリ。平兼盛カ謌ニ忍レト。色ニ出ニケリ。ワガ戀ハ。モノヤ。オモフト人ノトフ

九 身ニアマル喜サ 歌ニ。ウレシサヲ。昔ハ袖ニツヽミケリ。コヨヒハ。身ニモ。アマリヌルカナ。コノ歌。新敕撰集ニ。賀ノ部ニ讀人不知トアリ。西行ノ撰集抄ニ。公任卿位ニ進タマフトキ。讀タマフヨシ見タリ。コノ歌ヲ本願寺蓮如。門徒ニ与ヘタマフ文章ノ中ニ。引テ云。ウレシサヲ。昔ハ袖ニツヽムトハ。雜行正行ノ分別モナク。念佛ダニ申セバ。往生スルトバカリ。思ツル心ナリ。コヨヒハ身ニモアマルトハ。正雜ノ分別ヲ聞分。一向一心ニナリテ。信凌定シテ。報謝ノタメニ。念佛申ス心ハ。大ニ各別ナリ。故ニ身ノ置所モナク。踊アガルホドニ思間。ヨロコビハ。身ニモ。ウレシサガ。アマリヌルトイヘル心ナリトイヘリ。謌ノ本意トハ。異タレドモ。宜ニ隨フ

テ義理ヲ轉ジテ用タマフ。コノタグヒ。先哲多アルコトナリ。誠ニ智識ノ所爲ナリ。不可誣者也

十 遠目バカリノ。箒木 世話ニ多イフナリ。コレハ六帖ノ謌ニ。ソノ原ヤ。フセヤニ生。ハヽキバノアリトハミヘテ。アハヌ君カナ。坂上是則ノ歌ナリ。續歌林良材ニ。顯昭ガ云。箒木トハ。信濃國。ソノ原フセヤトイフ所ニ森アリ。其森余所ニテ見レハ。庭ハク箒ニ似タル木ノヱダアルヲ。立寄テミレバ。其木モ見ヘズトナン。申シツタヘタリ。ヨリテカクハ讀リトイヘリ。コノ意ヲトリテ。世話ニ。目ニ計ミテ。手ニ取レヌ事ヲ遠目計ノ箒木ト云

十一 歌モ舞モ法ノ聲 後拾遺集。遊女宮木。津ノ國ノ。ナニハノコトカ法ナラヌ。アソビタハフレ。マデトコソキケ。又法華經方便品ノ。唯有一乘ノコヽロハ。イキトシイケルモノ。悉佛躰ナリト說リ。有情非情。草木國土。何モ我法トイフ心ヲ慈圓。イヅクニモ我法ナラヌ。法ヤアルト。空吹風ニ。トヘドコタヘズ。同イヅカタモ。ノコサズユキテ。タヅヌトモ。花ハ御法ノ。ハナバカリコソ

十二 日ニ三度身ヲ省ルトハ 新葉和歌集ニ。題不知。入道前右大臣。日ニミタビ。オロカナル身ヲ。省テ。ツカフル道モ。ワガ君ノタメ。コレハ論語學而ノ。曾子之三省ヲトリテ。忠臣ノ情ヲ詠ズル者也。論語ノコヽロハ。非日三次省之。唯

以三省其身。而無一息之間斷也。必三次省トハ。錯了。今ノ和歌ハ三次ノ意ニ讀ルナリ。三省ノ說先儒ノ說ニ備リ。コヽニ閣ク

十三 **知テ不知** 技能學問ニ就テ。不知ヲモ知タリトシテ。愚夫愚婦ノ聞ヲ驚スハ。曲學小技ノ徒ナリ。知テ知ザレトイフコトヲ。知ザル者ナリ。是ヲ知バ。老子所謂。知其白守其黑之術ナリ

十四 **知ザルヲ知ズトセヨ** 論語ニ曰。知之爲知。不知爲不知。是知。コノ語ハ。孔子ノ子路ニ。教タマフナリ。子路ハ勇ヲ好テ。氣ガサ者ナレバ。知ザル事ヲモ。知タル樣ニイフホドニ。如此宣テ。子路ノ人ニハ。教タマフトゾ

十五 **見ザル聞ザル** 無住禪師ノ云。イハザルト。見ザル聞ザル。ヨリモナフ思ザルコソ。持ガタケレ。見惑易斷。如破石。思惑難斷。如藕絲ト云云

十六 **藪醫者** 庸醫ヲイフナリ。本字野巫醫者トカクベキカ。摩訶止觀七ニ曰。又如野巫。唯解一術。方救一人。獲一脯料。何須學神農本草耶

十七 **知音トハ。親友ヲイフナリ** 音ヲ知ト書ハ。琴ノ音ヲ聞知トイフ故事ナリ。○列子曰。伯牙鼓琴。鍾子期善聽。伯牙鼓琴。志在登高山。鍾子期曰。善哉峨々兮。若泰山。志在流水。鍾子期曰。善哉洋々兮若江河。伯牙所念。鍾子期必得之云云呂氏春秋云。鍾子期死。伯牙破琴絕弦。終身不復鼓琴。以爲無足爲鼓者アリ。列子ニ云

志高山流水ニアレバトイフコヽロヲ。連歌ノ句ニ。タカキ山ナガル、水ハ。ソノマヽニ。琴ノ音タチシ。人ハカヘラズ。後撰集ニ。ミチカ夜ノ。フケユクマヽニ。高砂ノ。ミ子ノマツカゼ。フクカトゾキク。コレモ志高山ニアレバトイフコヽロヲ詠トナリ。絶絃ノコヽロヲ。古今集ニ。琴ノ音ヲ。キヽシル人ノナキナヘニ。今ゾタチイデヽ。オヲモタツベキ。マコトニ伯牙ト鍾子期。知音ノ交ナリ。今ノ俗男女密通ノコトヽス。同氣同心ノ謂ナレバ。義ソムカザル歟

十八
心友トハ心ノ友ナリ

面友トハ。俗ニオモテムキノ友トイフモノアリ。司馬光曰。朋友當以誠心相與切磋琢磨不可不知其非而不告。但外貌相媚。悦群居遊戯相從飲食。友ノ交ノ本意ハ。相互ニ琢磨テ。非ヲ非トシ。是ヲ是トスルコソ。誠ノ交ナラメ。面向バカリ相媚テ。遊ビ戯レ。飲食薬楽バカリノ交ハ。益ナキ交ナリ。○明心寶鑑曰。古人結交。唯結心。今人結交。唯結面トイヘリ。又横渠曰。今之朋友。拍肩執袂以為氣合。一言不合怒氣相加トモ云ヘリ

十九
人喰馬ニモ合口

合口トハ氣ノ合トイフ義ナリ。世話ノ心ハ。暴悪無道ノ悪人ハ。人喰馬ノゴトク。副フ者ナキニ。又ソレヲ好テ。交ルモノアリトナリ。呂氏春秋曰。人有大臭者。其親戚兄弟妻妾。無能與居者。自苦而居海上。人有悦其臭者。晝夜隨而不去トイヘリ。是人喰馬ニモ合口歟

二十 笑ノ中ノ劔 コノ諺ハ。人ノ交。面向ハ懇切ノ躰ニテ。内心ニハ敵ヲ結ビ陰ニ害ヲナサント企ツ是コヽロヨク笑語中ニ。刃ヲ硎モノナリ。○春道述懷ニ。言下暗生消骨火。咲中偸鋭刺人刀イヘリ。又大學作義曰。世謂。林甫口有蜜。腹有劔。又夫木集ノ歌。衣笠内大臣。何事ヲ。オモヒケリトモ。シラレジナ。エミノウチニモ。カタナヤハナキ。同集ニ公朝。手ニトレハ。人ヲサステフ。イガグリノ。エミノウチナル。カタナオソロシ

二十一 人ニ粘ヲ舐ス コノ俗語ハ。内心ニハ人ニ害ヲナサントシテ。口ニハ甘言ヲ以テ交ノタトヘナリ。飴トハ甘トイハンガ爲ナリ。大學作義曰。稱以甘言。而陰陥之トイヘリ。笑ノ内ノ刀ト同譚ナリ

二十二 人後ニテ我事ヲイヘバ嚔トイフ 詩邶風云。寤言不寐。願言則嚔。註曰。我甚憂悼而不能寐。汝思我心如是。我則嚔。今俗人嚔云。人道我。此古之遺語也。○容齋隨筆曰。今人噴嚔不止者。必噀唾祝曰。有人說我。婦人尤甚矣。野客叢書ニモ引。又噀唾祝ノ三字ヲ。噀嚔咒トモ作ル。又歌ニハ。出テユカン。人ヲトヾメン。ヨシモナキニ。トナリノカタニ。ハナモヒヌカナ。古今俳諧ノ歌ナリ顯照ノ說ニ。嚔叓イカニモ。ヨカラヌコトナリ。年始ニ鼻ヒリツレバ。祝事ヲイヒテ祝ナリ。サレバ。人ノ所ヘ行ンズル初ニモ隣ノ人ノ嚔タランヲ聞テモ。クセ〳〵シカラン人ハ。立留

ベキナリトイヘリ。シカルニ今ノ俗ニハ。人毀我則嚔トイフハ。歌ノコヽロニハ不叶モノナリ。然ドモ洪容齋ガ説ニ因ハ。諺モ尤モ據ロアルモノ歟。○拾芥抄ニ嚔辯ノ頌ニ。休息萬命急々如律令。コレ禁ナリ。又瑣碎録ニ曰。占噴嚔子日酒食邪日大吉辰日婚合午日喜事酉日客至戌日嫉思亥日君子思。餘皆凶トイヘリ

二十三 人ニ一癖 晉書ニ曰。王濟有馬癖。和嶠有錢癖。杜預有左傳癖。又王福時誉兒癖。黄魯直香癖。李渉竹癖トナリ。癖ハ字書ニ嗜好之病ナリ。慈鎮ノ識ニ人毎ニヒトツノクセハアルモノヲワレニハユルセシキシマノ道

二十四 玉ニキズトハ 凡人大才賢智妙絶ノ技藝アリトイフトモ。其行瑕疵ニオヒテ。烟モ瞬コトアレハ。是ヲ玉ニ瑕トハ謂ナリ。故ニ學者ハ。心中ノ玉ヲ磨テ。一點ノ瑾ナカランコトヲ欲スルナリ。禮記聘義ニ曰。昔者君子比德於玉焉トイヘリ。又左太沖云。玉危無常。雖宝非態。後許無驗。雖麗非經矣

二十五 玉不琢無光 學記ニ曰。玉不琢不成器。人不學不知道。○本朝文粹巻九。論文中。古人有言。瓊山之璞雖美。不琢不成其宝。顏閔之才雖茂。非學非弘其量。シカレハ。人不學トキハ。其性ヲ全スルコト不能者也。朱文公曰。欲雖爲人。而實無以異於禽獸

二十六 譏嫌トハ ソシリキラフト讀。○楞嚴九ニ曰。許露人事。不避譏嫌。又涅槃經曰。具足智慧。須見譏嫌。又弥陀ノ遠離不善ノ願ヲ。懺興ハ離譏嫌ノ願トイフ。シカレハ。

人ノ譏嫌ヲ知トハ。人ノソシリキラフベキコトハ。言モシ為モセ。又ガヨキナリ。齊王ハ。竽トイフ吹モノヲ好メルニ。南郭先生トイフモノ瑟ヲ鼓テ。齊ノ門ニ客コレ機嫌不知イフモノナリ。又機嫌ト書モ經釋ニ出タル字ナリトゾ。機ハ發也。嫌ハ嫌疑也ト云云。機者動ノ已ニハナタントスルナリ。嫌疑トハ。ウタガハシク。分明ナラザルナリ。ムカヘル人ノ喜ブ氣色怒レルキザシヲミテ。ソレト大方シルヲ。機嫌ヲシルトイフトイヘリ。常ニ機嫌ノ字ヲ用ルナリ。又○安堵スルトイフハ。文選ニ。百姓安堵。四民不反業○呂延濟云。堵ハ墻也。安墻堵。不失家業ト云云。コレカレバ、人ノ家ニ墻ヲシマハシテ。牛馬盗賊モ。乱不入ヤウニシタルハ。安堵ナリ。壒嚢抄モコノ心ナリ。又史記ノ高祖本紀曰。諸吏人。皆案堵如故註。應劭云。案。次第。堵。牆堵也トイヘリ

（七十）主ヲ亭主ト云ハ

首楞嚴曰。譬如有客寄宿旅亭。暫止便去。終不常住。而掌亭人。都無所去。名為亭主。コレ亭主ノ本說ナリ。北ノ方トハ。無住禪師ノイハク。男ハ陽。女ハ陰。男ハ本鳥ヲ上へ取アゲ。女ハ髪ヲ下へタレ下ス。コレ陰陽ノ形ナリ。南ハ陽。北ハ陰ナリ。コノユへニ女ヲ北ノ方トハイフナリ。○冠者トハ。少年ナラズ。ヨキホドノ者ヲイフナリ。小冠者原杯イフナリ。上下ニヨラズ。元服シテ。俗躰ノ定マリタルホドノ。若人ヲ冠者トイフベシ。然源氏ノ君ナドモ。元服ノ後。冠者ノ君トイヘリ。曲禮ニ十ヲ曰弱冠イヘリ

二十八 譬古トハツ子ニハ物ヲ學習ヲイフナリ。文字ノコトルコトナリ。○文ハ選東都賦ニ曰。憲章譬古。註ニ向ヒ曰。憲法ノ也。言法ニ其ノ譬ノ章ノ考ニ其ノ古ノ事ヲ云ヘル○按ニ露ハ露ノ字ロウト引テヨムベシ。披ハ露ト讀ム文ニヲ取リ火テ。人ニ悲スルトキニ。云フ詞ナリ。然ドモアヤマリツケテ。ロ上ニテ物ヲ云ヘルヲ云ヘルナリ○沙ノ二字イフナリ○沙汰ノ二字ツグモ。披露トハ。杜子美。上韋左相ニ詩。沙汰江河濁。集註ニ曰。沙汰ハ。理非分明ニ辨ルコト。沙ヲ汰テ細ナルヲ去。大ナルヲ去ルヲ云ヘルナリ。無沙汰ナリ。沙汰ハ。理非分明ニ辨ルコト。沙ヲ汰テ細ナルヲ去。大ナルヲ去ルヲ云ヘルナリ。無沙汰ナリ

二十九 一切ノ語ハ佛ノ教ニ多ク出タリ。今ノ名義集ノ一說ニ。一名ニ。其性廣博名ニ切ト之語又曰。寃竟非レイヘリ。史記。請一一切ニ例。言盡逐之也。說ク切ト逐レ客。索隱曰。一一切ハ猶一一ト。無不斷者又師古曰。一一切ハ者權宜之事。如ク以レ刀切レ物。苟取ニ整齊。不レ顧ニ長短縱橫也。又一一切ノ詞ヲ。且ト云ヘル心ニ用ルコト常ナリ。一一切ヲ和訓ニツヤ〳〵トハ。前漢書曰。云ヘル云。師古讀セタリ。○云ヘル云。猶言如レ此也。史記。欲ニ云〻ト云ヘル選ノ銑注ニ。云ヘル云ハ。謂辭多ク略而不レ能レ載也。又說文ニ云。像ニ雲氣在レ天回轉之形ニ言之在レ口。如ニ雲潤ノ物。廣雅ニ云。云ハ者有也。下文ニ尚ホ慤ニ如レ雲之言。弘決ニ未レ盡之餘トアリ。文ノ句ニハ言下ニ殊レ說者。尚ホ多ク如ノ雲。云ヘル雲ノ字ノ意ナリトイフ義也又云〻ト云ヘルヲ。レカ〳〵ト讀ナリ日本紀河海抄ニ。云ヘル云ハ。色〻ノ義ナリ

三十 旁若無人ノ字 史記ニ出タリ。刺客列傳曰。旁若無人者也○三更○五更○泉郎○十六聲吾者皆悉宮道叙爲 万葉 ○逶逃○說○非常○僧○禁○汙濡 雨ナリ ○最媚○葬○極刑○妙絶○形勢○不利○羨○天陰○兩段○菟道 内ナリ ○沐浴○齋戒 日本紀 ○外見○何不別○響 八雲抄 ○喞々 秋壱 賦 コレヲ聖一國師ノ点ニ。カゴトガマシ ○昌被○紛○幽邃○惝怳 楚辞 ○業々○噲噲 易經 ○安定○一寂○點頭○支○時世○時勢○諸 文集 ○片方 万葉 ○便入○墓無○扶行 白氏文集 ○籟聲 風 ○彷徉○蓬 莊子 ○六六魚鯉 事文類集 ○蓬累而行○阿衡○以往○張目○輕○厭常○慢易○何速也 史記 ○眉山蘓氏云忍事腹如囊 禮記 内則云履著綦○班 [illegible] 書經 ○破瓜 說苑 ○面影○俯○伏俯○漫○密○溼○嫂婷○難推辞○行跡○一向○向來○口子○新○驚新○參○無用○一邊○平生 遊仙窟 ○眴 動目而使入也 史記 ○莞爾 楚辞 ○微哂 鶴林玉露 ○破顔 佛典 ○勦說 他人ノ說ヲトリテ已ガ說トスル事也 ○雷同 人ノ言トサレマジヘテイフコトナリ 典礼

三十一 人ヲ誑惑スルモノヲ。馬鹿者ト云 史記秦始皇本紀。二世皇帝三年八月己亥。趙高欲爲乱。恐群臣不聽。乃先設驗。持鹿獻於二世曰。馬也。二世笑曰。丞相誤邪。謂鹿爲馬。問左右。左右或默或言馬。以阿順趙高。或言鹿者。高因陰中諸言鹿者以法。後群臣皆畏高。コレヨリ本キテ人ヲ誑惑スル躰ノ者ヲ。馬鹿トハ謂傳タリ○拾遺集ノ謌ニ。鹿ヲサシテ。馬トイフ人。アリケレバ。カモヲモヲシト。ヲ

モフナリケリ。返ナシトイヘバ。ヲシモカモトヤ。オモフラン。鹿ヤ馬トゾ。イフベカリケル。コノ歌ハ車ノカモトイフ物ヲ。カリニツカハシタル時讀ルヨシ。詞書ニ見タリ。潘岳西征賦云。野蒲變而成脯。苑鹿化以爲馬。コノ賦ニ。苑鹿爲馬。史記ノコヽロナリ。野蒲變成脯。カノ趙高。人ノ順ガフカ。順フマジキカヲ。引ミントテ。蒲ヲ束テ脯ナリトテ。二世ニ奉ツル。群臣ノ中ニ。蒲ナリトイフ者モアリ。阿リテ。脯ニテ候ト申ス者モ。アリトゾ。コレハ史記ニハ不載。風俗通ニ出タリトイヘリ

三十二

無恙 事物紀原曰。演義曰。時人以無憂疾。謂之無恙。又神異經曰。北方有獸曰猻。猻恙也。常近人村落。入人屋室。人皆患之。黄帝殺之。由是此方人。方得無憂疾。謂之無恙。此其始也。廣韻ニハ猻ト恙トハ別ナリ。猻ハ獅子ニ似タル獸ナリ。恙ハ憂也病也。噬蟲善食人心ナリ。神異經ニ。猻恙ヲ合メ。一ニスルハ誤レリ。史記刺客列傳曰。爲老母幸無恙。妾未嫁。索隱曰。爾雅云。恙憂也。楚詞云。還及吾君之無恙。風俗通云。恙病也。易傳云。上古之時。草居露宿。恙齧蟲也。善食人心。俗悉患之。故相勞云無恙。恙非病イヘリ。戰國策。歳無恙耶。王亦無恙耶。道春ノ云。無恙ノ字ハ。戰國策ヨリ出タリト。右恙ハ獸トイヒ。疾トイヒ。患トイヒ。憂トイフ。中ニ書問ニ無恙トイフハ。憂ノ訓ト心得ベシ

三十三

穴賢 書札ノ末ニ。アナカシコト書ハ。恐惶ナドヽ同事ニテ。アラオソロシト。恐ツヽシム心ナリトゾ又假名文ニ。カシクト書モ。アナカシコヲ。アナカシクト声ノ

轉ズルナリトイヘリ。又云此事アナカシコ人ニ語ルナ。ナンドイフハ。アナカマヘテ〳〵。惶ヨト。日ヲカタメタル心ナリ。下學集云。穴賢ハ上古時。和漢兩國未知家。人居土窠。恙虫螫人。故本朝書札末日。穴賢。言土窠之穴。賢閉塞。可防恙虫。コレハ穿鑿ノ義ニ侶タリ。彼集ニ。タカバカリヲ。鷹ノコトノ故ニテ。一尺ヲイフトイヘリ。和名ニ竹量ト書テ。竹ノ物サシナリ。箇様ノ類多シ。可辨者歟。或抄ニ見タリ

四十

天知地知　コレハ已バカリ。密ニ爲ト思コトモ。天地ノ知コトゾ。アナカマヘテ。惡事ヲ巧ナトイフコトナリ。後漢ノ楊震トイフ者。東萊ノ大守タル時。昌邑ノ令。王密トイフモノ。夜ニ入テ。黄金十斤ヲ呂テ。楊震ニ遺。震コレヲ不受。王密ガ云。夜ナレハ知者ナシ。納タマヘトイフ。震曰。天知神知子知我知。何謂無知。密愧而出トイヘリ。後漢書列傳。排韻氏族大全ニハ。天知地知トアリ。日記故事ニハ。揚震却金。蒙求ニハ。震畏四知

五十

十分ハ覆ルヽ　尤故アル諺ナリ。孔子魯ノ桓公ノ廟ヲ觀タマフニ。有敬器。孔子コレヲ。守廟者ニ問タマヘバ。コレハ侑坐ノ器ナリ。孔子曰。吾聞宥坐ノ器ハ。虚ナルトキハ欹。中ナルトキハ正。滿トキハ覆ナリ。明君以誡トス。故ニ常ニ坐ノ側ニ置。顧謂弟子曰。試ニ水ヲ注。スナハチ水ヲ入レバ。中分ナレバ正ク。十分ナレバ覆。夫子喟然トメ嘆曰。嗚呼。夫物悪有滿。而不覆哉。家語三恕篇文子曰。三皇五帝。有勸戒之

器。名侑危。今世ニ十分杯トイフ危ハ。コノ類ナリ。滿ヲ恐事。易乾卦ニ。上九亢龍有悔。象曰。亢龍有悔。盈不可久也。又周易天道虧盈。又曰。日中則昃。月盈則蝕。老子經曰。不上其高。史記曰。物至則反。冬夏是也。致至則危。又曰。物禁太盛。又物極則衰。尚書曰。滿招損。釋名云。月欽也。滿則欽トイヘリ。謌ニ。ヲモヘタヾ。ミツレバヤガテ。カク月ノ。イザヨフ空ヤ人ノ世ノ中

三十六

人間萬事塞翁之馬

コレハ。總テ人間世ノ事ハ。善惡禍福。マコトニ不可極トイフ諺ナリ。塞上ニ翁アリ。馬故ナクシテ。亡テ胡トイフ所ヘ行タリ。人皆コレヲ弔フ。翁ガ曰。コレ何遽不爲福乎。ホト經テ後カノ馬善馬ヲ引連テ歸。人不是ヲ祝。翁ガ曰。何遽不能爲禍乎。翁家良馬ニ富。其子騎コトヲ好テ。馬ヨリ墮テ。髀ヲ打折。人皆是ヲ弔。翁ガ曰。コレ何ニハカニ。不爲福乎。居一年バカリ。胡ノ人大ニ塞ヲ責健ナルモノハ。皆戰ニ出テ。近塞之人。死スル者。十ノ中ニ九ナリ。翁ガ子ハ。跛タルヲ以テ不戰シテ。父子相保。故福之爲禍。禍之爲福。化不可極。深不可側也。淮南子人門訓老子所謂禍兮福所倚。福兮禍所伏。塞翁ガ馬ノ事ヲ。謌ニ。コヽロヲバ。北ノ翁ニ。ナラヘドモ。マタタチカヘル。コマダニモナシ。塞ハ北ノ方ナレバ。北ノ翁トヨムナリ

三十七

千日ノ勤學ヨリ。一日ノ名匠

コレハ千日獨學ヨリモ。一日師匠ヲ求テ。教ヲ受ヨトナリ。揚子法言曰。務學。不如務求師。師者人之模範也ト

イヘリ。摸範トハ。法式掟ナリ。手本トイフコヽロナリ。又桓譚新論曰。三歳學不如三歳擇師矣

三十八

旃檀ハ二葉ヨリ香

今ノ俗苦楝ヲセンタントイフ非也。牛頭旃檀トイフ。目出タキ香木アリ。木艸曰。此木有西域諸國。不生中華イハンヤ本朝ニアランヤ○大智度論ニハ。旃檀ハ摩黎山ニ出ト。華嚴經ニ旃檀一銖ヲ燒バ。小千世界ニ薫ズトモ說リ。觀佛三昧經ノ意ニ云ク。伊蘭林トテ。臭木アリ。其華菓ヲ噉バ。狂ジテ死ス。此木方四十由旬ナランニ。カノ牛頭旃檀生出ト。其香發シテ。伊蘭林ノ臭ヲ變改シテ。普皆香美トスト說リ。今ニ葉トイフハ。始テ生ズルノ形ナリ。サテ此譬ハ。豪傑ノ者ハ。幼雅トキヨリ。其志氣ノ美アラハルヽコト。旃檀ノ二葉ヨリ香シキガゴトクトナリ。唐ノ白樂天ハ。生テ七月ニシテ。能展書指之無二字。雖百試不差。又宋ノ陸九淵ハ。三歳ノ時。問其父曰。天地有何所窮際。父笑而不能答。遂深思至忘寢食イヘリ。此等之人。古今典籍所載。不遑枚擧也

三十九

若木ノ下デ笠ヲヌゲ

コノ諺ハ。今ハ弱木ナレドモ。後ニハ何計ノ大木ニカナラント。笠ヲトリテ。礼ヲナセトイフ義ナリ。若木トハ。若年ノ人ヲ喩ルナリ。コレモ後ニハ如何學者ニヤナラン。學者ニナラバ。高位高官ニモナルベキゾト。輕メザル意ナリ。論語曰。後生可畏也。焉知來者之不如今。又文選曰。後生可畏

來者難誣。コロ謗ニ叶ヘル歟

四十 逃テ通セ酒ニ醉 俗語ノコヽロハ。酒ニ醉タル者ハ。無礼ヲシ。善カラヌコトアリトモ。トガメズシテ。免テ通セトナリ。君仁政ヲナシタマフニハ。醉人ヲ不罪トイフコトアリ。尚書ニモ。湎于酒勿庸殺。コレモ酒ニ醉テ。正念ナキ時ハ。法ヲ犯非義アリトモ。死罪ニハ行ベカラズトイヘリ。丙吉為丞相。御史醉。歐其車。吉不責也。コレモ丙吉ガ車ヲアツカフ御吏車ノ上ニ歐吐ドモ。醉テスルコトナレバトテ不責トイヘリ。公ノ法ヲ犯者サヘ。免ル例アルニ。下々ノ者。醉人ニ對シテ。物トガメスル事。不可有逃テ通セトナリ。又醉人ニハ。逃レテ出合ガヨシ共

四十一 上戸下戸 下學集曰。上戸下戸。就酒日本ノ俗。所言世話也トイヘリ。白氏文集曰。猶嫌小戸長先醉。註以飲酒多者為大戸。小者為小戸。又江次第曰。正月三朝定御藥後取。並用高戸者。シカレバ上戸ヲバ大戸トモ。高戸トモ。イフナルベシ

四十二 豬武者 コノ世話ハ。進コトヲ知テ。退コトヲ。不知者ヲ。兵ナラ子ド。皆豬武者トハ云。昔梶原平三景時。判官義經ヲ以テ豬武者トイヘリ。コレヨリ義經。怨ヲ梶原ニ結ト見ヘタリ。前漢書食貨志曰。匈奴侵寇甚。莽大募天下囚徒人奴。名曰豬突豨勇。コノ豬突豨勇ハ。和俗ノ豬武者ノ意歟。異域同譚ナリ

四十三 大福長者 神相全編云。手爪如甑瓦。必作大富長者。コノ心ハ。手爪甑ノゴト

クナル生得ハ。必ズ長者ニナルトイヘリ。人相ヲ見テ。壽夭ヲト。貧福ヲ定ルノ術アリ。殊ニ當世手ノ筋ヲ見テ。吉凶ヲ謂者多シ

四十四

長者富ニ不厭　長者トハ。尊貴年德アル人ヲ長者トイヘドモ。諺ノ意ハ。唯財宝ニ富ル者ヲイフナリ。天竺ニテハ須達月蓋モ。富ル人ナリ。コレモ長者トイフ名義集ニ曰。長者ハ西土之豪族也。富商大賈積財鉅万。咸称長者。サレバ。世話ノ意ハ。富者ハ。必慳貪ニシテ。財利ニ於テ。愈求テ愈不足ニ思フモノナリ。是諺ノ。長者富ニ不厭モノナリ。五雜俎云。富者多慳。非慳不能富也。錢アレドモ不用。富テモ不足スルモノハ。佛家ニコレヲ有財餓鬼トニ。儒者

テ。佛ハ少欲知足ト説。儒ニ知足知止ノ諺アリ。莊嚴論偈曰。知足第一富。又遺教經ニ云。不知足者。雖富而貪トモアリ

四十五

狂人走不狂人走　錄ナドニ出タル語ナリ。淮南子曰。狂者東走。逐者東走。東走則同。所以東走則異。○寂々州ニ。狂人ノ真似トテ。大路ヲ走バ則狂人ナリ。悪人ノ真似トテ。人ヲ殺サバ悪人ナリ

四十六

人至テ惠ケレバ友ナシ　コノ世話ハ。家語ノ意ナリ。曰。水至清則無魚。人至察則無徒。○漢書ニモ出タル語ナリ。徒ノ字ヲ從ノ字ニ作ナリ。意ハ水アマリ。清ケレバ。甚寒ズルナリ。魚ハ水ニ生ズレドモ。陰中ノ陽ナケレバ生ゼザ

ルナリ。イカニ清ガヨキトテ。清過レバ魚ガナイゾ。人モ惠明察ナルガヨキトテモ。餘智惠ダテニテ。推察スグレハ人コレヲ惡テ。友ナク從者モナキナリ。又聖人ニアラザレバ察スルホドノ事。間非ナキ事アタハズトアリ

四十七 **綸言如汗** コレハ天子ノ勅命ハ。一タビ下テ後。變改ナラヌトナリ。綸言トハ。王ノ言ナリ○禮記緇衣篇曰。子曰王言如絲。其出如綸。王言如綸。其出如綍。故大人不倡游言。編言ノ二字ハ。此篇ヨリ出ルト。如汗トハ編言下テ。再カヘラザルコト。汗ノコトシトナリ○漢書曰。號令如汗。出而不反者也。號令トハ。命令トモイフ。コレモ上ヨリ下ニ仰付ラルヽコトナリ。又政令猶汗。性而不反。コレモ同談ナリ。編言如汗連續シタル文字ハ。經傳ニ不見ドモ。其義ハ。ソナハリタリトゾ

四十八 **命ハ義ニヨリテ輕** 後漢書朱穆傳云。情爲恩使。命緣義輕。シカルニ世上血氣ノ勇者ハ。一朝ノ怒ニ。命ヲ輕ジテ。白刃ヲ蹈デ。身ヲ亡。或ハ又。羊質虎皮ノ武士ハ大義ヲ忘テ。主君ノ恩ヲ不顧。君ノタメニ死スベキ時モ。命ヲ重ジテ遁隱族アリ。コノ二ノ者ハ。命ハ義ニヨツテ。輕トイヘル。朱穆ガ言ニハ。天地懸隔ナリ

四十九 **辭多ハ品少** 品トハ。威儀ノ品節ナリ。大凡語ヲホク。急ニ輕々シク。モノイフ者ハ品節ナキモノナリ。コレ小人ノ事ナリ。サレバ易大傳云。吉人之辭寡。躁人之辭多トイヘリ。又君子九思一言ト云コトアリ

五十一 身サヘ。心ニ任ヌト。イフコトヲ 無住ノ日。萬事世間。任運アルベキ心地ノ。述懷ニ。我身ナヲ。我オモフニモ。カナハヌニ。人ヲコヽロニ。マカスベシヤハ。又ヨシサラバ。モノヲ心ニ。マカセジヨ。心ヲモノニ。ウチマカセツヽ

五十一 重荷ニ小付 後撰和歌集ニ云。今上梅壺ニヲハシマシヽトキ。薪コラセテ。タテマツリケル歌。山人ノ。コレルタキギハ。君ガタメ。オホクノトシヲ。ツマントゾオモフ。御返歌トシノカズ。ツマントスナル。オモニヽハ。イトヾコツケヲ。コリモ。ソヘナン

五十一 一樹ノ景一河ノ流モ他生ノ縁 コノ心ハ。樹ト河トニ。縁アリトイフニハ非ズ。一本ノ木ノ景ニ。二人雨ヤドリスルモ。熱サヲ凌モ。生々ノ縁ナリ。一河ノ流ヲ。二人汲合モ。世々ノ縁ゾトナリ

五十二 履新トイヘドモ冠トセズ コレハ貴賤上下。差別ヲシテ。位ヲ亂ベカラズトイフ喩ナリ。○前漢儒林傳云。黄生云。冠雖敝必加於首。履雖新必貫於足。師古註云。語見太公六韜。又說苑奉使篇云。冠雖敝宜加其上。履雖新宜居其下。諺コレ等ヨリ本モノ歌

五十四 日暮道遠 白屋易傳曰。日暮道遠。吾生已蹉跎。蹉跎トハ。時ヲ失フコヽロナリ。行ツマリタルトイフ心モアリ。コレハ。年ヨリタル人。又病アル人ナドノ。菩提ノ

道ニ志シナキハ。其ノ時ヲウレヘナルモノナレバ。萬ノ事ヲ放下レテ。一ト大ノ事ヲ勤ヨトナリ。世ノ話ニ日ク。暮テ道イソグ。コレモ。ユキツヽリテカラ。俄ニハカルノ喩ナリ。古

五十五 **世短意多** 古ノ詩ノ云ク。人生不レ滿レ百。常懷二千ノ歲ノ憂。而ノ淵明以二五ノ字一盡レ之ヲ曰ク。世ノ短意ノ常ニ多レ是レ也。東ノ坡ノ云ク。意ノ長ク日月促鶴林玉露

五十六 **鷄口牛後** 史ノ記ノ蘇秦列ノ傳ニ云ク。鄙諺ニ云ク。寧ロ爲二鷄ノ口一。不レ爲二牛ノ後一。索隱ニ云ク。戰國策ニ云ク。寧ロ爲二鷄ノ口一。不レ爲二牛ノ後一。從ノ延ノ篤註ノ云ク。尸雞ノ中ノ主ノ也。從ノ謂ニ牛ノ子一也。言寧爲二雞ノ中ノ之主一。不レ爲二牛ノ子ノ之從ノ後ノ也。正ノ義ニ曰ク。雞ノ口ノ雖レ小。猶ホ進レ食ス。牛ノ後ノ雖レ大。乃出レ糞ス也。代酔編ニ六二モ出ス。

五十七 **怨ハ恩テ報ゼヨ** 老子經ニ云ク。報レ怨ニ以レ德ヲ。讀ム二コレヲ本ケリ。鶴林玉露ニ云ク。以レ德ヲ報レ怨ヲ。何ノ如ト。子ノ曰ク。何ヲ以テカ報ン德ニ。以レ直ヲ報レ怨ヲ。以レ德ヲ報レ德ニ。佛ノ經ニ載ス。釋迦佛在二山ノ中一修二行ノ歌利ノ王一。入レテ山ニ獵レ獸ヲ。問フ。佛ニ獸何ノ在ト。佛不レ忍レ傷レ生ヲ。不レ應ヘ。歌利ノ王怒テ截二落ス佛ノ左ノ手一。又問フ。不レ應ヘ。又截二落ス右ノ手一。佛是ノ時即發二願ヲ一曰ク。我若シ成レ佛ヲ。即チ先度レ之ヲ。十一大ノ弟子ノ中。陳ノ憍如ノ尊者是レ也。法苑珠林九十九ニ載ス。ト二コロノ。新婆沙論ノ說ナリ。斬ル二作ル陳ノ憍如ノ因一位ヲ。忍ノ辱仙人ノ一ヲ覽ニ三忍ノ辱品ニ出タリ。コレ諺ノ。怨ハ恩テ報ズルノ意ナルベシ

五十八 **騏驎モ老ヌレバ。駑馬ニ劣** 騏驎トハ。一日ニ千里ユクトコロノ善馬ナリ。聖代ニ出ル。麒麟ニハ非ズ。駑馬トハ下乗ナリ。俗ニ謂小荷駄馬トイフ類ナリ。サレハ諺ノ意ハ。若時ハ精力モ壯ニ。智恵才學アリト見ル人モ。老ニイタリテ。智恵モ劣。精力モ耗テ。用ニタチガタキヲ喩コトバナリ。戰國策曰。騏驎之衰也。駁馬先之。又史記列傳。騏驥盛壯之時。一日而馳千里。至其衰老也。駑馬先之。コレ世話ノ本據トコロナリ

五十九 **青ハ藍ヨリ出テ藍ヨリ青** 意ハ。青色ハ藍ヨリ出レトモ。藍ヨリモスグレテ青。學問油断ナク勤ムレハ。才本性ニスギ。弟子モ師匠ニ。六サルベシ。荀子勸學篇云。君子曰。學不可以止。青出之藍。而青於藍。氷水為之。而寒於水。註喩學則才過其本性。又史記三王世家云。傳云青采出於藍。而質青於藍者。教使然也コノ意ヲ以テ。西行ノ歌ニ。ウグヒスノ。古巣ヨリタツ。子規。アイヨリモコキ。コエノイロカナ。コレハ鸎ノ巣ヨリ郭公ノ生ルトイフコトナリ

六十 **婦ガ姑ニ成ハ程ナシ** コノ世話ハ。日月ノ流行速ニシテ。老年ニ至ルコトノ。程ナキ喩ナリ。學範古詩云。人命百年能幾何。後来新婦今為婆。諺ヨク叶ヘリ

六十一 **比翼連理ノ契トハ** 白氏長慶集。長恨歌云。在天願作比翼鳥。在地

願ハ爲ニ連理ノ枝ト一是ハ玄宗皇帝楊貴妃ト天寶十一年七月七日。牛女ノ事ニ感シテ。夫婦ノ誓ヲ爲タマフコトバナリ。比翼ト云ハ。羽ヲ比ベテ飛鳥ナリ。山海經云。崇吾之山ニ有レ鳥焉。其狀如レ鳧。而一翼一目。相得乃飛。名曰二蠻蠻一。郭璞傳云。比翼鳥也。色青赤不レ比不レ能レ飛。又爾雅ニ云。南方有ニ比翼鳥一焉。不レ比不レ飛。其名謂之鶼鶼。連理ノ枝ハ。二木連レ枝ナリ。古人ハ。コレヲ吉瑞トスルナリ。漢ノ蔡邕。宋ノ徐積。三ナ孝德ヲ以テ。連理ノ異アリト。史傳ニコレヲ稱セリ歌ニハ。比翼ヲ羽ヲナラブル鳥トヨミ。連理ヲバカハセル枝トヨムナリ。何モ夫妻ノ契ノ。淺カラヌヲイフナリ。大鏡ニ曰。村上天皇。宣耀殿ノ女御ニタテノ世。レンテノ後ノ。後ノ世モ。ヲナラブルトリトナリナンド云ヘルハ。ミナ御ノ御歌ニ。アキニナス。コトノハダニモ。カハラズハ。我モカハセル。枝トナリナン毛詩序疏ニ曰。女有ニ美一

卒 色トイヘハ。女ノ事ニナルナリ

色。男子悅レ之。故經文通女曰レ色。佛祖三經ニ曰。色ノ之爲レ欲其大無レ外

卒 木ヲ刻テ。人ノ手ノ如シテ。背ノ痒ヲ搔モノアリ。コレヲ。マゴノ手ト云

實ニ麻姑ノ手ナリ。方平ト云ハ。仙人ナリ。其手似レ鳥。麻姑ガ背ヲ搔ベシト。仙人ニ謂ヤ。列仙傳ノ汝其三ニ見タリ。今ノ麻姑ノ手ノ本ヲクトコロ

者ノ妹ニ麻姑トイフ仙人アリ。其手似レ鳥。麻姑ガ背ヲ搔ベシト。仙人ニ謂ヤ。列仙傳ノ汝其三ニ見タリ。今ノ麻姑ノ手ノ本ヲクトコロ

ナリ。麻姑ノ手ヲ。名爪杖。又曰搔杖。○濟北集痒和子ノ詩ニ云ク。匪雕匪刻轉風流。髣髴麻姑指爪頭一抓諸方痒處盡。虛空背上有瘡不

四十

鉄鎚ヲ玄翁ト名ルハ

昔玄翁禪師トテ。聰惠絶倫ノ名僧アリ。于時下野國。那須ノ野ニ石アリ。物アツテコノ石ニ憑リ。人畜禽獸。コノ石ニ觸者。近モノ皆死ズトイフコトナシ。飛鳥モ。石上ニ及トキハ。忽ニ墮テ死ス。其毒靈如此。時ノ人名テ曰殺生石。其時カノ玄翁禪師。杖ヲ以テ。敲石三下曰。汝元来石頭。性從何来。靈從何起。又敲三下。石震動流汗。泐然解散。毒靈自此熸焉。日本之石匠。以玄翁名鐵鎚者。權輿於此。玄光ノ玄翁ノ傳ノ意ナリ。傳テ云。殺生石ノ毒靈ハ。人王七十六代。近衛院ノ官女。玉藻前ガ怨靈ナリト。又謡ニハ鳥羽院トアリ。出生出世タシカナラヌ者トミヘタリ。本朝神社考ニ玉藻前ガ事ヲ載タリ。往テ可見

五十

庖丁ノ名ハ

莊子養生主篇ニ出タリ。庖丁ト云者。文惠君ガタメニ解牛。手之所觸。肩之所倚。足之所履。膝之所踦。砉然嚮然。奏刀騞然。莫不中音。合於桑林之舞。乃中經首之會。文惠君ガ曰ク。譆善哉。技ハ蓋到此乎。コレ庖丁トイフ者ノ。刀ヲ以テ。牛ヲ割解事ニ妙ヲヱタル叓ナリ。是ヨリ本テ。今モ肉ヲ割刀ヲ。庖丁トハヨブナリ

漢語大和故事卷之四終

漢語大和故事卷之五目録

一 紙鳶（イカノボリ）
二 木綿（キワタ）并布子（ヌノコ）
三 西瓜（スイクワ）
四 佗波古（タバコ）
五 聖人（セイジン）ニ夢（ユメ）ナシ
六 夢（ユメ）ノ事
七 夢（ユメ）ヲ占（ウラナフ）附（タリシカ）鹿ノ夢（ユメ）合（アハセ）トイフ事
八 邯鄲（カンタン）ノ枕（マクラ）
九 遊仙（ユウセン）ノ枕（マクラ）
十 耳垂珠（ミヽタブ）
十一 苦手（ニガテ）
十二 石臼藝（イシウスゲイ）
十三 凳馬（クラカケムヽ）

十四 藝ハ身ヲ祐
十五 十遍讀ヨリ一遍寫
十六 七タビ尋テ人ヲ疑
十七 坊主ガ憎ケレバ袈裟マデ憎シ
十八 頭剃ラシヨリ心剃レ
十九 鯨ノ頭モ信ニカラ
二十 形ハ生ドモ心ヲ不生
二十一 綿ニ鍼ヲ裹
二十二 痛ナキ腹サグラレナ
二十三 強木ハムズ折
二十四 猿モ木カラ落ル
二十五 岩ニ花
二十六 優曇華
二十七 蛇ニ足ナレ魚ニ耳ナレ 附蛇ニ足アル事并ニ聾ノ字ノ義
二十八 丁子頭
二十九 雨ヲト妛
三十 相火ヲ不食 并ニ火ノ物断
三十一 門火ノ事
三十二 就木ノ事
三十三 貧ハ病ヨリ苦シ
三十四 富デハ驕リ貧ナレバ諂フ
三十五 ヲチブレルト云字
三十六 鷹ハ死ヌレド穂ヲツヽズ

三十七 黒犬ニ嚙レテ灰ノ和滓ニ怯
三十八 琥珀塵ヲ吸汚ヲ不吸
三十九 蓼食蟲
四十 鰻魚モ一期鰕魚モ一期
四十一 問ハ一且ノ耻問又ハ一期ノ耻
四十二 人ハ名ヲ惜虎ハ毛ヲ惜ム
四十三 時ニ遇ハ鼠モ虎トナル
四十四 網無フテ困ナ望ソ
四十五 今ノ糸二十日
四十六 愛子ニ旅サセヨ
四十七 燈滅トテ光ヲ増
四十八 水ニ畫
四十九 一葉落テ天下ノ秋
五十 一紙半錢
五十一 山礪河帯
五十二 株ヲ守ル
五十三 舷ヲ刻ム
五十四 柱ニ膠ス
五十五 目渡鳥 附日月鼠
五十六 羊ノ歩ミ
五十七 隙ノ駒
五十八 鷄時ヲ鳴事
五十九 鴈ノ使并風ノ使ノ事

六十 犬ノ使ノ事
六十二 猫ノ鼠ヲ捕事
六十四 圍碁ハ兵法ノ如シ
六十二 馬ニ道一、カスル事
六十三 獅子身中ノ虫
六十五 弓ヲ袋ニ納ム

漢語大和故事卷之五目録 畢

漢語大和故事卷之五

一 紙鳶

今ノ世兒童ノ專モテアソブモノナリ。事物紀原曰。俗謂之風箏。古今相傳云。是韓信所作。漢ノ高祖陳豨ヲ責ルトキニ。韓信紙鳶ヲ作テ。道ノ遠近ヲ量トイヘリ。又梁ノ太清中ニ羊侃ト云者。小兒ニ教テ紙鳶ヲ作シメテ。コレニ詔ヲ。ツケテ。風ニマカセテ放之。軍中ニ通ゼントスト。コレ等ミナ軍ノ時ニ用タリ。紙鴟。風鳶イカノボリノ異名ナリ。其有聲者爲風箏。

二 木綿

本字木棉ナリ。字彙ノ棉ノ字ノ下ニ棉音眠。木棉ハ樹名。有花如綿。作布。琅邪代醉四十。木棉ノ事載テ曰。續博物志曰。聞閩中多木棉。植之數千株。採其花紡爲

布。名ニ吉貝。又。轂耕録ニ云。閩廣多種。木綿。紡績ノ為レ布。名ニ吉貝。サレバ。コノ木綿。本朝ニ傳ルコトハ。永禄天正ノ間ナリ。日本ニアル事。僅ニ百餘年ナリトイヘリ。上古ヨリ。永禄ノ比マデハ。下民ノ衣服ハ。麻葛ノ類ノミナリ。故ニ賤者ノ服ヲ。布子ト云ハ。上代ノ麻布ノ遺語ナリトイヘリ

三 西瓜

酉陽雜俎四十二云。五代史。契丹破ニ回紇一統。因得ニ此瓜一。始入ニ中國一。故本草不レ載。水東日記。又曰。西瓜自ニ元太祖征ニ西域一始得ニ其種一。今ノ俗莨菪ヲ謂ニ西瓜一。而味甘。形如ニ鉛餘録一。擾外説ヲ數多載タリ。可レ見。近世コノ物ヲ賞ズルコト。諸瓜ニ勝レリ。故ニ其端ヲ記スルモノ。西瓜ノ名日本ヘハ寛永三年中ニ來ルヨシ和漢事始ニ記セリ

四 佗波古

或云。羅山子ノ曰。佗波古。希菟爰。皆番語也。曆代ノ本州ニ。此草ヲ不レ載。故ニ其能毒名義不レ詳也。羅山子以爲。コノ物竹ノ筒ヲリテ。烟ヲ吸ノ故ニ莨菪ノ流トス。烟ヲ吸ノ故ニ莨菪ノ名アリ。相伝タルヲ本草綱目ニ考テ可レ辨。今ノ俗莨菪ヲ以テ。此州トス。實ハ非ナリ。コレヲ言レ之。其以テ非也トイヘリ。明ノ人ハ佗波古ヲ烟草トイヒ。希菟爰ヲ吹烟ノ草。古ヘハ。我國ニアルコトヲ聞ズ。慶長年中ニ。南蠻ヨリ始テ種ヲ傳トイフ。元和元年六月廿八日ニ將軍家ヨリ天下ニ命ヲ下シテ吸フコトヲ禁ス

五 聖人ニ無夢

准南子ノ曰。夫聖人用レ心。依レ神。相レ扶而得レ終レ始。是故其寐不レ夢。其覺不レ憂。其動不レ疚。其靜不レ懾。此皆是妄動トモイヘリ。先儒ノ曰。事有ニ兆朕一。入レ夢者却無レ害。捨レ此皆是妄動トモイヘリ。孔

子周公且ヲ夢。高宗傳說トイフ。賢人ヲ夢事ハ。大躰ノ人信ジガタキ所ナリ。サレドモ實理ナリ。千聖一心ハジメヨリ隔ナシ。心ニ聖賢ヲシタフコト。實ニ徹スレバ。古人モ自然ニ夢中ニ現ズ。譬バ万頃ノ清水ニ。遠山ノ影ヲ見ルガゴトシ。遠山不来。澄潭不去。二ノモノ覿面ニ相アフ。是又ウタガハレズ。續無名抄ノ意。夫子周公ヲ夢ノ事。論語述而篇大全ニ。諸儒ノ說ヲ擧タリ可見。シカレバ聖人ニ無夢トハ。夜之夢。猶晝之思也。聖人ハ晝邪思ナケレバ。夜又邪夢ナシ。其邪夢ナキヲ無夢トハ云ナリ。○莊子云。真人無夢○大惠語錄ニ聖人無夢コノ無ノ一字ハ。有無ノ無ニアラズ。世ミナ始ヨリ終。朝ヨリ夕。晝ノウチ夜ノ間。何事カ夢ニアラズヤト觀ジタルウヘ。別ニ夢トイフベキ夢ナシト。悟得タルトコロ也トイヘリ。又文句云夢者從須陀洹。至支佛。悉有夢。唯佛不夢。无疑无習氣故ナリ

六

夢ハ

呂東萊左傳博議曰。形神接而夢者。世謂之想○華嚴大疏云。夢是神遊亦見聞之氣分也。又大論云。五夢一熱氣多故夢火。二冷氣多夢水。三風氣多飛空。四見聞多入夢。五天神與トイヘリ。又法數云四夢一无明習氣夢。二善惡先徵夢。三四大偏增夢。四巡遊曰識夢。善見律云。四夢。四大不和夢。先見夢。天人夢。想夢。○東萊讀書記曰。一躰盈虛消息。通於天地。應於物類。故陰氣壯則夢涉大水。恐懼。陽氣壯則。夢涉大火燔炳。陰陽同壯則。夢生殺。甚飽則夢施。甚飢則夢取。是以浮虛爲病者夢揚。以沉實爲病者夢溺。藉

帶而寢則夢ル蛇。飛鳥ノ御髮則夢飛トイヘリ。文一句ニ云。從ニ五事一故有レ夢。以ニ疑心一分ニ別。覺習。因現事。非ニ人來相語。因ニ此五事一夢トイヘリ。竹書紀年ノ註ニ載。堯有ニ聖德一。封於唐。夢ニ攀レ天而上。舜耕於歷。夢ニ眉長與レ髮等。遂登庸。代酔十四字錄其ノ爲ニ其ノ腹一上。謂レ人曰。松字十八一公云。丁一固夢ニ松生ニ其也。后十一八一歲吾一其公乎。卒如レ夢焉。衆求

七 夢ヲ占事

周一禮春官ニ云。占ニ夢以ニ日月星一辰一占ニ六一夢之吉一凶。六一夢ハ。正一夢。噩一夢。思一夢。寤一夢。喜一夢。懼一夢。第一三思一夢ノ下ニ云。夢ハ平一時所レ思而夢。若引ニ孔子夢ニ周一公一是也。トイヘリ劉向新序ニ云諸一侯夢悪則修レ德。大一夫夢悪則修レ官。士夢悪則修レ身。如レ是則禍不レ至。○周一宣善夢ヲ占フ。魏ノ太一史問云。吾昨夜夢ニ狗ヲ見ル。コレヲ占フベニテツクリタル狗ヲ見ル。君必美食ヲ得。出テ行。果レレト。周一宣咎テ云。君ノ狗ハ祭神ノモノナガラ不レ同何也。宣答曰。狗捨ラレテ。爲ニ車一所レ折ベキナリ。サテ夠ニ中ノ夢ハ墮ニ車。脚ヲ折。後又太一史周一宣ニ問テ云。昨夜復夠ノ狗ヲミル。何也宣云。君車ヨリ墮テ脚ヲ折ト欲ス。可レ愼。果レテ車ヨリヲチテ足ヲ折。後又太一史宣ニ問テ云ク。昨夜又夠ノ狗ヲミル。何也宣曰。君ガ家失レ火アルベシ。善コレヲ護トイフ。果レテ太一史ガ家ニ火起。トキニ太一史曰。頃イフトコロ。皆夢ニアラス。聊カ皆驗アル。宜ク試ニ問ノミ。然ニ何以テカ皆驗アル。宜答テ云。此神靈動レ君使言。故ニ夢無異トイヘリ。又問曰。夠狗ヲ夢ルニ真夢異ナガラ不レ同何也。宜答曰。夠ハ祭神ノモノナリ。故ニ君ガ始ノ夢ハ。夠飲食祭祀ヲ可レ得理ナリ。祭スギヌレバ。夠狗捨ラレテ。爲ニ車一所レ折ベキナリ。サテ夠

狗スデニ轢レテ後。必ズ薪トナルベシ。故ニ後ノ夢ハ。君ガ家ニ火アラントハ。占フトイフ。本朝ニ。鹿ノ夢合トイフ事アリ。津ノ國風土記ニ云。昔一人アリテ。兎我ニ行テ野中ニヤドル。時ニ二ノ鹿有テ。片原ニ。フセル。維明ニ至リテ。牡鹿牝鹿ニ語テ云。我今夜ノ夢ニ。我背中ニ薄生タリ。忽ニ霜降テ。我身ヲオホフ。時ニ薄枯タリ。是何ノシルシナラン。牝鹿答テ云。汝ノ出行トキ。武士ノ為ニ射コロサレテ。即身ニ鹽ヲヌラルベシト。ヤドレル人聞テ心ノ内ニ是ヲアヤシム。イマダ曙ニ不及シテ。獵人イタリテ。牡鹿ヲ射テ殺ツ。時ノ人諺ニ云。鳴鹿モ夢合ノマニ〳〵。日本紀ニモ。此事記セリ。仁徳天皇三十八年秋七月晦日ノ夜ノ事ト見タリ。ソレヨリ兎我野ヲバ。夢野トモ名ヅケタリトゾ。西行ノ謌ニ。夜ヲノコス。子ザメニ聞バ哀ナリ。夢野ノ鹿モ。カクヤナクラン

邯鄲之枕

大唐開元七年。呂翁ト云モノアリ。仙術ヲ得タリ。邯鄲ノ道中ニ行テ。邸舎ニ息デ。嚢ニ隠テ坐ス。トキニ少年盧生ト云者。短褐ノ賤キヲ衣テ。青駒ニ乘。同ク此所ニ來テ。呂翁ト共ニ語ス。時ニ盧生我衣裳敝テ。アハレナル様ヲ顧ミテ。嘆テ云。大丈夫生テ世ニ不諧。困如是也。呂翁ガ云ク。其困窮ヲ數コトハ何也。盧生ガ日。吾常ニ學ニ志ス。自進。我用ラレテ。官職ニモ進ベシト。今已ニ壯ヲ過テ。猶畎畝ニ勤。困ニ非ズシテ何ゾ。言訖テ。盧生目昏シテ子ムタキコトヲ覺ユ。其時主ハ方ニ黍ヲ蒸セリ。呂翁乃嚢ノ中ヨリ。枕ヲ出シテ。盧生ニ授テ日。子此枕ヲシテ子ムラハ。萬志ノ如

ナラレメント。其枕青磁ニシテ。兩端ニ竅アリ。盧生首ヲ俛テ。コレニ就。其竅ヲ見レバ漸大ニ明ナリ。乃身ヲ擧テ。竅ノ中ニ入ト。忽吾家ニ歸。數月アリテ。清河ノ崔氏ノ女ヲ娶。女ノ容スグレテ麗。生資愈厚。明年進士ニ擧レテ登第ス。渭南ノ尉トナル。俄ニ監察御史ニ遷。起居舍人知制誥ニ轉ス。三年ニシテ。同州ヲ典トリ。陝牧ニ遷。河南道ノ採訪使ヲ領シ。徵テ京兆尹トナル。是歲神武皇帝方ニ戎狄ニ事アリ。御史中丞河南道ノ節度ニ除セラル。大キニ戎虜ヲ破テ功アリ。吏部侍郎ニ轉ジ。戸部尚書御史大夫ニ遷ル。故アリテ。端州ノ刺史ニ貶タリ。三年ニシテ徵テ常侍トナル。未幾同中書門下平章事トナル。讒言セラレテ。官ヲヤメラレテ。驩州ニ流ル。數年ニシテ帝寃ヲ知シメシテ。後進テ中書令トナル。趙國公ニ封ゼラル。コノ時ニ子五人アリ。孫十餘人アリ。盧生年八十ヲ踰テ。病テ命終ルト覺テ。欠シ伸シテ。夢覺タリ。其身ハ邸舍ニアリ。呂翁モ其傍ニ坐ス。主人黍ヲ蒸テ。未熟ノ間ナリ。盧生蹶然トシテ興テ曰。豈其夢ナランカ。呂翁ガ曰。人世之適亦如是矣。盧生憮然トシテ良久シテ謝シテ曰。夫寵辱之道。窮達之運。得喪之理。死生之情。一眠ノ中ニ皆盡コレヲ知。コレ先生吾欲ヲ窒所以ナリ。敢不受教。稽首再拜而去トイヘリ。コレヲ盧生ガ一炊ノ夢トハイフナリ。右沈既濟ガ枕中記ノ意ナリ

九

遊仙ノ枕ト云ハ

開元遺事ニ曰。龜茲國進奉。枕一枚。其色如碼碯。溫

如玉。其制作甚樸素。若枕之。十洲三嶋四海五湖。盡在夢中所見。帝因立名。爲遊仙枕。後賜與楊國忠。○遊仙枕ノ詩。一枕仙遊足自娛。蕭然情思離塵區。十洲三嶋經行處知有岷峨劍閣無

十 **耳垂珠** 神相全編云。耳厚而堅聳。而長皆壽相也。輪廓分明聰悟。垂珠朝口者主財壽。貼肉者富足。耳薄如紙。貧窮無倚イヘリ。諺ニ耳垂珠ノ厚薄ヲ見テ。貧福ヲイフ事コヽニ本ケリ

十一 **苦手** 盛樞云。瓜苦手毒。爲事善傷者。可使按積柳痺。手毒者。可使試按龜。置龜於器下。而按其上。五十日而死矣。コレ世ニイフ苦手ナリ。コノ者芋ノ莖ヲ折ニ。其味苦シ。又腰ノ痛ヲ抑テ効アリ。又蛇ヲ捕ニ蟠テ不動。俗ニ蛇ダマシト云。コレ苦手ノ者也

十二 **石臼藝** 世話ノ意ハ。藝能多ケレドモ。不精者。石臼ノ物トシテ不碾ハナケレド。其器モ不貴タトヘタリ○周易正義引蔡邕勸學篇云。碩鼠五能不成一技。注云。能飛不能上屋。能緣不能窮木。能游不能度谷。能穴不能藏身。能走不能先人。コレ世ニ石臼藝トイフ類ナリ。荀子云。鼫鼠五技。少ノ才能アレトモ。ヨクモナクテ。用ニタヽヌヲ。鼫鼠才ト云モ。本據アルコトナリ。唯技能學問ハ。精密ヲ可貴ナリ

十三 **凳馬** 凡馬ヲ乘コトヲ學者ハ。始ハ凳ニ乘テ其法ヲ習。法ヲ知ニ及テ。實ノ馬ヲ乘トキハ。其術ヲ得ナリ。若凳バカリヲ御コトヲ知テ。馬ヲ御コトヲ不知ハ。妄知也。

然ハ有知無行。猶御木馬。有行無知。猶不學而御馬。善御トイヘドモ是妄行ナリ。知行ノ二不可闕也○戰國策云。諺曰以書爲御者。不盡馬情。是與発馬。異域同譚ナル者乎

十四 **藝ハ身ヲ祐** 藝ハ禮樂射御書數ノ六也。其餘ノ諸藝千萬也。何モ一藝ニ長ジタル者ハ其身ヲ祐ル事明ナリ。退之進學解云。名一藝者無不庸トイヘリ。是世話ノ藝ハ身ヲ祐ルト云所以ナリ

十五 **十遍讀ヨリ一遍寫** 唐張參。手寫九經。毎言讀書不如寫書。高宗親灑宸翰。遍寫九經。又掌御書漢光武紀。賜執政徐俯曰。卿勸朕讀光武紀。朕思讀十遍。不如寫一遍。聖學ノ勤タルコト如此。鶴林玉露天集一出

十六 **七タビ尋テ人ヲ疑** コノ世話ノ意ハ。物ヲ失トキハ。靜ニ之ヲ尋求テ。急速ニ人ヤ盗メリト疑フコトナカレ。若邪疑ヲ以テ察スレバ。親族。奴婢。賓客。知己隣人マデ無不疑。コレ邪疑ノ弊ナリ。○列子曰。人有亡鈇者。意其鄰之子視其行歩竊鈇也。顔色竊鈇也。言語竊鈇也。作動態度。無爲而不竊鈇也。俄而扣其谷。而得其鈇。他日復見其鄰人之子。動作態度。無侶竊鈇者。コレ人ヲ疑トキハ。人ノ行歩言語マデ皆盗ト見ユ。疑晴タレバ。少モ盗ニ似タルトコロナシトナリ。七タビ尋テ疑トハ。意味アルノ世話ナリ

十七 **坊主ガ憎ケレバ袈裟マデ憎シ** 世話ノ意ハ。末俗ノ

情。偏ニ解縁ニ妄ニ至レテ。公無ク我ノ交ナク。其ノ人ノ憎ニ愛ニヨレコリテ。好ヲ悪ヲ物ニ及ス喩也。

八十 頭剃ヨリ心ヲ剃レ

坡ノ主ハ有ル情ナリ。袈裟ハ無キ情ナリ。其坊ノ主ヲ憎テ。無キ情ニ袈裟ニ及スコト。愚ナル夫愚ナル婦ノ一切ニ顚倒セル情也。○六離云。武王登ニ夏ノ墓ニ以テ臨ニ殷民ニ。周公旦ノ曰。臣聞レ之。愛ニ其ノ人ノ屋ニ上ニ烏ニ憎ニ其ノ人ノ者。憎ニ其ノ人ニ及ニ其ノ語言異ニ人ノ。旨同キ者也

九十 鰯ノ頭モ信ジカラ

コノ諺ニ倍タル事。風俗通ニ載レリ。謹按。女レ劣ルアリ。六一道講式云。適剃レ頂不レ剃レ心。染レ衣不レ染レ心。可ニ恥マシ○慈鎮ノ歌ニ。何ユヘニ。捨ケル身ゾト。折ノ〳〵ハ。姿ニハヂヨ。スミゾメノ神

南ノ鯛陽ニ有リ於田ニ得レ麝者。其ノ主未ダ往テ取ラ也。商車十一餘乗。経ニ澤中ニ行ク。其ノ不ル事ヲ持ニ一ツノ鮑ヲ絶ス。因テ持チ去ル。念ニ所ニ得レ麝。反テ見ニ鮑ノ魚ノ澤中ニ非ス人ノ道路ニ。怪ニ其ノ如レ是ノ。漁ニ置キ其ノ處ニ。有レ頃其ノ主往テ。不ス見ニ之ヲ。遂ニ従ニ此ニ壊ル。傳ニ曰ク物之所ニ聚ル斯ニ有リ神ト。言共ニ奨ス成レ之ヲ耳。右ノ意ハ鹽ヲ魚ヲ神ナリト信ヲ仰レテ。治レ病ヲ得レ福ヲ。ナリ。鰯ノ頭モ信ニカラ。信アルカナ。鰯ノ故ニアルカト云ク字。字ハ故ニアリ。本ノ文ハ未レ詳レバ德アリト書ニ不レ考。和名類聚抄ニ云。漢語抄云。鰯ハ以レ和レ之ト

三十 形ハ生メドモ心ヲ生ズ

父ノ母ノ生レ子ヲ也。固ト世話ノ意ハ。人ノ

ニ其形容相侶タリトイヘドモ。心ハ親ト
不同コト。今古往々皆然。タトヘバ堯舜ノ
大聖人ニ丹朱商均ノ愚ナル子アリ。瞽叟ノ
伯鯀ガ頑愚ニ舜禹ノ聖子アリ。嗟呼聖愚
天地懸隔ナレドモ。其子ノ
賢不肖ニ及テハ。無奈何而已

二十 綿ニ鍼ヲ裹 小人ノ交リ。外ニハ。懇厚ノ様
ヲアラハシ。内ニハ怨敵ノ心
ヲ懐ト云諺也。孟郊ガ詩ニ曰。結口頭交。肚
裏生荊棘。綿ニ針ノ世話。コノ詩ニ叶ヘリ

二十一 痛ナキ腹サグラレナ 世話ノ意ハ。鷄ノ事
ニ就テ。人ノ疑ノタ
ツヤウニ。言ナ。為ナトイフ譲ナリ。文選曰。
瓜田ニ不納履。李下ニ不正冠。コレハ瓜畠ノ中
ヘハ。足ヲ踏イレナ。又俯テ履ヲイロフナ。
瓜ヲ取カト人ヤ疑ガハン。李ノ木ノ下ニ
テ。手ヲ挙テ。冠ヲ直スナ。李ヲトルヤト
人ニ疑ハレン。是避嫌疑イフコトナリ 諺ノ

二十二 強木ハムズ折。柳ノ枝ニ雪折ハナシ 意ハ。
強直ナル者ハ。利発ニ見ユレドモ性ヲ煎
テ夭レ。柔弱ナル者ハ愚鈍ニ見ユレドモ。
心ヲ労スルコトナケレバ。寿シトイフコ
トナリ。唐子西ガ古硯銘ニ。硯ト筆墨トヲ
論ジテ鈍者寿而。鋭者夭トイヘルコヽロ
ナルベシ○淮南子曰。木強則折。革固則裂。
歯堅於舌。而先之敝。口義云。木強則折者如
藤如柳則難折云。又古語云。長直之木。有折
傷。弱垂之柳無損折。○代酔編忍字下。剛則
必折。萬事之中。忍字為上。又三畧。柔者徳也
剛者賊也。サレバ強木ノムズヲレト。柳ノ
枝ノ折ガタキヲ見テ。柔弱無為。退蔵隠伏

ノ益アルコト
ヲ可知者ナリ

二十四 **猿モ木カラ落** 字彙曰。猿善攀援樹枝。猿ノ木ニ登リ。枝ヲ攀ルコトハ人ノ平地ヲ走テ。如不蹟。シカレトモ。時アリテ。木ヨリ落コトアリ。名人智者モ。時アリテ過ナキコトアタハス。一失アリトテ。不容之者。寛仁大度ノ量ナキノミ。古語云。智者千慮。必有一失トイヘリ。コレ猿モ木カラト云意ナリ

二十五 **岩ニ花トハ** 有マジキ事ノ喩ナリ。代醉編石上ノ花ト云モノアリ。慈利縣武口塞石上有花。如堆心牡丹。枝葉繚繞。雖精於畫者莫能及。或以物擊破其花。拂拭之。其花復現

二十六 **優曇華トハ** コレモ希ニシテ。遇ガタキ事ノ喩ナリ。佛教ニ專曰モノナリ。今世話ニ。常ニ喩ルコトナリ。優曇華ヲ靈瑞華トモイフ。名義集云。優曇鉢羅。此云瑞應。般泥洹經云。閻浮提内。有尊樹王。名優曇鉢。有實无華。文句云三千年一現。現金輪王出。○楞伽經疏云。優曇華。於世間中。无人曾見者。依中國。此樹直從條出菓。其大如捲。其爲香美。而无華。故過去未來无見者トイヘリ。光源氏ノ。未童スガタノ御時。瘧シタマヒテ。護身ノタメニ。横川ノ僧都ノ許オハシケル時ノ謌ニ。優曇華ノ。花マチ得タル。心地シテ。深山ザクラニ。目コソトマラ子

二十七 **蛇ニ足ナシ。魚ニ耳ナシ** 淮南子云。兒絲無根而生。蛇無足而

西京雜記云
燈華得錢財

行。魚無耳而聽。蟬無口而鳴。コレ等ハ皆。一氣ヲ稟テ。自然ニ發動スルコトヲ述タリ。○代醉編三十九。朱翌云。畫蛇着足。無用處。爲蛇畫足。見戰國策與史記。按本草蝮蛇。陶隱居注曰。蛇皆有足。燒地令熱。以酒沃之。置中足出。酉陽雜俎云。蛇以桑柴燒之。則見足出。曲江老兵。捕一蛇燒之。四足垂出。如雞足狀トイヘリ。○聾ト云字。鶴林玉露云。宋壽皇問王季海曰。聾字何以從龍從耳。對曰。山海經云。龍聽以角不以耳イヘリ

〔八十〕燈ニ丁子頭ト云モノアリ

丁子ニ侶タレバ。俗ニ名タリ。本名ハ灯花ナルベシ。コノ丁子頭ヲ。善瑞ナリ。外ヨリ錢財食物ナド得トテ。主コレヲ祝ナリ。事文類聚集云。陸賈云。目瞤得酒食。灯花得錢財。諺コレヨリ本ヅケリ。マタ蜘サガレバ。吉事アリトゾ。○歌ニ。我背子ガ。クベキヨヒナリ。サヽガニノ。クモノフルマヒ。カ子テシルシモ。ナド讀リ

〔九十〕又丁子頭タテバ旱。百草霜ニ火點ズレバ。雨晴ト云

蘓子瞻秋陽賦。金星之雜出。又燈花之雙懸。奴婢喜而告予曰。此雨止之祥也。今釜星トハ。百草霜ニ就火ナルベシ。世俗謂コト故アリ。鶴林玉露。占雨コトヲ載タリ徃テ可見

〔三十〕神事ニ就テ別火シテ。同火ヲ忌ハ

伊弉冊尊。カクレタマヒシカバ。伊弉諾尊。オヒツキテ。アヒタマフニ。ヨモツヒクヒセリト。ノタマ

フ故ニ。伊弉諾キタナシトテ。歸リタマフ。是世ノ人ノ。同火ヲ忌事ノ起ナリトゾ。火ノ物ヲ斷トハ。日本紀纂疏云。水火是天生之物。無分染淨。而神事忌火何也。曰火雖是淨。因物而穢。故不食炊爨之物而已

三十 葬禮ノ時。門ニ火ヲ燃ス。俗ニ是ヲ門火トイフ。和名類聚云。周禮喪設門燎イヘリ。俗ニイフトコロノ門火ナリ○顏氏家訓云。喪出之日。門前燃火。門火ハ本儒家ニ出タリトイヘリ

三十一 就木ハ檜ヲ片テ。其端分許ニ。硫黃ヲ塗テ。火ヲ發スルモノナリ。其始ルコト久シ。周ノ建德六年。齊ノ后妃貧ナル者ハ。以發燭爲業。史ニ載タリ又穀畊錄云。杭人削松木爲小片。其薄如紙。鎔硫黃塗木片頂分許。名曰發燭。又曰焠兒。蓋以發火。及代燈燭用也トイヘリ

三十二 貧ハ病ヨリ苦 古詩ニ富貴他人合。貧賤親戚離。文選ニ。貧賤妻子輕。富貴他人重。マコトニ貧ナレバ。妻子ニサヘ輕ラル。況ヤ他人ヲヤ。コレ病ヨリ苦キトテ。小人ノ憂ル所ナリ。君子ナンゾ。貧ヲ苦マン。明道曰。富貴不婬。貧賤樂。男子到此是豪雄。コレ君子ノ域ナリ

四十 富デハ驕。貧ナレバ諂 論語曰。子貢云。貧而無諂。富而無驕何如。子曰可也。未若貧而樂。富而好禮者也。富貴ナレバ奢。貧賤ナレバ諂。二ノモノニ病ア

三十五 貧ナルヲ。オチブレルト云 常ニ零落ト書

ツテ。守コト不能
ハ。小人ノ事ナリ

ナリ。又ハ落魄
トモ。史記列傳ニ云。家貧落魄。無以為衣食業
註ニ應劭曰。落魄ハ志行衰悪之貌。許林ニ。按
落魄者。貧無家業也

三十六 鷹ハ死ヌレド穂ヲツマズ 死ヌレドハ。餓テ死ヌレド
トイフコトナリ。諺ノ意ハ。義ヲ守武士ハ。
假令饉ニ及ドモ。不義ノ知行俸禄ヲ不受
也。李白詩云。鳳飢不啄粟。所食唯琅玕。焉能
與群雞。刺促争一餐。世俗ノ言相侶タリ。ツ
ムトハ食コトナリ。枕艸ニ。
啄ニ。雉ツミタルト書リ

三十七 黒犬ニ嚙レテ灰ノ和滓ニ怯ル 世話ノ意
ハ。前ニ懲
コトアレバ。其後ニ恐ルヽトナリ。タトエ
バ。唐傳奕曰。懲沸羹者。吹冷韲。傷弓之鳥驚
曲木。是異
語同意也

三十八 琥珀塵ヲ吸穢ヲ不吸。磁石針ヲ吸曲ヲ不吸
三國志ニ云。琥珀不取腐芥。磁石不受曲針。コ
ノ意ハ。非情ノ玉ヤ石ダニモ。穢タルヤ。曲リ
タルヲバ。不受不取。況ヤ天地ノ靈タル人
トシテ。道ニ非ズ。義ニ非ザル物ヲ。取ベキ
様ナシトナリ○磁石ハ。本草曰。山之陽産
鐵者。陰必有磁石。蓋二物同氣也○琥珀ハ。
陶隠居云。松脂入地千年所化
中有蜂形。色如生者能拾芥

三十九 蓼食蟲トハ 醜ヲ醜シトセズシテ。コレヲ愛シ。若ヲ苦シトセズ。還テ樂トイフ喩ナリ。○白氏長慶集。自詠詩云。一家五十口。一郡十萬戸。出爲差科頭。入爲衣食主。水旱合心憂。飢寒須手撫。何異食蓼蟲。不知苦是苦。又孔叢子有蓼蟲賦。言是蟲幼。長斯蓼。不以爲辛。諺ノ本ヅクトコロナリ

四十 鰻鱺魚モ一期。鰕魚モ一期 一期ハ一生涯ナリ。蓋鰻ハ其躰長大ニシテ。海中ニ自在ナリ。鰕ハ其躰微小ニシテ。水底ニ潛行ス。博識廣智ノ士ヲ。鰻魚トシ。不學短才ノ者ヲ。鰕魚ニ喩。コノ二。天地懸隔ナレドモ。其一生ヲ終コトハ。君子小人差別ナシト。コレ小人ノ荒言ナリ。杜詩ニ孔丘盜跖共塵埃トイヘリ。今ノ俗語相叶歟

四十一 問ハ一旦ノ恥問ザルハ一期ノ恥 大凡知ザルヲ問ハコレ禮也。論語八佾篇云。子入大廟。每事問。注尹氏云。禮者敬而已矣。雖知亦問。謹之至也。大聖スラ。大廟ニ入テハ事ゴトニ問タマフ。學者何ゾ人ニ順テ審問明辨ザランヤ。只是小人ハ一旦問叓ヲ恥テ。一期ノ恥ヲ拘モノナリ

四十二 人ハ名ヲ惜虎ハ毛ヲ惜ム マコトニ名ハ末代ノ嘉賓ナレバ。君子世ヲ沒スルマデ。名ノ稱ゼラレザルヲ疾トナリ。和漢ノ志士主君ノ恩。朋友ノ義ノタメニ命ヲ亡ル者傳籍ニ載トコロナリ。コレ名ヲ惜ノ故ナリ。○金壁故

事云梁王彥章嘗謂人曰。豹死留皮人死留名イヘリ。異域同譚ナリ。豹字書似虎圈文

三四十 **時ニ遇バ鼠モ虎トナル** 漢書東方朔傳云用之則爲虎不用則爲鼠。コレ諺ノ據ドコロナリ。コノ意ヲ宗尊親王ノ御歌ニ。虎トノミ。用ラレシハ。ムカシニテ。今ハ子ズミノアナウ世ノ中

四四十 **網無フテ淵ナ望ソ** コノ世話ノ意ハ網ナキトキハ。淵ニ望トイヘドモ。可得魚ノ理ナシ。唯心力ヲ労シテ無益ノミ。言ハ世ノ人妄ニ求テ心力ヲ費シ胸中ヲ煎ドモ。卒ニ一毫ノ得コトナキ者ハ此類ナリ。末ヲ論ゼンヨリハ。本ヲ勤メンニハ不如ナリ。抱朴子曰夫不學而求知猶願魚而無網焉。心雖勤而無獲矣。又漢書云臨困而羨魚不如退而結網コレ等諺ノ本據ナリ

五四十 **今參二十日** 俗ニ始テ奉公ノ者ヲ爲新參謂今參也諺ノ意ハ。下人ノ始テ主人ニ事ニ能忠ヲツクスコト。唯廿日許ナリ。其久キニ及デハ。必ズ懈リナキコト不能ナリ。鄧析子云患ハ生於官成蓋語異ニシテ旨同モノナラン。凡テ世ノ人愼始惰終者ハ常ナリ故ニ詩曰靡不有初鮮克有終マコトニ精察深思シテ。自戒ムベキモノナリ

六四十 **愛子ニ旅ヲ。サセヨ** 大凡人ノ子タル者家ニノミアルトキハ。父母ノ愛育ヲ恃テ必ズ。怠惰放縱ニシテ恭敬揖讓ヲ不知。若一旦出テ羈旅ニ在トキ

八難難苦痛シテ。性ヲ忍ノ道ヲ知リ又人ノタメニ。侮ヲウケ。辱シメヲ得テ不快百端起其心胸ヲ苦ム。是時ニ當テ。邪氣自ラ滅シ。曲心自ラ直ニナリ。人ノ善惡ヲ見テ。已ガ身ヲ看ル。誠ニ旅ノ益ナラズヤ。程子曰在旅之時。謙降柔和乃可自保而過剛矣。意夫子ヲシテ旅ノ地ニ在ラシメバ。必ズ表道家ノ物壯則老ト欲スルコト。尤有以哉ノ縱人ノ志ヲ滿シメ樂ミ盡サシムレバ。則チ其ノ進ムヤ。漸ニシテ。其ノ退ムヤ速ナリ。故ニ君子ハ。旅ニ處シメント欲ス

四十七 燈滅シントテ。光ヲ增ス

ヲ極ルハ。身ヲ喪ナリ。佛家ノ盛者必衰ノ理ヲ談ナリ。列子ニ云。孔子謂老聃曰。甚矣。子之閉戸而養生也。子不出戸而天下治。奚必勞形尊智而後爲哉。老聃曰。吾遊心於物之初。物之初者。至虛至靜也。天地萬物。生於虛。形於靜。夫形形者。不得不終。奚時而舍。其所由來者漸。其端小。其終大。人之生也。與天地相參。奚以知其所終。奚以知其所始。吾所以知之。吾所以言之。子之所言。吾所以聽之。吾聽之而已。程子曰。燈滅而光增。蓋人之志ヲ滿レバ。則チ其ノ樂ミ盡ル。故ニ君子ハ。常ニ其ノ志ヲ滿サズ。故ニ其ノ樂ミ盡サズ。其ノ樂ミ盡サズシテ。其ノ終ノ大ナルヲ察セヨトナリ。

四十八 水ニ畫ク

世ノ諺ノ意ハ。目ニ見。耳ニ聞コトノナク。又文章ヲ讀テ。其道ヲ行コトナキハ。水ニ畫ナリ。語ハ。觀經序分義ニ縱發清心。猶如畫水。コレハ。タヾ〳〵失ルコトヲ云。鏤氷文章費工夫。註云。鏤氷ハ。文章ノ玩物トシテ。徒ニ精神ヲ費シ。コレ等ハ。學問ナリトヲ云。山谷云。內無其質。而外學其文。猶畫水鏤氷。賞日損功。ロハ賊儒妨僧。無用ノ書。經律論釋ヲ以テ。無用ノ書。經律論釋ヲ以テ。徒ニ精神ヲ費シ。內ニ自省

四十九 一葉落テ天下ノ秋

ヲ。不知也。臣弒其君。子弒其父。コレ一朝一夕ニアラズ。其所由來者漸ナリ。其端ヲ小ノ故ニ早ク辨ユベキモノナリ。諺ノ意モ。其始ノ小ナルヲ察セヨトナリ。

淮南子云以小明大見一葉落而知歳之將暮睹瓶中之氷而知天下之寒コレ世話ノ來トコロ歟

五十 一帋半錢トハ 佛家ニ布施物ノ少ヲ謂ナリ。或抄ニ一紙半錢ノ表事ハ。紙ハ白色清淨ノ義ナリ。錢ハ天台ノ六祖ノ云圓者錢也。即無闕爲義也。圓頓ノ法ニ。萬德ヲ具足スル義ヲ顕スナリト云リ。實ニ白紙一枚半文錢ハ。少布施ナレドモ。功德廣大ナリトナリ○大藏一覽ニ。菩薩本行經ニ曰所施雖少歡喜心與。清淨心與恭敬心與不望報與中畧。所施雖少獲報弘大猶如良田所種雖少收實甚多○貧女ガ一燈。長者ノ万燈。阿闍世王受決經ノ說。ナリトゾ。コノ語ハ。俗常ニ謂モノナリ

五十一 山礪河帶トハ 誓文ノ語ナリ。史記高祖功臣年表曰使長河如帶泰山如礪國以永寧爰及苗裔是ハ漢ノ高祖功アル臣下ヲ封ジテ。國ヲ與ル時ノ盟ナリ。長河ハ黄河ナリ。コノ黄河ハ帶ノ如ク。細ナリ。泰山ハ礪ホド小クナルトモ。功臣ノ國ヲ絶シメズシテ其子孫ニ及サント云義ナリ。コレ山礪河帶ノ起ナリ

五十二 人ノ愚ニ惑ヲ株ヲ守ト云ハ 韓非子曰宋人有耕田者田中有株兎走觸株折頸而死。因釋其耒而守株冀復得兎。兎不可復得。而身爲宋國笑トイヘリ

五十三 舷ヲ刻トハ 呂氏春秋曰。楚人劔自舟中墜木象契其舟曰是吾劔所從墜

也。舟已行而劔不行。不亦惑乎。局方發揮ノ語ニ云。今乃集前人已効之方。應今人無限之病。何異刻舟求劔。按圖索驥矣

四十 物ノ變ヲ不知。コトヂニ膠ト云 史記藺相如云王以名使括若膠柱而鼓瑟耳。括徒能讀其父書傳。不知合變也

五十 早キコトヲ。目度鳥ト云 本無常ノ喻ナリ 文選ニモ。人生瀛海内。忽如鳥過目句アリ。萬葉第五。挽歌ノ序云。二鼠競走而。度目之鳥。且飛トイヘリ。又俊頼ノ家集ニ。タマサカニ。クルトハ。スレド目ヲワタル。鳥ノハヤクモ。カヘリヌルカナ。コノ意ハ。人ノ来リテ。早クカヘル心ニ讀リ。万葉ノ序ニイフ。二鼠モ無常ノタトエナリ。命ヲ草ノ根ニ喻。日月ヲ黒白ノ鼠ニ喻フルナリ。佛經ノ説ナリ○俊頼ノ歌ニ。我タノム。草ノ根ヲハム。鼠ゾト。才モヘバ月ノ。ウラメシキカナ○土御門院御謌。霜ガレノ。草葉ニサハグ。日ノ鼠キノフハ。ケフニ。ナルゾホドナキ。○高光ノ歌ニ。タノムヨリ。月ノ子ズミノ。サハグカナ。草葉ニカヽル。ツユノイノチヲ。右日月ノ鼠ハ佛説ニ本キテ讀ルトゾ。賓頭盧爲優陀延王説法經ノ説ナリ

六十 羊歩 コレモ無常ノタトエナリ。摩耶經偈曰。譬如旃陀羅。驅羊就屠所。歩々近死地。人命復過是。屠所トイフテ。畜ヲ屠殺トコロヘ。羊ヲ引テ行ニ。一歩二歩ト進ホドニ。死スルコトノ。チカヅクゴトク。世ノ無常。人ノ命モ。屠所ニヲモムク羊ノゴトク

トナリ○後拾遺集ニ。赤染衛門。ケフモ。マタチノ貝コソ。吹ツナレ。羊ノアユミ。チカヅキニケリ

五十七 隙駒 是モ無常ノ喩ナリ。譬ハ日月ノ。早ク過ルハ。白馬黒馬ヲ。追續テ行ヲ。物ノ透間ヨリ。見ルガゴトク。程ナキ心ナリ。朗詠ニ。隙駟難追作レルモ。コノ心ナリ。堀川百首ニ。隙スグル。コマヨリモトキ。カゲロフノ世ヲ玉キハル五十ノ春ニ。アヒニ。ケルカナ○史記列傳。魏豹曰。人生一世間。如白駒過隙耳。索隱。莊子云。無異騏驥之馳過隙。則謂馬也。小顔云。白駒謂日影也。隙壁隙也。以言速疾。若日影過壁隙也

五十八 鷄時ヲ鳴事 唐詩鼓吹註云。雞屬火。應陽而鳴。故五更陽動則鳴。又玄中記云。東南有桃都山。上有大樹。名曰桃都。枝相去三千里。上有天鷄。日初出照此樹。雞即鳴。天下鷄皆隨之鳴。コノコヽロハ。日出テ後。雞ナクトアレバ。常ノ樣トハ替リ。日本紀云。日神開磐戸。幽居之時。思兼神。聚常世之長鳴鳥。使長鳴云云。コノコヽロハ。雞鳴テ後。日神ハ出タマフト見ヘタリ。是ハ常ノヤウニモカナヘリトゾ枕詞燭明抄。說文雞知時畜。除云鷄晉也。能考時也

五十九 鴈ノ使并風ノ使 漢書ノ意ニ曰。武帝ノ時。蘇武ヲ使トシテ。匈奴ニ遣ハス。匈奴蘇武ヲ捕テカヘサズ。其后昭帝位ニ即テ數年アリテ。匈奴漢ト和親ス。時ニ漢ノ帝。蘇武ヲモトム。匈奴偽リテ。武ハ已ニ死タリトイフ。其後漢ノ使。マタ匈

奴ニ至リテイフハ。天子上林ノ中ニ射鴈ヲ得タリ。足ニ帛書ヲ書。スナハチ蘇武カ書ナリ。武猶澤中ニ在トイフ。匈奴王單于ヲドロキテ漢ノ使ニ謝シテ。武ヲカヘスト云云。雁ノツカヒノ事コレニ起レリ。書狀ヲ雁書。雁札ナドイフ○拾遺集歌ニ。天トブヤ。カリノツカヒ。イツシカモナラノミヤコニ。コトヅテヤラン。又内典ニハ。過去月蓋王ノ太子ニ善友太子トイフ人アリ。弟ノ悪友ノメニ眼ヲ損ゼラレ。諸國ニ流行スルニ。善友ノ母。書ヲ善友ノ艱ケル雁ノ首ニツケタリケレバ。太子ノ許ヘユキツキテ。トヾケヽルトヅ報恩經。賢愚經ノ説ナリトイヘリ。○又風ノ使トハ。河圖帝通記トイフ書ニ。風天地之使也。雷天地之鼓也トアリトヅ○古今集ニ。ムメガ

香ヲ風ノ使ニ。タグヘテヅ。ウグヒスサソフ。シルベニハ。ヤル

六十

犬ヲ以テ文ノ使トスルコトハ

諸越ノ陸機ヒトツノ駿犬ヲ畜名テ黄耳トイフ。甚コレヲ愛ス。陸機洛ニ在テ。久ク。故郷ノ書通ナシ。アルトキ。犬ニ謂テ曰ク。汝能書ヲ齎テ吾故郷ニ行テ。消息ヲ取ンヤ否。犬尾ヲ揺シ。聲ヲ作ル。機スナハチ。文ヲ書テ竹ノ筒ニ入テ。犬ノ頸ニ係。犬路ヲ尋テ南ニ走遂ニ機ガ家ニイタリテ。返報ヲ得テ。又洛ニ還ト云云。琅邪代醉ニ載タリ世俗大ヲモツテ。文ノ使トスルナリ

六十一

馬ニ道マカスル事ハ

韓非子云。管仲從桓公伐孤竹春往冬返

迷惑テ。失道管仲曰。老馬之智可用也仍放老馬而隨之遂得道ト云云。謌ニハ。タザレバ。道モミヘ子ド。フルサトハ。モトキシコマニ。マカセテヅユク。トヨメリ又朗詠ニ。雪中放馬朝尋跡ト作ル詩モ右ノ意ナリ

二十六

猫ノ鼠ヲ捕事

鶴林玉露曰唐武后離王后蕭妃之手足置於酒瓮中曰使此二婢骨醉蕭妃臨死曰願武爲鼠。吾爲猫生々世々扼其喉。亦可悲矣。今俗間相傳謂猫爲天子妃者蓋本此也。予自讀唐史此段毎見猫得鼠未嘗不爲之稱快人心之公憤有千萬年而不可磨滅者嘗有詩云。陋室偏遭黠鼠欺。貍奴雖小策勳奇扼喉莫訝無遺力應記當年骨醉時。和俗マタ。猫ハ女ノ化スルモノナリトイフ。由アル哉○琅邪代醉云。猫目睛且暮圓及午堅斂如線鼻端常冷惟夏至日煖俗云猫洗面過耳則客至酉陽雜俎

二十七

獅子身中ノ虫トハ

我ウチヨリ。災ノ出來ヲイフナリ。獅子ハ百獸ノ王ニテ。皆ヲヂ恐ルユヘニ外ヨリ。ソコナフ者ナケレハ。已ガ身ヨリ虫生ジテ。獅子ヲ食殺トナリ。佛教ニハ。蓮花面經ノ說トソ

二十八

碁ヲ圍コトハ。兵法ノ如ト謂

史記註云桓譚新論云世有圍碁之戲。或言是兵法之類也及爲之上者遠碁。疏張置以會圍因而成多得道之勝中者則務相絕遮要以爭便求利故勝負狐疑須計數而定。下者則守邊隅趨作罫以自

生於小地。然亦必不如察薛公之言。上計云。取呉楚并齊魯及燕趙者此廣道地之謂中計云。取呉楚并韓魏塞成皐據敖倉此趨遮要爭利者也。下計云。取呉下蔡據長沙以驅越此守邊隅趨作罫者也トイヘリ

六十五

弓ヲ袋ニ納トハ

治マレル代ヲ謂也。詩周頌曰。明昭有周式序在位載戢于戈載櫜弓矢弓ヲ袋ニ納トイヘル。諺蓋周詩ノ餘唾歟。如今聖代太平無事時于戈弓矢務ナク。民ハ泰山ノ安ニ枕シ。君ハ。垂拱シテ四海安寧ナリ。吁如拙此安隱ノ世ニ生テ偷閑於山林寂寞之境爲釣耕之逸民。說テモ尚可說者乎

漢語大和故事卷之五終

洛陽二条通堺町西ヘ入丁
上村平左衛門

元祿四辛未歲孟夏吉辰

江府日本橋青物丁
万屋清兵衛

同平野屋
長右衛門

摂刕大坂心齋橋筋上人町
鴈金屋庄兵衛板